

(様式第10)

筑大病評価第25-9 号

令和 7 年 10 月 2 日
厚生労働大臣 殿 開設者名 国立大学法人筑波大学長 永田 恭介

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
氏名	国立大学法人筑波大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

筑波大学附属病院

3 所在の場所

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1
電話(029)853-3900

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科							
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
○	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「5 神経内科」にて提供される医療は、「脳神経内科」にて提供している。 「7 内分泌内科」及び「8 代謝内科」にて提供される医療は、「内分泌・代謝・糖尿病内科」にて提供している。 「10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科」及び「11 リウマチ科」にて提供される医療は、「膠原病・リウマチ・アレルギー内科」にて提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科							
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「2 消化器外科」にて提供される医療は、「消化器・移植外科」にて提供している。 「3 乳腺外科」及び「7 内分泌外科」にて提供される医療は、「乳腺・甲状腺・内分泌外科」にて提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科		2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科		11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科							
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							
医科と同じ							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	腫瘍内科	2	形成外科	3	リハビリテーション科	4	頭頸部・耳鼻いんこう科	5	病理診断科
6	脳卒中科	7	小児内科	8	腫瘍放射線科	9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30	0	0	0	779	809

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	699	47	702.8	看護補助者	37	診療エックス線技師	0
歯科医師	15	0	15	理学療法士	42	臨床検査技師	93
薬剤師	77	6	82.4	作業療法士	20	衛生検査技師	0
保健師	1	1	1.5	視能訓練士	8	その他	0
助産師	85	3	87.4	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	997	27	1,014	臨床工学士	40	医療社会事業従事者	19
准看護師	0	0	0	栄養士	6	その他の技術員	9
歯科衛生士	3	0	3	歯科技工士	3	事務職員	260
管理栄養士	16	1	16.3	診療放射線技師	64	その他の職員	119

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	69	眼科専門医	14
外科専門医	54	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	13	放射線科専門医	22
小児科専門医	33	脳神経外科専門医	23
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	25
泌尿器科専門医	14	麻酔科専門医	19
産婦人科専門医	21	救急科専門医	8
		合計	335

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (平松 祐司) 任命年月日 令和 6 年 4 月 1 日

附属病院長(R6.4.1～現在)、医療安全ミーティングメンバー(R5.4.1～現在)、附属病院副病院長(H30.4.1～R6.3.31)
リスクマネジメント委員会(H30.4.1～現在(委員長))、リスクマネジメント委員会事務小委員会(R5.4.1～現在(委員長))
組織RM(H16.4.1～R6.3.31)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	695.5 人	10.5 人	706.0 人
1日当たり平均外来患者数	1,713.2 人	68.6 人	1,781.8 人
1日当たり平均調剤数	2,084		剤
必要医師数	173		人
必要歯科医師数	2		人
必要薬剤師数	27		人
必要(准)看護師数	413		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	457.7 m ²	鉄筋コンクリート造	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	20 床 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	684.5 m ²	病床数	35	床
	[移動式の場合]	台数	0 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	43.91 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	70.2 m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備)	尿定性検査機, 尿定量検査機		
細菌検査室	170 m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備)	血液培養機, 薬剤感受装置		
病理検査室	362 m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備)	包埋装置, 染色・封入装置, 超純水製造装置		
病理解剖室	54.0 m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備)	解剖台		
研究室	410.01 m ²	鉄筋コンクリート造	(主な設備)	机, 椅子, 書棚, PC		
講義室	2,434 m ²	鉄筋コンクリート造	室数 17 室	収容定員	2,132	人
図書室	2,830 m ²	鉄筋コンクリート造	室数 2 室	蔵書数	182,000	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	87.4 %	逆紹介率	90.2 %
算出根拠	A: 紹介患者の数	17,485	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	19,142	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,058	人
	D: 初診の患者の数	21,224	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
柳田 国夫	学校法人東京医科大学 茨城医療センター 病 院長	○	医療機関の副院長であ り、病院管理及び医療安 全に係る業務経験を有し ているため	無	1
宮本 恭子	茨城県がん教育推進協 議会 委員		患者・家族の支援団体の 活動をしており、医療を受 ける立場から意見を述べ ることができるため	無	2
陰山 俊治	国立大学法人筑波大学 監事(元公益財団法人 ヒューマンサイエンス振 興財団管理部長)		監事であり、公正不偏な立 場から医療を受けるものと して意見を述べることがで きるため	有	2
遠藤 靖典	国立大学法人筑波大学 副学長・理事(研究担 当)		研究を担当する副学長・ 理事として、及び学識経験 者として意見を述べること ができるため	有	1
村上 正子	国立大学法人東海国立 大学機構名古屋大学大 学院法学研究科 教授		法律学の専門家として、法 律について豊富な専門知 識と実務経験を有するた め	無	1
小池 竜司	国立大学法人東京科学 大学病院 病院長補佐		感染対策の第一人者とし て医療の安全管理に詳し く、臨床試験の専門家でも あるため	無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
筑波大学附属病院のホームページにて公表している	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
陽子線治療	88人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	36人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	16人
タイムプラス撮像法による受精卵・胚培養	40人
子宮腺筋症病巣除去術	1人
子宮内細菌叢検査2(子宮内フローラ検査)	2人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	6
扱い患者数の合計(人)	183人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。) 【陽子線治療を実施する施設】	0人
術後のアスピリン経口投与療法	3人
メトホルミン経口投与及びテモゾロミド経口投与の併用療法	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	4
取扱い患者数の合計(人)	3人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	
取り扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	66	IgA腎症	54
2	筋萎縮性側索硬化症	30	67	多発性嚢胞腎	97
3	脊髄性筋萎縮症	4	68	黄色靱帯骨化症	13
4	原発性側索硬化症	0	69	後縦靱帯骨化症	88
5	進行性核上性麻痺	8	70	広範脊柱管狭窄症	1
6	パーキンソン病	196	71	特発性大腿骨頭壊死症	91
7	大脳皮質基底核変性症	3	72	下垂体性ADH分泌異常症	25
8	ハンチントン病	3	73	下垂体性TSH分泌亢進症	6
9	神経有棘赤血球症	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
10	シャルコー・マリー・トウース病	2	75	クッシング病	10
11	重症筋無力症	139	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
12	先天性筋無力症候群	0	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	22
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	112	78	下垂体前葉機能低下症	122
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	24	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
15	封入体筋炎	5	80	甲状腺ホルモン不応症	0
16	クロウ・深瀬症候群	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
17	多系統萎縮症	11	82	先天性副腎低形成症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	42	83	アジソン病	0
19	ライムゾーム病	14	84	サルコイドーシス	104
20	副腎白質ジストロフィー	1	85	特発性間質性肺炎	24
21	ミトコンドリア病	19	86	肺動脈性肺高血圧症	47
22	もやもや病	34	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
23	プリオン病	1	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	55
24	亜急性硬化性全脳炎	0	89	リンパ脈管筋腫症	3
25	進行性多巣性白質脳症	0	90	網膜色素変性症	26
26	HTLV-1関連脊髄症	2	91	バッド・キアリ症候群	1
27	特発性基底核石灰化症	0	92	特発性門脈圧亢進症	1
28	全身性アミロイドーシス	53	93	原発性胆汁性肝硬変	9
29	ウルリッヒ病	0	94	原発性硬化性胆管炎	4
30	遠位型ミオパチー	6	95	自己免疫性肝炎	18
31	ベスレムミオパチー	0	96	クローン病	126
32	自己貧食空胞性ミオパチー	0	97	潰瘍性大腸炎	204
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	98	好酸球性消化管疾患	0
34	神経線維腫症	17	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
35	天疱瘡	13	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
36	表皮水疱症	2	101	腸管神経節細胞僅少症	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	103	CFC症候群	0
39	中毒性表皮壊死症	1	104	コステロ症候群	0
40	高安動脈炎	55	105	チャージ症候群	0
41	巨細胞性動脈炎	6	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
42	結節性多発動脈炎	13	107	全身型若年性特発性関節炎	7
43	顕微鏡的多発血管炎	55	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	18	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	29	110	ブラウ症候群	0
46	悪性関節リウマチ	21	111	先天性ミオパチー	3
47	バージャー病	6	112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	113	筋ジストロフィー	25
49	全身性エリテマトーデス	500	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	187	115	遺伝性周期性四肢麻痺	1
51	全身性強皮症	123	116	アトピー性脊髄炎	0
52	混合性結合組織病	54	117	脊髄空洞症	2
53	シェーグレン症候群	92	118	脊髄髄膜瘤	2
54	成人スチル病	25	119	アイザックス症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4	120	遺伝性ジストニア	1
56	ベーチェット病	71	121	神経フェリチン症	0
57	特発性拡張型心筋症	65	122	脳表ヘモジデリン沈着症	0
58	肥大型心筋症	40	123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
59	拘束型心筋症	0	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1
60	再生不良性貧血	63	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1
61	自己免疫性溶血性貧血	7	126	ベリー症候群	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	19	127	前頭側頭葉変性症	0
63	突発性血小板減少性紫斑病	33	128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0
65	原発性免疫不全症候群	17	130	先天性無痛無汗症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

131	アレキサンダー病	1	198	4p欠失症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	199	5p欠失症候群	0
133	メビウス症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	201	アンジェルマン症候群	1
135	アイカルディ症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
136	片側巨脳症	0	203	22q11.2欠失症候群	1
137	限局性皮質異形成	1	204	エマヌエル症候群	0
138	神経細胞移動異常症	2	205	脆弱X症候群関連疾患	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	206	脆弱X症候群	0
140	ドラベ症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	208	修正大血管転位症	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	209	完全大血管転位症	8
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	210	単心室症	12
144	レノックス・ガストー症候群	1	211	左心低形成症候群	1
145	ウエスト症候群	4	212	三尖弁閉鎖症	1
146	大田原症候群	0	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2
147	早期ミオクロニー脳症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	215	ファロー四徴症	15
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1	216	両大血管右室起始症	4
150	環状20番染色体症候群	0	217	エプスタイン病	4
151	ラスムッセン脳炎	1	218	アルポート症候群	2
152	PCDH19関連症候群	0	219	ギャロウェイ・モフト症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	3	220	急速進行性糸球体腎炎	36
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	221	抗糸球体基底膜腎炎	2
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	222	一次性ネフローゼ症候群	50
156	レット症候群	2	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	224	紫斑病性腎炎	9
158	結節性硬化症	26	225	先天性腎性尿崩症	0
159	色素性乾皮症	0	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3
160	先天性魚鱗癬	1	227	オスラー病	7
161	家族性良性慢性天疱瘡	1	228	閉塞性細気管支炎	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	14	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2
163	特発性後天性全身性無汗症	3	230	肺胞低換気症候群	0
164	眼皮膚白皮症	1	231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	232	カーニー複合	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	233	ウォルフラム症候群	0
167	マルファン症候群	11	234	ベルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0
168	エーラス・ダンロス症候群	4	235	副甲状腺機能低下症	1
169	メンケス病	0	236	偽性副甲状腺機能低下症	1
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
171	ウィルソン病	5	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1
172	低ホスファターゼ症	0	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
173	VATER症候群	0	240	フェニルケトン尿症	4
174	那須・ハコラ病	0	241	高チロシン血症1型	0
175	ウィーバー症候群	0	242	高チロシン血症2型	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	243	高チロシン血症3型	0
177	有馬症候群	0	244	メープルシロップ尿症	0
178	モワット・ウィルソン症候群	1	245	プロピオン酸血症	0
179	ウィリアムズ症候群	2	246	メチルマロン酸血症	0
180	ATR-X症候群	0	247	イソ吉草酸血症	0
181	クルーゾン症候群	0	248	グルコーストランスporter-1欠損症	0
182	アペール症候群	0	249	グルタル酸血症1型	0
183	ファイファー症候群	0	250	グルタル酸血症2型	1
184	アントレー・ピクスラー症候群	0	251	尿素サイクル異常症	1
185	コフィン・シリス症候群	0	252	リジン尿性蛋白不耐症	0
186	ロスマンド・トムソン症候群	0	253	先天性葉酸吸収不全	0
187	歌舞伎症候群	0	254	ボルフィリン症	0
188	多脾症候群	0	255	複合カルボキシンラーゼ欠損症	0
189	無脾症候群	3	256	筋型糖原病	0
190	鰓耳腎症候群	0	257	肝型糖原病	1
191	ウェルナー症候群	0	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
192	コケイン症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	1	260	シトステロール血症	0
194	ソトス症候群	0	261	タンジール病	1
195	ヌーナン症候群	1	262	原発性高カイトミクロン血症	1
196	ヤング・シンプソン症候群	0	263	脳腫黄色腫症	0
197	1p36欠失症候群	0	264	無 β リポタンパク血症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

265	脂肪萎縮症	0	329	無虹彩症	3
266	家族性地中海熱	6	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0
267	高IgD症候群	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	15
268	中條・西村症候群	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
271	強直性脊椎炎	13	335	ネフロン癆	1
272	進行性骨化性線維異形成症	0	336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	337	ホモシスチン尿症	0
274	骨形成不全症	1	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	339	MECP2重複症候群	0
276	軟骨無形成症	0	340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
277	リンパ管腫症/ゴーム病	1	341	TRPV4異常症	0
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0			
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0			
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0			
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1			
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0			
283	後天性赤芽球癆	7			
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0			
285	ファンconi貧血	0			
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0			
287	エプスタイン症候群	0			
288	自己免疫性出血病XIII	0			
289	クロンカイト・カナダ症候群	1			
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0			
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0			
292	総排泄腔外反症	0			
293	総排泄腔遺残	0			
294	先天性横隔膜ヘルニア	0			
295	乳幼児肝巨大血管腫	0			
296	胆道閉鎖症	4			
297	アラジール症候群	1			
298	遺伝性脾炎	0			
299	嚢胞性線維症	1			
300	IgG4関連疾患	33			
301	黄斑ジストロフィー	3			
302	レーベル遺伝性視神経症	1			
303	アッシャー症候群	0			
304	若年発症型両側性感音難聴	1			
305	遅発性内リンパ水腫	0			
306	好酸球性副鼻腔炎	34			
307	カナバン病	0			
308	進行性白質脳症	0			
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0			
310	先天異常症候群	0			
311	先天性三尖弁狭窄症	0			
312	先天性僧帽弁狭窄症	0			
313	先天性肺静脈狭窄症	0			
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0			
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症	0			
316	カルニチン回路異常症	0			
317	三頭酵素欠損症	0			
318	シトリン欠損症	0			
319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0			
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0			
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0			
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0			
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0			
324	メチルグルタコン酸尿症	0			
325	遺伝性自己炎症疾患	3			
326	大理石骨病	0			
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0			
328	前眼部形成異常	0			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	341
合計患者数(人)	3874

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
情報通信機器を用いた診療	報告書管理体制加算
医療DX推進体制整備加算	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク妊娠管理加算
歯科外来診療医療安全対策加算2	ハイリスク分娩管理加算
歯科外来診療感染対策加算4	呼吸ケアチーム加算
歯科診療特別対応連携加算	術後疼痛管理チーム加算
特定機能病院入院基本料	後発医薬品使用体制加算1
特定機能病院入院基本料の注10に規定する入院栄養管理体制加算	病棟薬剤業務実施加算1
救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算2
超急性期脳卒中加算	薬剤業務向上加算
診療録管理体制加算1	データ提出加算
医師事務作業補助体制加算1(15対1)	入退院支援加算1
急性期看護補助体制加算(50対1)	入退院支援加算の注4に掲げる地域連携診療計画加算
急性期看護補助体制加算の注2に規定する夜間100対1急性期看護補助体制加算	入退院支援加算の注7に掲げる入院時支援加算
急性期看護補助体制加算の注3に規定する夜間看護体制加算	精神科入退院支援加算
急性期看護補助体制加算の注4に規定する看護補助体制充実加算2	せん妄ハイリスク患者ケア加算
看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	精神疾患診療体制加算
療養環境加算	精神科急性期医師配置加算
重症者等療養環境特別加算	地域医療体制確保加算
無菌治療室管理加算1	特定集中治療室管理料4
無菌治療室管理加算2	特定集中治療室管理料の注1に規定する算定上限日数に関する基準
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素)	特定集中治療室管理料の注2に規定する小児加算
緩和ケア診療加算	特定集中治療室管理料の注4に規定する早期離床・リハビリテーション加算
小児緩和ケア診療加算	特定集中治療室管理料の注5に規定する早期栄養介入管理加算
精神科身体合併症管理加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
精神科リエゾンチーム加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料

摂食障害入院医療管理加算	新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料
栄養サポートチーム加算	総合周産期特定集中治療室管理料
医療安全対策加算1	新生児治療回復室入院医療管理料
感染対策向上加算1	小児入院医療管理料1
感染対策向上加算の注2に規定する指導強化加算	小児入院医療管理料の注2に規定する加算（保育士2名以上の場合）
感染対策向上加算の注5に規定する抗菌薬適正使用体制加算	小児入院医療管理料の注9に規定する病棟薬剤業務実施加算
患者サポート体制充実加算	短期滞在手術等基本料1
重症患者初期支援充実加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	緑内障手術(濾過胞再建術(needle 法))
糖尿病合併症管理料	網膜再建術
がん性疼痛緩和指導管理料	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん疼痛緩和指導管理加算	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
がん患者指導管理料イ	人工中耳植込術
がん患者指導管理料ロ	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術、植込型骨導補聴器交換術及び人工中耳用
がん患者指導管理料ハ	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
がん患者指導管理料ニ	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る)
外来緩和ケア管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
糖尿病透析予防指導管理料	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
乳腺炎重症化予防・ケア指導料	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
婦人科特定疾患治療管理料	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
腎代替療法指導管理料	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
一般不妊治療管理料	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科診療に係るものに限る。)
生殖補助医療管理料2	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
二次性骨折予防継続管理料1	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
二次性骨折予防継続管理料3	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
下肢創傷処置管理料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
慢性腎臓病透析予防指導管理料	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
院内トリアージ実施料	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来放射線照射診療料	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料1	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料の注8に規定する連携充実加算	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ニコチン依存症管理料	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)

療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
がん治療連携計画策定料	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
ハイリスク妊産婦連携指導料1	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
ハイリスク妊産婦連携指導料2	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
肝炎インターフェロン治療計画料	経皮的冠動脈ステント留置術
薬剤管理指導料	胸腔鏡下弁形成術
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	胸腔鏡下弁置換術
医療機器安全管理料1	経カテーテル弁置換術(経皮的太動脈弁置換術)
医療機器安全管理料2	経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
医療機器安全管理料(歯科)	経皮的僧帽弁クリップ術
歯科治療時医療管理料	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術
救急患者連携搬送料	不整脈手術(左心耳閉鎖術(腹腔鏡下によるもの及び経カテーテル的手術によるもの)に限る。)
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	経皮的中隔心筋焼灼術
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
遺伝学的検査の注1に規定する施設基準	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
遺伝学的検査の注2に規定する施設基準	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
骨髓微小残存病変量測定	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
BRCA1/2遺伝子検査	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
がんゲノムプロファイリング検査	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
先天性代謝異常症検査	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	補助人工心臓
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	小児補助人工心臓
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	経皮的下肢動脈形成術
検体検査管理加算Ⅳ	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
国際標準検査管理加算	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)

遺伝カウンセリング加算	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
胎児心エコー法	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
ヘッドアップティルト試験	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
長期継続頭蓋内脳波検査	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
長期脳波ビデオ同時記録検査1	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
脳波検査判断料1	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
神経学的検査	腹腔鏡下肝切除術
補聴器適合検査	生体部分肝移植術
全視野精密網膜電図	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
ロービジョン検査判断料	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
コンタクトレンズ検査料1	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術及び腹腔鏡下膵中央切除術
小児食物アレルギー負荷検査	同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
内服・点滴誘発試験	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
経頸静脈的肝生検	内視鏡的小腸ポリープ切除術
CT透視下気管支鏡検査加算	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
精密触覚機能検査	腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの) 腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
画像診断管理加算1	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
画像診断管理加算4	腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
遠隔画像診断	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
CT撮影及びMRI撮影	同種死体腎移植術
冠動脈CT撮影加算	生体腎移植術
血流予備量比コンピューター断層撮影	膀胱水圧拡張術
心臓MRI撮影加算	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
乳房MRI撮影加算	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
小児鎮静下MRI撮影加算	腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)
頭部MRI撮影加算	精巣内精子採取術
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

外来化学療法加算1	腹腔鏡下仙骨腫固定術
無菌製剤処理料	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2	胎児胸腔・羊水腔シャント術
がん患者リハビリテーション料	胎児輸血術
歯科口腔リハビリテーション料2	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術)
救急患者精神科継続支援料	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
精神科作業療法	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
精神科ショート・ケア「大規模なもの」	輸血管理料1
精神科デイ・ケア「大規模なもの」	貯血式自己血輸血管理体制加算
医療保護入院等診療料	コーディネート体制充実加算
エタノールの局所注入(甲状腺)	同種クリオプレシंपレート作製術
エタノールの局所注入(副甲状腺)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
多血小板血漿処置	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
人工腎臓	歯周組織再生誘導手術
導入期加算3及び腎代替療法実績加算	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	歯根端切除手術の注3に規定する
血漿交換療法の注2に規定する難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	麻酔管理料(Ⅰ)
血漿交換療法の注3に規定する移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	麻酔管理料(Ⅰ)の注5に規定する周術期薬剤管理加算
ストーマ合併症加算	麻酔管理料(Ⅱ)
歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	麻酔管理料(Ⅱ)の注2に規定する周術期薬剤管理加算
手術用顕微鏡加算	放射線治療専任加算
歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	外来放射線治療加算
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	遠隔放射線治療計画加算
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	高エネルギー放射線治療
皮膚悪性腫瘍切除術(皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算を算定する場合に限る)	1回線量増加加算
自家脂肪注入	強度変調放射線治療(IMRT)
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	画像誘導放射線治療加算(IGRT)

骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	体外照射呼吸性移動対策加算
後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	定位放射線治療
椎間板内酵素注入療法	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
腫瘍脊椎骨全摘術	粒子線治療
緊急穿頭血腫除去術	粒子線治療適応判定加算
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	粒子線治療医学管理加算
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	画像誘導密封小線源治療加算
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	保険医療機関間の連携による病理診断
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)	病理診断管理加算2
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	悪性腫瘍病理組織標本加算
角結膜悪性腫瘍切除手術	クラウン・ブリッジ維持管理料
角膜移植術(内皮移植加算)	看護職員処遇改善評価料 67
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
緑内障手術(流出路再建術(眼内法))	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	入院ベースアップ評価料90

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・
・血漿交換療法の注2に規定する難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・
・腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)	・
・粒子線治療 早期肺癌※(Ⅰ期からⅡA期までの肺癌に限る。)	・
・粒子線治療 局所進行子宮頸部扁平上皮癌※(長径6センチメートル以上のものに限る。)	・
・粒子線治療 悪性黒色腫※(婦人科領域の臓器から発生した悪性黒色腫に限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	○1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週3回程度	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	20
	剖検率(%)	5.5

1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
1	ゲノムデータに基づくアレルギー疾患発症予測法の開発	野口 恵美子	遺伝診療科	750,000	補 日本学術振興会
2	ヒノキ科花粉症に対する次世代アレルゲン免疫療法の開発	野口 恵美子	遺伝診療科	1,500,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
3	細胞間相互作用および微生物叢を組み合わせた好酸球性副鼻腔炎の病態解明	野口 恵美子	遺伝診療科	1,000,000	補 日本学術振興会
4	ゲノム医療・研究推進社会に向けた試料・情報の利活用とPPI施策に関する研究開発	竹内 朋代	つくばヒト組織バイオバンクセンター	1,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
5	バイオバンクの利活用促進に向けた高品質な管理・運営体制の構築	竹内 朋代	つくばヒト組織バイオバンクセンター	200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
6	睡眠中の音刺激によるPTSDの新規治療法の開発	坂口 昌徳	メンタルヘルス科	10,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
7	ポストコロナ時代における植物セラピーを活用した段階的ワーケーションの提案と検証	笹原 信一郎	メンタルヘルス科	400,000	補 日本学術振興会
8	森林浴と木材の健康効果の医学的エビデンスの創出:大規模疫学調査による検証	笹原 信一郎	メンタルヘルス科	50,000	補 日本学術振興会
9	森林浴と木材の健康効果の医学的エビデンスの創出:大規模疫学調査による検証	松崎 一葉	メンタルヘルス科	200,000	補 日本学術振興会
10	トラウマ関連障害への認知処理療法の有効性及び作用機序の検証と適用拡大	森田 展彰	メンタルヘルス科	150,000	補 日本学術振興会
11	刑務所における教育プログラムに対する効果検証とその改善	森田 展彰	メンタルヘルス科	500,000	委 法務省
12	更生保護施設における薬物依存者支援の課題と地域連携体制のあり方に関する研究	森田 展彰	メンタルヘルス科	3,200,000	委 厚生労働省
13	精神疾患の親を持つヤングケアラーへの自治体における支援体制構築に関する研究	森田 展彰	メンタルヘルス科	10,000	補 日本学術振興会
14	森林浴と木材の健康効果の医学的エビデンスの創出:大規模疫学調査による検証	道喜 将太郎	メンタルヘルス科	50,000	補 日本学術振興会
15	人工知能を活用したメンタル不調者に対する「画期的・包括的」復帰判定システムの開発	道喜 将太郎	メンタルヘルス科	150,000	補 日本学術振興会
16	人工知能を用いた労働者のメンタルヘルス改善システムの研究開発	道喜 将太郎	メンタルヘルス科	14,997,294	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
17	人工知能を用いた労働者の感情解析と生産性向上のための業務支援システムの開発	道喜 将太郎	メンタルヘルス科	1,300,000	補 日本学術振興会
18	森林浴と木材の健康効果の医学的エビデンスの創出:大規模疫学調査による検証	堀 大介	メンタルヘルス科	50,000	補 日本学術振興会
19	労働者はどれくらい仕事から離れるべきか:連続休息時間の確保に向けた実証研究	堀 大介	メンタルヘルス科	800,000	補 日本学術振興会
20	アルブミンの質的変化に注目した免疫チェックポイント阻害剤の治療予測に関する検討	一水 翔太	薬剤部	390,000	補 日本学術振興会
21	妊娠・授乳中の薬物投与による胎児移行・母乳移行の調査	小西 久美	薬剤部	400,000	補 日本学術振興会
22	唾液を試料としたバクリタキセルの治療薬物モニタリングの実現	竹内 徹也	薬剤部	460,000	補 日本学術振興会
23	エルトロノバグのTDM実用化に関する研究	本間 真人	薬剤部	1,500,000	補 日本学術振興会
24	高齢者の寝たきり予防、並びにリハビリテーション、在宅医療、介護に関する調査研究(リハビリテーション部 椿 拓海)	椿 拓海	リハビリテーション部	700,000	補 公益財団法人大和証券財団
25	がん患者のオピオイド不応の神経障害性疼痛への標準的薬物療法の開発:国際共同試験ならびに普及実装に向けた研究	東端 孝博	緩和支援診療科	70,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
26	AI支援型がん患者の意思決定支援プラットフォーム開発	木澤 義之	緩和支援診療科	200,000	補 日本学術振興会
27	患者の希望を支える日本型ACP支援モデルの実装と効果検証:ランダム化比較試験	木澤 義之	緩和支援診療科	50,000	補 日本学術振興会
28	救急領域で死別経験をした遺族の遅延性悲嘆障害予防に向けた長期的支援モデルの開発	木澤 義之	緩和支援診療科	50,000	補 日本学術振興会
29	苦痛なく心残りのないお別れがどこでもできるためのグッドデス・ケアパスウェイの検証	木澤 義之	緩和支援診療科	50,000	補 日本学術振興会
30	終末期の鎮静と安楽死のグレーゾーンに関する大規模国際共同研究	木澤 義之	緩和支援診療科	50,000	補 日本学術振興会
31	地域における効率的・効果的な緩和ケア専門家へのコンサルテーション体制整備のための研究	木澤 義之	緩和支援診療科	8,800,000	補 厚生労働省
32	前眼部疾患AI診断支援システムに関する研究開発	上野 勇太	眼科	26,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
33	低眼圧症治療のための冷却溶解性隅角閉塞材の開発	森川 翔平	眼科	1,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
34	角膜実質治療のための長期保存可能な脱細胞化透明ブタ角膜実質の開発	大鹿 哲郎	眼科	7,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
35	ダイレクトリプログラミングにより網膜神経節細胞を再生させる新規緑内障治療法の開発	福田 慎一	眼科	25,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
36	老化と神経細胞へのダイレクトリプログラミング	福田 慎一	眼科	4,800,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
37	オルソケラトロジーとアトロピン併用療法の近視抑制効果に関する3群比較試験	平岡 孝浩	眼科	1,900,000	補 日本学術振興会
38	超音波診断におけるディーブラーニングの実装～靱帯損傷診断システム開発～	十時 靖和	救急・集中治療科	1,700,000	補 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元	
39	免疫調節機能を有する農産物等のヒト介入試験	橋本 幸一	橋渡し・臨床研究学	385,000	委	農林水産省
40	ドラッグデリバリーシステムと幹細胞の抗線維化作用に着目した熱傷後瘢痕治療の開発	今井 裕季子	形成外科	1,400,000	補	日本学術振興会
41	再生医療を用いた骨膜機能の賦活化に基づく中顔面骨折の新しい治療法の開発	佐々木 薫	形成外科	1,400,000	補	日本学術振興会
42	血管と自律神経を有する3次元組織培養デバイスの創製	渋谷 陽一郎	形成外科	400,000	補	日本学術振興会
43	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫における間質リモデリングに関する研究	安部 佳亮	血液内科	16,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
44	濾胞T細胞の多様性がリンパ腫へもたらす影響の解明	安部 佳亮	血液内科	700,000	補	日本学術振興会
45	造血幹細胞増幅技術を基盤とした改変造血・免疫細胞の創出と応用	錦井 秀和	血液内科	18,252,800	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
46	腸管GVHDに対する、メタボライトを用いた先制攻撃的治療戦略	栗田 尚樹	血液内科	700,000	補	日本学術振興会
47	「悪性リンパ腫の三次元間質細胞アトラスの構築」に対する研究助成	坂田 麻実子	血液内科	3,000,000	補	(公財)上原記念生命科学財団
48	クローン性がん間質の空間ゲノミクスによる医薬品初期開発	坂田 麻実子	血液内科	26,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
49	血液学および腫瘍内科学関連分野に関する学術研究動向？データサイエンスを取り入れた基礎研究の潮流と臨床実装を目指した免疫療法の将来展望	坂田 麻実子	血液内科	1,200,000	委	日本学術振興会
50	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫の血管多様性の解明と治療戦略	坂田 麻実子	血液内科	17,480,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
51	難治性がん(白血病等)の全ゲノム配列データおよび臨床情報等の収集と解析に基づく創薬等のイノベーションの創出をめざした研究	坂田 麻実子	血液内科	100,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
52	濾胞性リンパ腫の微小環境ネットワークおよび臨床的特性の解明	坂田 麻実子	血液内科	19,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
53	T細胞性リンパ腫の予後予測因子および新たな治療標的の開発(血液内科 須摩 桜子)	須摩 桜子	血液内科	2,500,000	補	公益財団法人 小林がん学術振興会
54	間質細胞のシングルセル解析による血管免疫芽球形T細胞リンパ腫の病態解明	清水 夕貴	血液内科	1,200,000	補	日本学術振興会
55	科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究	長谷川 雄一	血液内科	200,000	補	厚生労働省
56	未治療末梢性T細胞リンパ腫に対する初回導入化学療法後の完全奏効例に対する自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法のランダム化第Ⅲ相試験(JCOG2210)	服部 圭一朗	血液内科	345,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
57	虚血性臓器障害に対するエフェロサイトーシス医薬の開発	澁谷 彰	血液内科	17,690,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
58	耐圧強度に優れた生体親和性呼吸器外科用接着剤の開発	佐藤 幸夫	呼吸器外科	1,100,000	補	日本学術振興会
59	肺腺癌悪液質に対する運動療法とサイトカイン阻害療法を併用した新規包括治療法の開発	佐藤 幸夫	呼吸器外科	50,000	補	日本学術振興会
60	脂肪酸伸長酵素Elovl6欠損による脂肪酸不均衡が喘息のステロイド抵抗性に与える役割	吉田 和史	呼吸器内科	1,000,000	補	日本学術振興会
61	HAS2異常に伴う全身併存症合併炎症性肺疾患患者の表現型解明と臨床応用	際本 拓未	呼吸器内科	1,600,000	補	日本学術振興会
62	性差と加齢が肺NTM症に与える影響について	松山 政史	呼吸器内科	1,000,000	補	日本学術振興会
63	環境応答性転写因子を標的としたアンチエイジングの試みと老化関連肺疾患の制御	森島 祐子	呼吸器内科	600,000	補	日本学術振興会
64	酸化ストレス応答の制御を介した非2型気道炎症に対する新規治療戦略	森島 祐子	呼吸器内科	1,100,000	補	日本学術振興会
65	中高年発症喘息に関与する遺伝因子の解明 -COPD関連遺伝的リスクスコアによる層別化-	北澤 晴奈	呼吸器内科	2,100,000	補	日本学術振興会
66	リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床試験	佐藤 豊実	産科・婦人科	105,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
67	高齢卵巣がん患者に最適な治療選択を行うための開発研究	佐藤 豊実	産科・婦人科	300,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
68	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊孕性温存療法に対するメトホルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導試験	佐藤 豊実	産科・婦人科	1,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
69	思春期女性へのHPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18 陽性割合の推移に関する疫学研究	佐藤 豊実	産科・婦人科	200,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
70	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	佐藤 豊実	産科・婦人科	3,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
71	脂質異常症治療薬スタチンと卵巣癌の脂質親和性およびTCA回路制御に関する検討	小林 佑介	産科・婦人科	1,400,000	補	日本学術振興会
72	遺伝子・抗体等の組合せによる周産期重篤合併症予防指標の開発	濱田 洋実	産科・婦人科	150,000	補	日本学術振興会
73	周産期センター内助産システムを中核とする新規地域産科医療体制の均てん化研究	濱田 洋実	産科・婦人科	900,000	補	日本学術振興会
74	妊婦・授乳婦における医薬品の安全性に関する情報収集及び情報提供の在り方に関する研究	濱田 洋実	産科・婦人科	700,000	補	厚生労働省
75	歯周病関連性NASHの防御において肝臓と関連臓器のNr2が果たす役割	山縣 憲司	歯科・口腔外科	1,400,000	補	日本学術振興会
76	歯周病がNASH進展に果たす役割 -Nr2の腸肝関連に着目した基礎と臨床両面からの解析-	千原 佳菜子	歯科・口腔外科	1,000,000	補	日本学術振興会
77	オートファジー関連タンパク質に着目した口腔がんの切除範囲設定のエビデンス構築	武川 寛樹	歯科・口腔外科	1,000,000	補	日本学術振興会
78	Roles of immune cells derived from clonal hematopoiesis in B-cell lymphomas	NGUYEN THI MINH YEN	耳鼻咽喉科	1,400,000	補	日本学術振興会
79	音楽トレーニングによる聴覚障害者の非言語音聴取への効果についての研究	田淵 経司	耳鼻咽喉科	100,000	補	日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
80	人工内耳装用における効果的な介入法に関する研究開発	田淵 経司	耳鼻咽喉科	200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
81	難治性聴覚障害に関する調査研究	和田 哲郎	耳鼻咽喉科	300,000	補 厚生労働省
82	BETプロモドメインを標的とした心房細動機序解明	許 東洙	循環器内科	1,800,000	補 日本学術振興会
83	肺高血圧症の早期診断のための心エコーによる診断アルゴリズムの検討	佐藤 希美	循環器内科	1,300,000	補 日本学術振興会
84	心不全患者の苦痛症状と終末期医療の質に関する研究	山本 昌良	循環器内科	900,000	補 日本学術振興会
85	“先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上、円滑な移行医療、成人期以降の予後改善を目指した総合的研究”	石津 智子	循環器内科	500,000	補 厚生労働省
86	先天性心疾患術後の二次性三尖弁閉鎖不全症の手術適応決定のためのエビデンス創出	石津 智子	循環器内科	10,000	補 日本学術振興会
87	再生・細胞医療・遺伝子治療開発における知財と事業化の支援課題	町野 毅	つくば臨床医学研究開発機構	11,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
88	革新的“極”細径内視鏡の開発 世界最小径膀胱鏡の開発とその応用	神保 教広	小児外科	1,200,000	補 日本学術振興会
89	希少難治性消化器疾患の長期的QOL向上と小児期からのシームレスな医療体制構築	増本 幸二	小児外科	200,000	補 厚生労働省
90	抗原特異的Treg誘導による経皮的アレルゲン免疫療法の開発	稲葉 正子	小児内科	2,300,000	補 日本学術振興会
91	原発性免疫不全症候群の全国診療体制確立、移行医療体制構築、診療ガイドライン確立に関する研究	高田 英俊	小児内科	1,000,000	補 厚生労働省
92	自己炎症性疾患とその類縁疾患における、移行期医療を含めた診療体制整備、患者登録推進、全国疫学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究	高田 英俊	小児内科	600,000	補 厚生労働省
93	未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Diseases(IRUD)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	高田 英俊	小児内科	8,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
94	原因不明の小児急性肝炎の実態把握、病原体検索、病態解明と治療法の開発(2024)	今川 和生	小児内科	1,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
95	重症新生児に対する迅速なゲノム診断の医療実装に関する研究開発	今川 和生	小児内科	300,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
96	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	今川 和生	小児内科	150,000	補 厚生労働省
97	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症、アラジール症候群の診療ガイドライン作成を見据えた現行レジストリの拡充と研究シーズの創生	今川 和生	小児内科	1,300,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
98	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症1型の救命に資する肝保護療法の実用化研究	今川 和生	小児内科	2,700,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
99	難治性小児肝疾患の病態モデル簡易化に向けた基盤研究	今川 和生	小児内科	400,000	補 日本学術振興会
100	小児から成人期発症遺伝性QT延長症候群とその類縁疾患の突然死予防に関する研究	村上 卓	小児内科	100,000	補 厚生労働省
101	新生児炎症疾患に胎児免疫が及ぼす影響	藤山 聡	小児内科	1,200,000	補 日本学術振興会
102	「小児がん患者の陽子線照射後の消化管出血・潰瘍発生の解析、新たなバイオマーカー探索」に対する研究助成	福島 紘子	小児内科	200,000	補 (公財)がんの子どもを守る会
103	ダウン症候群関連骨髄性白血病におけるコヒーシ異常の機能解明と標的治療の開発	穂坂 翔	小児内科	2,100,000	補 日本学術振興会
104	レクチンによる細胞特異的核酸デリバリー技術の開発	下村 治	消化器外科	350,000	補 日本学術振興会
105	「空間トランスクリプトーム解析」による臨床肺癌CAFの機能解明と治療標的の探索	宮崎 貴寛	消化器外科	2,900,000	補 日本学術振興会
106	「空間トランスクリプトーム解析による多様性を持つ肺癌Cancer associated-fibroblastの機能の解明」に対する研究助成	宮崎 貴寛	消化器外科	800,000	補 公益財団法人 日本膵臓病研究財団
107	長期ピンポイント近赤外蛍光組織マーカーの開発	古屋 欽司	消化器外科	5,288,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
108	消化器外科学(臨床)分野に関する学術研究動向及び学術振興方策-外科学におけるAI/手術ナビゲーション/ロボット手術の現状と展望	小田 竜也	消化器外科	4,000,000	委 日本学術振興会
109	薬剤誘導性消化器毒性の包括的理解のための新規評価系の構築および定量的リスク予測	小田 竜也	消化器外科	700,000	補 日本学術振興会
110	機械学習を用いて患者モニター映像から術後せん妄を早期に検知するシステムの開発	中山 健	消化器外科	700,000	補 日本学術振興会
111	肺癌の低酸素ストレス耐性を標的とした新規治療開発	明石 義正	消化器外科	1,200,000	補 日本学術振興会
112	抗酸化ナノ粒子による新規臓器保護法の開発	高橋 一広	消化器外科	1,000,000	補 日本学術振興会
113	老化血小板を用いた肝疾患における新規治療法確立を目指した基礎研究	高橋 一広	消化器外科	50,000	補 日本学術振興会
114	運動によるNASH改善において筋Nr2f6が果たす役割の解明-EVsを介した臓器連関に着目して	岡田 浩介	消化器内科	500,000	補 日本学術振興会
115	褐色脂肪細胞の分化と老化におけるp62の役割 - 肥満の制御を目指して	岡田 浩介	消化器内科	2,500,000	補 日本学術振興会
116	薬事承認を目指した医療機器開発のRBA実装と特定臨床研究における品質管理汎用性ツールの開発	山田 武史	つくば臨床医学研究開発機構	9,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
117	炎症性腸疾患関連消化管癌におけるSLFN11の役割	山本 祥之	消化器内科	1,400,000	補 日本学術振興会
118	「酸素飽和度イメージング内視鏡を用いた潰瘍性大腸炎における便秘切迫感の病態解明」に対する研究助成	秋山 慎太郎	消化器内科	500,000	補 (公財)内視鏡医学研究振興財団
119	ジラジカル錯体をごん認識光熱変換プローブとするがんの未来型セラノスティクス	松井 裕史	消化器内科	432,042	補 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元	
120	組織接着性ポルフィリンを用いた局所投与型光線力学療法 の創出	松井 裕史	消化器内科	1,500,000	補	日本学術振興会
121	働き方改革施行後の臨床研修医の労働環境・研修目標達成 状況についての全国調査	瀬尾 恵美子	消化器内科	1,100,000	補	日本学術振興会
122	運動によるNASH改善において筋Nr2が果たす役割の解明- EVsを介した臓器連関に着目して	正田 純一	消化器内科	500,000	補	日本学術振興会
123	筋細胞のAnxa1を介した筋-肝連関による新たなNASH抑制機 構の解明	正田 純一	消化器内科	1,400,000	補	日本学術振興会
124	「潰瘍性大腸炎変部特異的機構の解明」に対する研究助 成	土屋 輝一郎	消化器内科	500,000	補	(公財)日本応用酵素協会
125	高分子キレート化合物を用いる新しい腸粘膜改変技術の基 礎検討	土屋 輝一郎	消化器内科	400,000	補	日本学術振興会
126	腸オルガノイドによる大腸組織再生の最適化	土屋 輝一郎	消化器内科	500,000	補	日本学術振興会
127	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	土屋 輝一郎	消化器内科	200,000	補	厚生労働省
128	放射光白色X線を使用した微小血管造影システムの基礎的 開発	塚田 亨	心臓血管外科	250,000	補	日本学術振興会
129	他家移植による心疾患治療のための新世代再生医療の創出	鈴木 保之	心臓血管外科	9,000,000	補	日本学術振興会
130	IgA腎症の根治を目的とした遺伝子治療技術の開発	臼井 丈一	腎臓内科	20,000,000	委	国立研究開発法人日本 医療研究開発機構
131	難治性の希少腎疾患に対する治療最適化に向けた研究開発	臼井 丈一	腎臓内科	200,000	委	国立研究開発法人日本 医療研究開発機構
132	難治性腎障害に関する調査研究	臼井 丈一	腎臓内科	1,200,000	補	厚生労働省
133	Whole body vibrationによる慢性腎臓病の進展防止効果	斎藤 知栄	腎臓内科	2,500,000	補	日本学術振興会
134	腎疾患対策検討会報告書に基づく対策の進捗管理および新 たな対策の提言に資するエビデンス構築	山縣 邦弘	腎臓内科	300,000	補	厚生労働省
135	腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病(CKD)対策の 推進に資する研究	山縣 邦弘	腎臓内科	450,000	補	厚生労働省
136	難治性腎障害に関する調査研究	山縣 邦弘	腎臓内科	500,000	補	厚生労働省
137	成人期以降の継続的な歯科健診に関する経済分析・評価	大久保 麗子	腎臓内科	1,100,000	補	日本学術振興会
138	膝前十字靭帯損傷後の筋萎縮メカニズムの究明と多血小板 血漿による介入効果の検討	菊池 直哉	整形外科	1,400,000	補	日本学術振興会
139	「腰部装着型サイボークを用いたロボットリハビリテーションに よる高齢者の廃用予防と健康寿命延伸への取り組み」多施 設前向き非盲検化比較試験②に対する研究助成	三浦 紘世	整形外科	2,000,000	補	(公財)武田科学振興財団
140	歩行等の運動機能を向上させるHAL腰タイプの開発及びこ れを活用したサービスメニュー開発	三浦 紘世	整形外科	4,304,738	補	経済産業省
141	リアルサイバースポーツ環境を作るコミュニケーションロボット	山崎 正志	整形外科	1,289,063	委	国立研究開発法人日本 医療研究開発機構
142	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	山崎 正志	整形外科	18,462,000	補	厚生労働省
143	ジャンパー膝の予防と早期治療介入の検証:超音波所見の 経時的変化と跳躍負荷との関係	西野 衆文	整形外科	1,400,000	補	日本学術振興会
144	上腕骨外側上顆炎に対する新規装具の開発	池田 和大	整形外科	1,200,000	補	日本学術振興会
145	応力解析を用いた骨粗鬆症大腿骨に最適なセメントシステムと セメントテクニクの探索	渡邊 竜之介	整形外科	1,900,000	補	日本学術振興会
146	頸部装着型嚥下モニターを活用した摂食嚥下リハビリ支援プ ラットフォームの国際展開	門根 秀樹	整形外科	100,000	補	日本学術振興会
147	“大規模イベントに対する戦略的リスクアセスメント及びヘル スシステムの強化に向けた標準的枠組に関する研究”	高橋 晶	精神神経科	800,000	補	厚生労働省
148	新型コロナウイルス感染に起因すると考えられる精神症状に 関する疫学的検討と支援策の検討に資する研究	高橋 晶	精神神経科	935,000	補	厚生労働省
149	「摂食障害の疾患啓発を通じた地域貢献活動」に対する研究 助成	根本 清貴	精神神経科	300,000	補	公益財団法人メンタルヘル ス岡本記念財団
150	磁気けいれん療法(MST)事業承認	根本 清貴	精神神経科	1,500,000	委	国立研究開発法人日本 医療研究開発機構
151	人工内耳装用児の言語能力向上のための効果的な療育方 法の確立に向けた研究	根本 清貴	精神神経科	700,000	補	厚生労働省
152	アルツハイマー病の新しい抗Aβ抗体薬およびBPSD治療薬 対応のための診療指針策定のための調査研究	新井 哲明	精神神経科	3,000,000	補	厚生労働省
153	アルツハイマー病疾患修飾薬全国臨床レジストリの構築と解 析	新井 哲明	精神神経科	1,000,000	委	国立研究開発法人日本 医療研究開発機構
154	多施設連携プラットフォーム(MABB)を基盤にした各種認知症 性疾患に対する日本発の包括的な診断・層別化バイオマー カーシステムの確立	新井 哲明	精神神経科	4,700,000	委	国立研究開発法人日本 医療研究開発機構
155	認知症医療の進展に伴う社会的課題への対応のための研究	新井 哲明	精神神経科	10,133,000	補	厚生労働省
156	災害派遣精神医療チーム(DPAT)活動における機能強化と 激甚災害(南海トラフ地震等)への対応検討のための研究	太刀川 弘和	精神神経科	1,020,000	補	厚生労働省
157	自殺未遂者の実態解明と自殺未遂者登録システム構築のた めの研究	太刀川 弘和	精神神経科	200,000	補	日本学術振興会
158	心の悩みに関するチャットボットに係る自殺予防研究事業	太刀川 弘和	精神神経科	770,000	委	茨城県知事
159	プライマリ・ケア医によるこころの健康問題の診療に関する障 壁の解明	梶川 奈月	総合診療科	1,000,000	補	日本学術振興会
160	大腿骨近位部骨折の診断におけるスマートフォンを活用した 新たな身体診察法の開発	橋本 恵太郎	総合診療科	1,000,000	補	日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元	
161	ミトコンドリア機能に着目した糖尿病における呼吸筋機能低下メカニズムの解明	小林 裕幸	総合診療科	50,000	補	日本学術振興会
162	医師臨床研修制度における基本的臨床能力評価試験の活用等に関する研究	小林 裕幸	総合診療科	2,500,000	補	厚生労働省
163	看護師へのタスクシフトの実態把握及び促進・阻害要因の包括的評価に関する研究	西浦 千尋	総合診療科	1,500,000	補	日本学術振興会
164	総合的な診療能力を有する医師の活躍推進方策に関する調査研究	前野 哲博	総合診療科	1,284,000	補	厚生労働省
165	医療の質向上のための患者と家族介護者に関する在宅医療アウトカムの包括的評価	孫 瑜	総合診療科	1,800,000	補	日本学術振興会
166	研修医および指導医の労働時間制限が教育回診に与える影響の検討	長崎 一哉	総合診療科	500,000	補	日本学術振興会
167	がん患者の療養場所に関する意思決定プロセス、および、療養場所における医療・緩和ケアの実態、提供体制と質に関する多面的評価研究	濱野 淳	緩和支援診療科	7,847,000	補	厚生労働省
168	患者・家族の心残りが少なくなるための予後に関する対話方法の確立と実証	濱野 淳	緩和支援診療科	100,000	補	日本学術振興会
169	「代謝産物センサー分子の同定によってもたらされた新しい考え方と医療応用」に対する研究助成	関谷 元博	内分泌代謝・糖尿病内科	5,000,000	補	(公財)武田科学振興財団
170	「代謝産物センサー分子の肥満・糖尿病関連腎障害における役割の解明」に対する研究助成	関谷 元博	内分泌代謝・糖尿病内科	1,000,000	補	(公財)日本糖尿病財団
171	代謝産物センサー分子を標的にした糖尿病・肥満関連疾患の包括的な治療体系の構築	関谷 元博	内分泌代謝・糖尿病内科	10,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
172	代謝産物センサー分子を標的にした老化現象の解明と医療応用	関谷 元博	内分泌代謝・糖尿病内科	11,500,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
173	脂肪酸鎖長制御に基づく代謝性肝疾患の発症予防・治療機序の解明	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病内科	5,000,000	補	日本学術振興会
174	β アミノイソ酪酸の産生および癌の予後に関する研究	松田 高明	内分泌代謝・糖尿病内科	100,000	補	日本学術振興会
175	「ヒト中脳線機能亢進症モデルオルガノイドを用いたオートエスケープ現象の解明と新規治療薬の探索」に対する研究助成	大崎 芳典	内分泌代謝・糖尿病内科	2,000,000	補	公益財団法人アステラス病態代謝研究会
176	オミックスデータベースより見出された新規肥満遺伝子の解析	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	100,000	補	日本学術振興会
177	栄養センサーPtx4のO-GlcNAc糖鎖修飾を起点とする脂肪性肝炎治療戦略	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	150,000	補	日本学術振興会
178	原発性脂質異常症に関する調査研究	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	200,000	補	厚生労働省
179	脂肪酸組成制御による生活習慣病の新規治療理念確立と核酸医薬開発	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	20,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
180	次世代送達技術を用いた医薬品研究開発／開発候補品のリード最適化研究／ゴーシェ病克服を目的とした中枢神経系への安全な薬物送達を実現するリガンド搭載型BROTHER	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	6,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
181	電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	300,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
182	HER2陽性乳癌に対する手術省略を目指した医療機器の開発研究	坂東 裕子	乳腺・甲状腺・内分泌外科	200,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
183	HLA class II拘束性T細胞エピトープとなりうる乳癌のpublic neoantigenの探索	坂東 裕子	乳腺・甲状腺・内分泌外科	1,200,000	補	日本学術振興会
184	WJOG16822B がん全ゲノム解析を用いた乳癌術前化学療法最適化-pCR予測およびnon-pCRの新規Target探索	坂東 裕子	乳腺・甲状腺・内分泌外科	153,846	委	公益財団法人がん研究会
185	膠芽腫におけるTP53変異による免疫療法抵抗性メカニズムの解明と克服	三木 俊一郎	脳神経外科	900,000	補	日本学術振興会
186	スポーツ脳振盪による身体機能低下機序の解明と運動科学に基づく回復プログラムの確立	室井 愛	脳神経外科	2,000,000	補	日本学術振興会
187	光線力学と不活化ウイルスの連携によるグリオーマに対する革新的免疫療法	松田 真秀	脳神経外科	1,200,000	補	日本学術振興会
188	がん幹細胞を標的とした初発膠芽腫の放射線+テモゾロミド+メトホルミン併用療法の第I・II相臨床試験	石川 栄一	脳神経外科	200,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
189	初発IDH野生型低悪性度神経膠腫に対するNovoTTF-100Aシステムの多施設共同第II相試験(医師主導治験)	石川 栄一	脳神経外科	200,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
190	造影病変完全切除可能な初発膠芽腫に対する標準的手術法確立に関する研究	石川 栄一	脳神経外科	200,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
191	膠芽腫に対する先進的局所療法と免疫療法併用に伴う免疫細胞不活化の機序の解明と克服	石川 栄一	脳神経外科	4,400,000	補	日本学術振興会
192	難治性脳脊髄腫瘍に対する治療前の代謝分子イメージングによる再発予測	鶴淵 隆夫	脳神経外科	900,000	補	日本学術振興会
193	高度脳神経損傷に対する歯髄由来分化誘導神経系細胞を用いた新たな神経再生医療の開発	渡邊 真哉	脳神経外科	1,100,000	補	日本学術振興会
194	脳腫瘍領域における臨床評価手法に関するレギュラトリーサイエンス研究	渡邊 真哉	脳神経外科	4,400,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
195	「nicotineによるドパミン神経細胞代謝調節機構の解明」に対する研究助成	斉木 臣二	脳神経内科	2,000,000	補	公益財団法人喫煙科学研究財団
196	「オートファジーによる加齢調節機構について」に対する研究助成	斉木 臣二	脳神経内科	259,000	補	(公財)日中医学協会
197	α -シヌクレイン/バチーの病態解明への挑戦:革新的治療法開発への新たな一歩	斉木 臣二	脳神経内科	12,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
198	レヴィ小体構成蛋白 α -シヌクレインの伝播・凝集機序解明と革新的進行阻止療法の開発	斉木 臣二	脳神経内科	4,200,000	補	日本学術振興会
199	細胞内alpha-Synuclein凝集制御機構を解析するケミカルバイオロジー	斉木 臣二	脳神経内科	300,000	補	日本学術振興会
200	「ATG2A局在異常を正を介したフェロトーシス制御による β アミロイド関連神経変性症の根本的治療法探索」に対する研究助成	藤巻 基紀	脳神経内科	3,000,000	補	(公財)持田記念医学薬学振興財団
201	「パーキンソン病におけるドパミン神経細胞死は鉄関連細胞死フェロトーシスにより生じるのか?」に対する研究助成	藤巻 基紀	脳神経内科	2,000,000	補	(公財)武田科学振興財団

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
202	アルツハイマー病の予防的治療にむけたAβ毒性コンホマーによる血液マーカ－の開発	富所 康志	脳神経内科	1,100,000	補 日本学術振興会
203	マイトファジーによる加齢関連細胞変容の防御機構解明と応用	片浦 哲志	脳神経内科	8,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
204	レドナックス粒子による脳虚血再灌流障害抑制効果と再生医療応用への検証	細尾 久幸	脳卒中科	1,000,000	補 日本学術振興会
205	東アジア特異的RNRF213 p.R4810Kバリエーションの迅速判定に基づく多血管疾患のリスク評価法の確立とその血管領域特異性を規定する要因の探索	山上 宏	脳卒中科	500,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
206	慢性期脳梗塞に対するiPS細胞由来神経前駆細胞を用いた再生医療開発	山上 宏	脳卒中科	300,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
207	急性期脳梗塞に対する血管内治療の適応時間拡大を目的とした多施設共同ランダム化比較研究	松丸 祐司	脳卒中科	600,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
208	血管内脳波測定デバイスの多施設共同医師主導治験	松丸 祐司	脳卒中科	90,186,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
209	神栖市—筑波大学協同プロジェクト Brain Rescue KAMISU	松丸 祐司	脳卒中科	1,260,000	委 神栖市長
210	脳卒中・心臓病のCircular Healthcare Systemに関する研究	松丸 祐司	脳卒中科	100,000	補 日本学術振興会
211	脳卒中急性期医療の均てん化を加速するための研究	松丸 祐司	脳卒中科	200,000	補 厚生労働省
212	迅速に分化誘導した興奮性・抑制性ニューロンを組み合わせた脳梗塞の再生医療(脳神経外科・脳卒中科 松村 英明)	松村 英明	脳卒中科	1,000,000	補 (公財)小柳財団
213	転写因子を過剰発現させて迅速に誘導した興奮性・抑制性ニューロンを用いた脳梗塞の再生医療(脳神経外科・脳卒中科 松村 英明)	松村 英明	脳卒中科	500,000	補 公益財団法人臨床研究奨励基金
214	脳梗塞に興奮性・抑制性ニューロンを移植し、可塑性を持った神経回路の再構築を目指す	松村 英明	脳卒中科	1,100,000	補 日本学術振興会
215	バイオマテリアルを用いた新たな神経細胞培養技術と神経再生医療の開発(脳神経外科・脳卒中科 平田 浩二)	平田 浩二	脳卒中科	2,000,000	補 (公財)武田科学振興財団
216	小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究—サバイバーシップ向上を志向して	根来 宏光	泌尿器科	200,000	補 厚生労働省
217	尿路変向による廃用性低活動萎縮膀胱ラットモデルの回復における神経支配の影響の解明	根来 宏光	泌尿器科	300,000	補 日本学術振興会
218	High volume転移を認める前立腺癌患者に対する局所放射線治療を併用する標準治療の確立と治療効果予測マーカーの開発	西山 博之	泌尿器科	1,700,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
219	ゲム医療実現推進のためのバイオバンク・ネットワーク構築とバイオバンク利活用促進に関する研究開発	西山 博之	泌尿器科	3,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
220	小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究—サバイバーシップ向上を志向して	西山 博之	泌尿器科	200,000	補 厚生労働省
221	進行腎細胞癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	西山 博之	泌尿器科	3,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
222	最終エキソソームに早期終止コドンをもつ変異mRNA分解機構の解明	久保田 典子	皮膚科	1,300,000	補 日本学術振興会
223	皮膚癌に浸潤するメモリーT細胞サブセットの解析	中村 貴之	皮膚科	400,000	補 日本学術振興会
224	「Ichthyosis with confettiでみられる自然治癒機構の解明」に対する研究助成	乃村 俊史	皮膚科	1,500,000	補 (公財)マルホ・高木皮膚科学振興財団
225	Ichthyosis with confettiでみられる自然治癒機構の解明	乃村 俊史	皮膚科	10,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
226	Last exon PTC によるmRNA/タンパク質発現調節機構の解明	乃村 俊史	皮膚科	2,000,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
227	皮膚の遺伝関連性希少難治性疾患群の網羅的研究	乃村 俊史	皮膚科	950,000	補 厚生労働省
228	ロングリード技術による肺がんゲノム・エピゲノム不均一性と微小環境ストレスの関係性解明に関する研究開発	松原 大祐	病理診断科	500,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
229	細胞接着分子群の特性と体質の解明に基づくがんの新規診断、治療法の確立と意義の解明	松原 大祐	病理診断科	500,000	補 日本学術振興会
230	肺大細胞神経内分泌癌におけるYAP1発現の不均一性にecDNAは関わっているのだろうか？	臺 知子	病理診断科	1,000,000	補 日本学術振興会
231	マルチオン治療の精度担保のためのゲル線量計を用いた新たな品質管理手法の確立	磯辺 智範	放射線腫瘍科	50,000	補 日本学術振興会
232	運動によるNASH改善において筋Nrf2が果たす役割の解明—EVsを介した臓器連関に着目して	磯辺 智範	放射線腫瘍科	500,000	補 日本学術振興会
233	ホウ素中性子捕捉療法用中性子照射装置の中性子ビーム特性評価の標準化に関する研究開発	熊田 博明	放射線腫瘍科	1,100,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
234	脳腫瘍に対するマルチターゲット型中性子捕捉療法の実装に向けた基盤構築	熊田 博明	放射線腫瘍科	200,000	補 日本学術振興会
235	陽子線治療のRBE変動性再評価による患者安全性の向上	熊田 博明	放射線腫瘍科	150,000	補 日本学術振興会
236	機械学習による子宮頸癌の放射線感受性予測と新規3者併用療法の確立	斎藤 高	放射線腫瘍科	1,500,000	補 日本学術振興会
237	BNCTのための新しいD-BPA糖結合体の利用による体内動態制御法の開発	松本 孔貴	放射線腫瘍科	300,000	補 日本学術振興会
238	がんを認知して変形し自律的にがんが集積するホウ素薬剤および薬物担体の開発	松本 孔貴	放射線腫瘍科	500,000	補 日本学術振興会
239	切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化同時対照試験	水本 斉志	放射線腫瘍科	200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
240	難治性悪性脳腫瘍の中性子捕捉療法薬剤の開発	中井 啓	放射線腫瘍科	200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
241	局所限局性前立腺癌中リスク症例に対する陽子線治療の多施設共同臨床試験と多種の放射線治療モダリティとの比較を可能とする局所限局性前立腺癌に対する強度変調放射線治療	櫻井 英幸	放射線腫瘍科	6,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
242	初発悪性神経腫に対する新型高出力中性子線源を用いたホウ素中性子捕捉療法の安全性試験	櫻井 英幸	放射線腫瘍科	80,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
243	多発転移性腎癌におけるニボルマブと放射線治療の相乗効果を検証する無作為比較試験	櫻井 英幸	放射線腫瘍科	100,000	補 日本学術振興会
244	18F-FBPA PET検査による悪性神経腫再発と放射線壊死の鑑別	原 唯史	放射線診断・IVR科	1,100,000	補 日本学術振興会
245	術後認知機能障害へのブテロステルベンの効果とサーチュイン等を介した作用機序の解明	猪股 伸一	麻酔科	2,400,000	補 日本学術振興会
246	嚥下AI自動解析に基づく誤嚥リスクモニタリング用プログラム医療機器の開発	鈴木 健嗣	つくば臨床医学研究開発機構	18,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
247	周術期の抑肝散投与が偽アルドステロン症発症におよぼす影響	嶋田 沙織	薬剤部	410,000	補 日本学術振興会
248	超高線量率照射を視野に入れた陽子線場の絶対線量計測法の開発	榮 武二	陽子線医学利用研究センター	100,000	補 日本学術振興会
249	陽子線治療のRBE変動性再評価による患者安全性の向上	榮 武二	陽子線医学利用研究センター	150,000	補 日本学術振興会
250	レナラーゼを標的とした治療戦略開発のための新規受容体の探索	竹越 一博	臨床病理科	400,000	補 日本学術振興会
251	神経芽腫及び褐色細胞腫における3-Methoxytyramine sulfate/3-Methoxytyramine定量技術の確立と実用化	竹越 一博	臨床病理科	200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
252	鍼通電刺激がオープンウィンドウ現象に与える影響と随伴する上気道感染の予防効果検証	竹越 一博	臨床病理科	100,000	補 日本学術振興会
253	シェーグレン症候群における病源性T細胞の解析に基づいた層別化治療への展望	安部 沙織	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	1,300,000	補 日本学術振興会
254	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	近藤 裕也	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	180,000	補 厚生労働省
255	「炎症性サイトカインによる気道リモデリングと血管炎症制御機構の解明」に対する研究助成	三木 春香	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	3,000,000	補 (公財)持田記念医学薬学振興財団
256	重症喘息における気道過敏性とリモデリングを標的とした治療薬の基盤開発の検討	三木 春香	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	5,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
257	関節リウマチにおける制御性T細胞の加齢と炎症に伴う疲弊メカニズムの解明	松本 功	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	5,100,000	補 日本学術振興会
258	早期関節リウマチの滑膜と末梢血情報による予後予測モデルの構築	松本 功	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	100,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
259	免疫担当細胞eQTLデータを用いた免疫介在性疾患ゲノム情報からの層別化および予後予測モデルの構築	松本 功	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
260	「B細胞のチェックポイント分子発現から考える自己免疫病態の解析」に対する研究助成	浅島 弘充	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	2,000,000	補 (公財)武田科学振興財団
261	IgG4陽性形質細胞の多寡に着目したsingle cell RNA-SeqによるIgG4関連疾患の病態解明	坪井 洋人	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	1,100,000	補 日本学術振興会
262	オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	坪井 洋人	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	800,000	補 厚生労働省
263	自己免疫疾患に関する調査研究	坪井 洋人	膠原病・リウマチ・アレルギー内科	200,000	補 厚生労働省
264	NAFLD/NASHの病態進展における歯周病関与についての包括的解析	内田 文彦	歯科・口腔外科	1,430,000	補 日本学術振興会
265	血管網内在末梢神経オルガノイドの構築と新規末梢神経再生治療の創出	高岡 昇平	歯科・口腔外科	1,800,000	補 日本学術振興会
266	運動神経からの遠隔電場電位の検出と最適な電位計測条件の探索	羽田康司	リハビリテーション科	910,000	補 日本学術振興会
267	脊髄損傷者に対する麻痺肢リハビリテーション脳機能評価に基づく随機的訓練法の確立	清水如代	リハビリテーション科	1,820,000	補 日本学術振興会
268	光免疫療法の臨床上的問題解決に向けた同所性癌腫ブタモデル作成と治療手法の提案	中島崇仁	放射線診断・IVR	5,200,000	補 日本学術振興会
269	術後Na-23 励起MRI による骨盤神経叢障害の予測指標の開発	齋田 司	放射線診断・IVR	390,000	補 日本学術振興会
270	分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬と共存する新時代のTACEの確立	星合社大	放射線診断・IVR	1,820,000	補 日本学術振興会
271	Investigate the feasibility of altering cancer drug sensitivity through modulation of AHR activity	ルーラスティフォルバカバリ	消化器外科	2,400,000	補 日本学術振興会
272	社会的孤立の生成プロセス解明と介入法開発:健康な「個立」を目指して	太刀川 弘和	精神神経科	15,860,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
273	アドバンス・ケア・プランニングを始める時期が客観的にわかる方法の開発と効果の検証	濱野 淳	緩和支援診療科	4,800,000	補 日本学術振興会
274	iPS-バーキンソン病細胞モデルを用いたオートファジー・代謝・細胞死連関の解明	片浦 哲志	脳神経内科	1,100,000	補 日本学術振興会
275	マイトファジーによる細胞老化防御機構の解明	片浦 哲志	脳神経内科	1,200,000	補 公益財団法人住友財団
276	マイトファジーによる細胞老化防御機構の解明	片浦 哲志	脳神経内科	2,000,000	補 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
277	マイトファジーによる加齢細胞変容の防御機構解明	片浦 哲志	脳神経内科	2,000,000	補 公益財団法人上原記念生命科学財団
278	β プロペラ関連神経変性症の鉄沈着と神経細胞シフトフェロトーシスによるものか?	藤巻 基紀	脳神経内科	700,000	補 日本学術振興会
279	睡眠と冬眠:2つの「眠り」の解明と操作が拓く新世代医療の展開	斉木臣二	脳神経内科	5,610,000	補 内閣府
280	圧迫療法による化学療法誘発性末梢神経障害予防の臨床研究	岡崎 舞	乳腺甲状腺内分泌外科	1,200,000	補 日本学術振興会
281	腫瘍免疫応答を抑制する可溶性免疫受容体を標的とした新規がん免疫療法の基盤開発	松尾 知平	乳腺甲状腺内分泌外科	1,100,000	補 日本学術振興会
282	DNA損傷バイオマーカーを利用した放射線治療の効果・有害事象予測に関する基盤研究	水本 育志	放射線腫瘍科	650,000	補 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
283	陽子線治療高精度技術の標準化と評価方法の確立	水本 斉志	放射線腫瘍科	200,000	委 国立研究開発法人国立がん研究センター
284	難治性悪性脳腫瘍の中性子捕捉療法薬剤の開発	中井 啓	放射線腫瘍科	200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
285	多面的癌制御でBNCTのさらなる治療効果向上	沼尻 晴子	放射線腫瘍科	900,000	補 日本学術振興会
286	NMDA受容体シグナル抑制と温熱療法併用放射線治療での腫瘍増殖の克服	飯泉 天志	放射線腫瘍科	1,100,000	補 日本学術振興会
287	深層学習を利用したEPIDによる腫瘍監視システムの開発と人体ファントムによる精度評価	守屋 駿佑	放射線腫瘍科	1,000,000	補 日本学術振興会
288	陽子線治療高精度技術の標準化と評価方法の確立	守屋 駿佑	放射線腫瘍科	200,000	委 国立研究開発法人国立がん研究センター
289	国際標準計測機器による各国のBNCT装置の中性子ビームの測定と国際比較評価	熊田 博明	放射線腫瘍科	4,100,000	補 日本学術振興会
290	NCT用中性子ビーム評価手法確立に向けたスペクトロメータの開発と適用性評価	熊田 博明	放射線腫瘍科	50,000	補 日本学術振興会
291	来型BNCTの普及・適応拡大に適した高効率・安全性を有する超分子製剤の検証	松本 孔貴	放射線腫瘍科	1,000,000	補 日本学術振興会
292	放射線リスクをマルチスケールで判断できる人材養成プログラム	磯辺 智範	放射線腫瘍科	15,844,537	補 原子力規制庁
293	筋細胞Nrf2の脂肪性肝炎に対する防御効果 - 筋由来損傷ミトコンドリア輸送に着目する	磯辺 智範	放射線腫瘍科	2,500,000	補 日本学術振興会
294	筋の酸化ストレス応答転写因子Nrf2は筋-肝連関を介してNASH・肝癌を抑制する	磯辺 智範	放射線腫瘍科	3,500,000	補 日本学術振興会
295	深層学習による腫瘍構造を反映したホウ素濃度推定法の確立	磯辺 智範	放射線腫瘍科	50,000	補 日本学術振興会
296	小児腫瘍に対する陽子線治療後の成長障害予測と可視化に関する基礎研究	大城 佳子	放射線腫瘍科	300,000	補 日本学術振興会
297	疎水性結合組織生着メカニズムの解明～重度四肢外傷におけるFix&PAT確立へ～	大島 純弥	形成外科	1,170,000	補 日本学術振興会
298	医療従事者における自然と人のつながりを活用したサルトジェニック・プログラムの開発	笹原信 一郎	メンタルヘルス科	140,000	補 日本学術振興会
299	大学生アスリートのアディクション対策のための支援ツールの開発	森田展彰	メンタルヘルス科	30,000	補 日本学術振興会
300	オピオイドシステムメカニズムにおけるメチル化とSTR解析を用いた革新的遺伝子研究	猪股 伸一	麻酔科	1,529,733	補 日本学術振興会
301	非コントロール高血圧症の周術期の危険性に関する後方視的観察研究	福田 妙子	麻酔科	700,000	補 日本学術振興会
302	全身麻酔薬の脳傍核における侵害情報伝達への作用の解明	山本 純偉	麻酔科	800,000	補 日本学術振興会
303	経鼻・インスリン投与の周術期認知機能障害に対する効果とバイオマーカーの検討	中橋 陽介	麻酔科	1,400,000	補 日本学術振興会
304	術後認知機能障害に対するβ遮断薬の有効性の検討	田地 慶太郎	麻酔科	1,100,000	補 日本学術振興会
305	蘇生後のシロスタゾールによる脳保護効果の検討	岩井 与幸	麻酔科	814,937	補 日本学術振興会
306	ミトコンドリアの形態が紡ぐ多彩な情報様式に対する統合解析	宮本 崇史	内分泌代謝・糖尿病内科	2,200,000	補 科学技術振興機構
307	超高解像度画像解析によるエクソソームの標的細胞内の情報リプログラミング機構の解明	宮本 崇史	内分泌代謝・糖尿病内科	1,000,000	補 科学技術振興機構
308	RNAとIRS-1が形成するシグナル複合体を利用したインスリン様活性の調節	宮本 崇史	内分泌代謝・糖尿病内科	2,500,000	補 科学技術振興機構
309	パーシスタンスの可視化および制御技術の開発	宮本 崇史	内分泌代謝・糖尿病内科	4,000,000	補 科学技術振興機構
310	自然資本主義社会を基盤とする次世代型食料供給産業の創出	宮本 崇史	内分泌代謝・糖尿病内科	23,961,000	補 農林水産省
311	革新的近赤外分光法を駆使した迅速な細胞等の評価技術の研究開発	宮本 崇史	内分泌代謝・糖尿病内科	6,346,500	補 新エネルギー・産業技術総合開発機構
312	代謝産物センサー分子を標的した低出生体重児、発達障害児増加の理解と医療応用	関谷 元博	内分泌代謝・糖尿病内科	1,700,000	補 科学技術振興機構
313	脂質多様性制御による高次脳機能制御機構解明と広範な神経変性疾患への応用	大野 博	内分泌代謝・糖尿病内科	1,300,000	補 科学技術振興機構
314	骨格筋の運動適応における脂肪酸の質の意義の解明 研究課題	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病内科	2,500,000	補 科学技術振興機構
315	脂肪酸伸長を起点とする血液脂質学の開拓および白血病治療戦略	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病内科	500,000	補 科学技術振興機構
316	脂肪酸伸長酵素ELOVLによるリポキオリティ制御を介した腎癌進展メカニズムの解明	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病内科	200,000	補 科学技術振興機構
317	脂肪酸多様性とその感知機構による代謝制御機構の解明と治療応用	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	9,500,000	補 科学技術振興機構
318	つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	5,000,000	補 科学技術振興機構
319	脂肪酸伸長を起点とする血液脂質学の開拓および白血病治療戦略	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	500,000	補 科学技術振興機構
320	腸肝連関における脂質代謝異常が誘導する肝がん発症メカニズムの解明	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科	100,000	補 科学技術振興機構
321	先天性魚鱗癬における自然治癒機構の解明	乃村 俊史	皮膚科	3,900,000	補 日本学術振興会
322	皮膚疾患を切り口にした新規変異mRNA分解機構の解明	乃村 俊史	皮膚科	2,500,000	補 日本学術振興会
323	病原性変異型多機能性ペプチドK10-IWCの物性変化に依存した分子実体の解明	杉山 誉人	皮膚科	2,000,000	補 日本学術振興会

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
324	新規mRNA分解阻害剤によるアトピー性皮膚炎の治療基盤の創成	信田 理沙	皮膚科	2,200,000	補 日本学術振興会
325	リアルワールドデータを用いた我が国のオンライン診療の実態とアウトカムに関する研究	孫 瑜	総合診療科	950,000	補 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団
326	国際展開を目指した医療系スタートアップの育成拠点	町野 毅	つくば臨床医学研究開発機構	401,725,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
327	つくばの英知による先端医療シーズのグローバル実用化推進事業	町野 毅	つくば臨床医学研究開発機構	113,355,273	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
328	生体内レドックス反応を制御するナノメディシンの創出	丸島 愛樹	救急・集中治療科	8,885,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
329	計算光学顕微鏡の実用実証研究	福田 慎一	眼科	9,000,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
330	先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究	村上 卓	小児内科	92,304	委 国立大学法人東京科学大学
331	Cellm-001による初発膝関節腫瘍治療効果無作為比較対照試験に関する医師主導治験	石川 栄一	脳神経外科	769,230	委 神戸大学医学部附属病院
332	脳性麻痺等の発達期非進行性運動機能障害児に対する身体運動機能の向上を目指した小児用下肢装着型治療ロボットの開発と検証的医師主導治験	丸島 愛樹	救急・集中治療科	12,859,058	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
333	心臓サルコイドーシスの診療実態に関する多施設前向き登録研究(MYSTICS-PRO)	石津 智子	循環器内科	30,768	委 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
334	陽子線治療の高精度技術標準化に基づいたモデルアプローチを含む臨床的有用性確立に関する研究	水本 斉志	放射線腫瘍科	200,000	委 国立研究開発法人国立がん研究センター
335	陽子線治療の高精度技術標準化に基づいたモデルアプローチを含む臨床的有用性確立に関する研究	守屋 駿佑	放射線腫瘍科	200,000	委 国立研究開発法人国立がん研究センター
336	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	西山 博之	泌尿器科	1,144,000	委 国立研究開発法人国立がん研究センター
337	慢性炎症の制御によるがん発症ゼロ社会の実現	坂田 麻実子	血液内科	12,000,000	委 国立大学法人東海国立大学機構
338	「FLT3遺伝子変?を有する再発又は難治性の急性骨髄性白血病患者において、ギルテリチニブが同種造血幹細胞移植後成績に及ぼす影響」研究のためのヒストリカルデータ取得研	栗田 尚樹	血液内科	365,525	委 (公財)神戸医療産業都市推進機構
339	統合失調症の認知機能障害の新規スクリーニング質問票に関する調査研究	根本 清貴	精神神経科	1,100,000	委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究セン
340	エンホルツマブペドテンによる皮膚障害の発症様式に関する多機関共同観察研究	西山 博之	泌尿器科	184,608	委 国立大学法人京都大学
341	非弁膜症性心房細動患者におけるWATCHMAN FLX Proを用いた経皮的左心耳閉鎖術後の抗血栓療法として抗血小板薬1剤療法の安全性と有効性を評価する前向き多施設共同試験-SA	山崎 浩	循環器内科	67,692	委 国立大学法人千葉大学
342	自家筋膜周囲組織と間葉系幹細胞移植を用いた難治性巨大骨欠損治療法の開発	三島 初	整形外科	1,000,000	補 日本学術振興会
343	小中学生の運動器機能障害の縦断的評価と実践プログラム	鎌田 浩史	整形外科	900,000	補 日本学術振興会
344	FGF担持ハイドロキシアパタイトコーティングによる次世代脊椎ケージの研究	野口 裕史	整形外科	1,000,000	補 日本学術振興会
345	三次元動作解析と深層学習を用いた歩行解析に基づいた高齢者の腰痛症の病態解明	三浦 紘世	整形外科	700,000	補 日本学術振興会
346	神経修復術後の神経再生を妨げない至適神経縫合法の開発	井汲 彰	整形外科	1,100,000	補 日本学術振興会
347	脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	國府田 正雄	整形外科	250,000	補 厚生労働省
348	免疫受容体制御による新たな脊髄損傷治療体系の確立	高橋宏	整形外科	1,104,841	補 日本学術振興会
349	ハイブリッド型オンライン妊娠糖尿病教室プログラムの開発と有効性の検証	濱田 洋実	産科・婦人科	100,000	補 日本学術振興会
350	認知行動療法と薬物療法による多職種連携の妊娠・授乳期の睡眠改善プログラムの開発	小畠 真奈	産科・婦人科	780,000	補 日本学術振興会
351	脳波測定により妊娠中の睡眠を評価する	阿部春奈	産科・婦人科	1,700,000	補 日本学術振興会
352	HPV E7 mRNA特異的機序を標的とする新規子宮頸癌予防・治療法の開発	秋山 梓	産科・婦人科	700,000	補 日本学術振興会
353	重症熱傷患者に対する急性期心拍数コントロールがもたらす効果の検討	井上貴昭	救急・集中治療科	520,000	補 日本学術振興会
354	ミトコンドリア機能の改善による敗血症多臓器不全の回避・早期リハ介入の検討	下條信威	救急・集中治療科	520,000	補 日本学術振興会
355	重症患者における胃腸電図測定方法の確立と腸管免疫保護バンドルの介入の効果	星野哲也	救急・集中治療科	1,170,000	補 日本学術振興会

計 355

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
1	Shimoda TM, Ueyama HA, Miyamoto Y, et al	心臓血管外科	Outcomes of isolated tricuspid replacement versus repair among older patients with tricuspid regurgitation in the United States.	JTCVS Open. 2024 Oct 28 ; 24:127-146. (オンライン)	Original Article
2	Shimoda TM, Ueyama HA, Miyamoto Y, et al	心臓血管外科	Comparison of Transcatheter Versus Surgical Tricuspid Repair Among Patients With Tricuspid Regurgitation: Two-Year Results.	Circ Cardiovasc Interv. 2025 Jan ; 18(1):e014825.	Original Article
3	Yamada Y, Sadahiro T, Nakano K, et al	循環器内科	Cardiac Reprogramming and Gata4 Overexpression Reduce Fibrosis and Improve Diastolic Dysfunction in Heart Failure With Preserved Ejection Fraction.	Circulation. 2025 Feb 11 ; 151(6):379-395.	Original Article
4	Yoneyama F, Kato H, Mathis BJ, et al	心臓血管外科	Right bundle branch in ventricular septal defects.	Eur J Cardiothorac Surg. 2025 Mar 28 ; 67(4):ezaf105.	Original Article
5	Shimoda T, D'Oria M, Kuno T, et al	心臓血管外科	Comparative Effectiveness of Intravascular Ultrasound Versus Angiography in Abdominal and Thoracic Endovascular Aortic Repair: Systematic Review and Meta-Analysis.	Am J Cardiol. 2024 Jul 15 ; 223:81-91.	Original Article
6	Ano S, Kikuchi N, Okauchi S, et al	呼吸器内科	Real Clinical Practice of Combined Atezolizumab Plus Chemotherapy in Patients With Small Cell Lung Cancer.	Anticancer Res. 2024 Jun ; 44(6):2725-2730.	Original Article
7	Hasegawa S, Maezawa Y, Okauchi S, et al	呼吸器内科	Improvement of Mucoid Impaction with Dupilumab in a Severe Asthma Patient.	Maedica (Bucur). 2024 Jun ; 19(2):439-442.	Case Report
8	Sugai K, Mori T, Bilal T, et al	呼吸器外科	Detection of circulating tumor cells in patients with lung cancer using a rare cell sorter: a pilot study.	BMC Cancer. 2024 Oct 18 ; 24(1):1291. (オンライン)	Original Article
9	Sekine Y, Sugai K, Kuroda K, et al	呼吸器外科	Investigation of the integration of computed tomography (CT) value doubling time for lung cancer with subsolid nodules using a three-dimensional image analysis system.	Clin Radiol. 2025 Apr ; 83:106813.	Original Article
10	Kawamura T, Kobayashi N, Yanagihara T, et al	呼吸器外科	An increase in micro-vessels beneath the pleural surface on computed tomography as a preoperative predictor of pleural adhesions: a prospective study.	Surg Today. 2025 Feb 26.	Original Article
11	Suzuki S, Nagumo Y, Kojo K, et al	泌尿器科	Long term survival in elderly patients with resectable upper tract urothelial carcinoma: analysis of hospital-based cancer registry data in Japan.	BMC Cancer. 2025 Mar 13 ; 25(1):464. (オンライン)	Original Article
12	Shiga M, Shiga M, Isoda B, et al	泌尿器科	A case of cerebral infarction caused by carbon dioxide embolism during robotic-assisted laparoscopic partial nephrectomy.	Urol Case Rep. 2025 Mar 18 ; 60:103016. (オンライン)	Case Report
13	Nishiyama H, Yonese J, Kawahara T, et al	泌尿器科	TAS0313 plus Pembrolizumab for Post-Chemotherapy Immune Checkpoint Inhibitor-Naïve Locally Advanced or Metastatic Urothelial Carcinoma.	Mol Cancer Ther. 2024 Apr 2 ; 23(4):532-540.	Original Article
14	Suzuki S, Nagumo Y, Kojo K, et al	泌尿器科	Variations in the diagnostic performance of transurethral resection of bladder tumor with photodynamic diagnosis according to surgical experience: A retrospective, single-center study.	Photodiagnosis Photodyn Ther. 2025 Feb ; 51:104429.	Original Article
15	Suzuki S, Negoro H, Kubota M, et al	泌尿器科	Impact of aspirin on biochemical recurrence of prostate cancer after robot assisted radical prostatectomy in a multicenter retrospective cohort study.	Sci Rep. 2025 Jan 15 ; 15(1):2025. (オンライン)	Original Article
16	Nagumo Y, Hattori K, Kimura T, et al	泌尿器科	Combined Molecular Subclass and Immune Phenotype Correlate to Atezolizumab Plus Radiation Therapy Response in Invasive Bladder Cancer: BPT-ART Phase 2 Study.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2025 May 1 ; 122(1):168-180.	Original Article
17	Shiga M, Nagumo Y, Kojo K, et al	泌尿器科	The correlation between discrepancies in clinical and pathological TA?stages and overall survival in upper urinary tract urothelial carcinoma: Analysis of the hospital-based cancer registry data in Japan.	Int J Urol. 2025 Apr ; 32(4):394-400.	Original Article
18	Kandori S, Suzuki S, Kojo K, et al	泌尿器科	Surgery lengthens survival for collecting duct carcinoma: analysis of hospital-based cancer registry data in Japan.	BMC Cancer. 2025 Jan 24 ; 25(1):138. (オンライン)	Original Article
19	Matsuda T, Osaki Y, Sekiya M, et al	内分泌代謝・ 糖尿病内科	Paradoxical cerebral embolism caused by patent foramen ovale in a patient with multiple endocrine neoplasia type 1 and severe primary hyperparathyroidism.	BMJ Case Rep. 2024 Nov 24 ; 17(11):e261601. (オンライン)	Case Report
20	Hamaoka T, Bando H, Okazaki M, et al	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	Two Cases of Distant Metastasis After Mastectomy for Breast Ductal Carcinoma In Situ.	Cureus. 2024 May 4 ; 16(5):e59655. (オンライン)	Case Report
21	Terasaki A, Ahmed F, Okuno A, et al	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	Neutrophils Expressing Programmed Death-Ligand 1 Play an Indispensable Role in Effective Bacterial Elimination and Resolving Inflammation in Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus Infection.	Pathogens. 2024 May 11 ; 13(5):401. (オンライン)	Original Article
22	Kawamura C, Bhaskaran K, Konishi T, et al	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	Non-cancer risks among female breast cancer survivors: a matched cohort study in Japan.	Lancet Reg Health West Pac. 2025 Mar 23 ; 56:101519. (オンライン)	Original Article
23	Okazaki M, Bando H, Terasaki A, et al	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	Safety and Efficacy of Compression Therapy to Prevent Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy in Lower Extremities of Breast Cancer Patients: A Pilot Study.	Cureus. 2024 May 24 ; 16(5):e60998. (オンライン)	Original Article
24	Kawamura C, Iwagami M, Komiyama J, et al	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	Change in Breast Cancer Screening Participation during COVID-19 Based on the 2019 and 2022 Comprehensive Survey of Living Conditions in Japan.	JMA J. 2025 Jan 15 ; 8(1):183-190.	Original Article
25	Sawa A, Bando H, Sato R, et al	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	Efficacy and Safety of Mirogabalin Therapy for Paclitaxel-Induced Peripheral Neuropathy (MICHEL Study): A Pilot Study.	Oncology. 2025 Feb 3:1-12.	Original Article
26	Matsumura F, Sakamoto T, Kai H, et al	血液内科	A Case of Multiple Myeloma in a Patient with Birt-Hogg-Dube Syndrome.	Intern Med. 2025 Mar 15.	Original Article
27	Suehara Y, Sakamoto K, Fujisawa M, et al	血液内科	Discrete genetic subtypes and tumor microenvironment signatures correlate with peripheral T-cell lymphoma outcomes.	Leukemia. 2025 May ; 39(5):1184-1195.	Original Article
28	Hagiwara S, Komiyama J, Iwagami M, et al	血液内科	Polypharmacy and potentially inappropriate medications in older adults who use long-term care services: a cross-sectional study.	BMC Geriatr. 2024 Aug 21 ; 24(1):696. (オンライン)	Original Article
29	Sekine A, Tachikawa H, Ecoyama S, et al	精神神経科	Online consortium managing COVID-19-related mental health problems.	PCN Rep. 2024 Sep 3 ; 3(3):e70006. (オンライン)	Original Article
30	Nemoto M, Nemoto K, Sasai H, et al	精神神経科	Emotional Response to Various Exercise Types in Patients With Mental Disorders.	Cureus. 2024 Dec 9 ; 16(12):e75371. (オンライン)	Original Article
31	Aitake U, Ishizuki S, Lei X, et al	皮膚科	Long-term control of giant primary acral melanoma without amputation surgery.	J Dermatol. 2024 Oct ; 51(10):e354-e355.	Case Report
32	Morita A, Imagawa K, Iwasaki T, et al	小児内科	Activation of bystander CD8(+) T cells in a pediatric patient with acute hepatitis E.	Immunol Med. 2024 Dec ; 47(4):278-284.	Case Report
33	Nagafulji M, Fujiyama S, Doki K, et al	小児内科	Assessment of Blood Prostaglandin E(2) Metabolite Levels among Infants Born Preterm with Patent Ductus Arteriosus: A Prospective Study.	J Pediatr. 2025 Jan ; 276:114285.	Original Article
34	Takahashi S, Kanai Y, Miyazono Y, et al	小児内科	Successful Repair and Management of Severe Scalp Avulsion Incurred during Birth in an Extremely Low Birth Weight Infant.	Case Rep Pediatr. 2024 Sep 10 ; 2024:8122801. (オンライン)	Case Report
35	Nemoto H, Imagawa K, Enokizono T, et al	小児内科	A Case of Anorexia Nervosa with Focal Cortical Dysplasia.	Case Rep Psychiatry. 2024 Apr 12 ; 2024:7478666. (オンライン)	Case Report
36	Nemoto H, Nozaki Y, Matsumoto T, et al	小児内科	A case report of a 14-year-old male patient with large vessel vasculitis following COVID-19.	Mod Rheumatol Case Rep. 2024 Dec 12:rxae081.	Original Article
37	Takeuchi S, Fujiyama S, Nagafulji M, et al	小児内科	Nucleated Red Blood Cells Secrete Haptoglobin to Induce Immunosuppressive Function in Monocytes.	J Immunol Res. 2025 Feb 20 ; 2025:8085784. (オンライン)	Original Article
38	Hara M, Suzuki H, Hayashi D, et al	小児内科	Gut microbiota of one-and-a-half-year-old food-allergic and healthy children.	Allergol Int. 2024 Oct ; 73(4):550-555.	Original Article
39	Sanmoto Y, Goto Y, Masumoto K	小児外科	Enhanced safety in central venous catheterization performed by Japanese board-certified pediatric surgeons: a retrospective single-center study.	Surg Today. 2025 Apr ; 55(4):537-543.	Original Article
40	Sanmoto Y, Kawami A, Goto Y, et al	小児外科	Correlation between forceps grasp count and skill proficiency in single-incision laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure: A retrospective single-center study.	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec ; 18(1):e13403.	Original Article
41	Sanmoto Y, Goto Y, Masumoto K	小児外科	Identifying Responsible Factors for Poor Surgical Visibility in Pediatric Laparoscopic Fundoplication: A Retrospective Single-Center Study.	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2025 Feb ; 35(2):178-183.	Original Article
42	Shibui Y, Kohashi K, Hino Y, et al	小児外科	Expression of Forkhead Box M1 and Anticancer Effects of FOXM1 Inhibition in Epithelioid Sarcoma.	Lab Invest. 2024 Aug ; 104(8):102093.	Original Article

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
43	Sanmoto Y, Goto Y, Shirane K, et al	小児外科	Factors prolonging the operative time for transumbilical laparoscopic-assisted appendectomy in pediatric patients: a retrospective single-center study.	Surg Today. 2025 Jan ; 55(1):110–115.	Original Article
44	Goto Y, Shinkai T, Sakai H, et al	小児外科	Prenatally Diagnosed Intralobar Pulmonary Sequestration With a Gastric Foregut Duplication Cyst.	Pediatr Pulmonol. 2025 Jan ; 60(1):e27454.	Original Article
45	Sanmoto Y, Kawami A, Goto Y, et al	小児外科	Impact of Japanese Society of Pediatric Surgeons-certified supervisors and patient factors on manipulation time during single-incision laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure: a single-center retrospective study.	Surg Today. 2025 Feb 20.	Original Article
46	Fujisawa K, Kato H, Mathis BJ, et al	心臓血管外科	Modified Technique for Repairing Recurrent Pulmonary Venous Obstruction.	Ann Thorac Surg Short Rep. 2024 Sep 26 ; 3(1):99–101. (オンライン)	Case Report
47	Yamaguchi A, Shimoda T, Kinami H, et al	心臓血管外科	Right ventricular outlet tract reconstruction for tetralogy of Fallot: systematic review and network meta-analysis.	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2024 Dec 3 ; 39(6):ivae180.	Original Article
48	Ninomiya Y, Kino H, Tanaka S, et al	脳神経外科	A case of endoscopic endonasal surgery for a tuberculum sellae meningioma resected in the third trimester of pregnancy.	Surg Neurol Int. 2025 Mar 28 ; 16:112. (オンライン)	Case Report
49	Sakakura K, Pertsch N, Mueller J, et al	脳神経外科	Technical Feasibility of Delineating the Thalamic Gustatory Tract Using Tractography.	Neurosurgery. 2025 Feb 1 ; 96(2):454–462.	Original Article
50	Sakakura K, Brennan M, Sonoda M, et al	脳神経外科	Dynamic functional connectivity in verbal cognitive control and word reading.	Neuroimage. 2024 Oct 15 ; 300:120863.	Original Article
51	Tsukada A, Hirata K, Tsuda K, et al	脳神経外科	Early Resolution of Abnormal Vascular Networks After Superficial Temporal Artery to Middle Cerebral Artery (STA-MCA) Bypass Surgery for Twig-Like Middle Cerebral Artery With Intracerebral Hemorrhage: A Case Report.	Cureus. 2024 Oct 30 ; 16(10):e72740. (オンライン)	Case Report
52	Shibata Y	脳神経外科	Anti-Calcitonin Gene-Related Peptide Monoclonal Antibody Is Effective for Preventing Migraine Aura Without Headache.	Neurol Int. 2024 Oct 29 ; 16(6):1279–1284. (オンライン)	Case Report
53	Shibata Y, Sato H, Sato A, et al	脳神経外科	Efficacy of Lasmiditan as a Secondary Treatment for Migraine Attacks after Unsuccessful Treatment with a Triptan.	Neurol Int. 2024 Jun 7 ; 16(3):643–652. (オンライン)	Original Article
54	Sugii N, Matsuda M, Ishikawa E	脳神経外科	Prosody Disorder and Sing-Song Speech in a Patient With Recurrent Glioblastoma: A Case Report.	Cureus. 2024 Dec 25 ; 16(12):e76385. (オンライン)	Case Report
55	Tsukada A, Kino H, Yamano A, et al	脳神経外科	Endoscopic endonasal surgery for suprasellar ectopic pituitary neuroendocrine tumors featuring apoplexy and a preoperative differential diagnosis: illustrative cases.	J Neurosurg Case Lessons. 2025 Mar 3 ; 9(9):CASE24779. (オンライン)	Original Article
56	Tanaka S, Hayakawa M, Tasaki K, et al	脳卒中科	Successful recovery of vision following intravenous thrombolysis using low-dose alteplase in central retinal artery occlusion.	Am J Emerg Med. 2025 Jan ; 87:216.e5–216.e9.	Case Report
57	Yoshimoto T, Yamagami H, Sakai N, et al	脳卒中科	Association of perioperative P2Y ₁₂ inhibitor administration with outcomes for tandem occlusion: RESCUE AT-LVO sub-study.	Front Neurol. 2024 Nov 21 ; 15:1475882. (オンライン)	Original Article
58	Hayakawa M, Yamagami H, Matsumaru Y, et al	脳卒中科	Temporal trends in endovascular therapy for acute stroke in the era of modern mechanical thrombectomy: The JR-NET4 study.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2025 Jan ; 34(1):108110.	Original Article
59	Ito Y, Matsumaru Y, Hosoo H, et al	脳卒中科	Chronological Changes in Embolization for Cerebral Arteriovenous Malformations: Impact of Endovascular Treatment Device Advancements.	J Neuroendovasc Ther. 2024 ; 18(11):279–286.	Original Article
60	Hosoo H, Imamura H, Sakai N, et al	脳卒中科	Analysis of endovascular treatment for cerebral vasospasms after subarachnoid hemorrhage in the Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy 4.	Interv Neuroradiol. 2025 Mar 2:1591019251323003.	Original Article
61	Yoshimoto T, Yamagami H, Matsumaru Y	脳卒中科	Recent Advances in Stroke Genetics-Unraveling the Complexity of Cerebral Infarction: A Brief Review.	Genes (Basel). 2025 Jan 6 ; 16(1):59. (オンライン)	Original Article
62	Hosoo H, Ito Y, Hirata K, et al	脳卒中科	Image Quality Evaluation for Brain Soft Tissue in Neuroendovascular Treatment by Dose-Reduction Mode of Dual-Axis “Butterfly” Scan.	AJNR Am J Neuroradiol. 2025 Feb 3 ; 46(2):285–292. (オンライン)	Original Article
63	Totoki Y, Mutsuzaki H, Yanagisawa Y, et al	整形外科	Do Stainless-Steel Pins Coated with Fibroblast Growth Factor-Calcium Phosphatase Composite Layers Have Anti-Infective Effects?	Medicina (Kaunas). 2024 Aug 30 ; 60(9):1419. (オンライン)	Original Article
64	Ogata Y, Kotani T, Asada T, et al	整形外科	Timeline of curve progression around menarche in small adolescent idiopathic scoliosis curves without influence of braces: a single-center longitudinal cohort study of 1,090 patients.	Spine J. 2025 Jan 31:S1529–9430(25)00062–2.	Original Article
65	Asada T, Kotani T, Sakuma T, et al	整形外科	Factors Influencing Optimal Bracing Compliance in Adolescent Idiopathic Scoliosis: A Single-center Prospective Cohort Study.	Spine (Phila Pa 1976). 2024 Dec 15 ; 49(24):1708–1715.	Original Article
66	Hirasawa N, Shimizu Y, Haginoya A, et al	リハビリテーション科	Comparative Analysis of Muscle Activity and Circulatory Dynamics: A Crossover Study Using Leg Exercise Apparatus and Ergometer.	Medicina (Kaunas). 2024 Aug 3 ; 60(8):1260. (オンライン)	Original Article
67	Himematsu H, Shimizu Y, Yuhara T, et al	リハビリテーション科	Factors Associated with Discharge Destination in Patients with Bone Metastases.	Medicina (Kaunas). 2024 May 27 ; 60(6):881. (オンライン)	Original Article
68	Watanabe G, Shimizu Y, Matakai Y, et al	リハビリテーション科	A Multidisciplinary Rehabilitation Approach for a Patient With Diffuse Large B-cell Lymphoma and Bone Metastasis: A Case Report.	Cureus. 2024 May 20 ; 16(5):e60713. (オンライン)	Case Report
69	Suzuki Y, Shimizu Y, Maruo K, et al	リハビリテーション科	Balance Ability Characteristics and Related Factors in Athletes Across Different Sports: A Preliminary Study.	Healthcare (Basel). 2024 Nov 11 ; 12(22):2240. (オンライン)	Original Article
70	Sasaki M, Murata Y	麻酔科	Anaphylaxis induced by indocyanine green during abdominal surgery: A case report.	Saudi J Anaesth. 2024 Oct–Dec ; 18(4):590–592.	Case Report
71	Yamada M, Nakadate Y, Omiya K, et al	麻酔科	Cardioprotective effects of S-equal, a soybean metabolite with estrogen activity, and role of the PI3K/Akt pathway in a male rat model of ischemic reperfusion.	Steroids. 2025 Jan ; 213:109542.	Original Article
72	Shimada K, Inokuchi R, Ohigashi T, et al	麻酔科	Artificial intelligence-assisted interventions for perioperative anesthetic management: a systematic review and meta-analysis.	BMC Anesthesiol. 2024 Sep 4 ; 24(1):306. (オンライン)	Original Article
73	Hoshi T	麻酔科	Short Report of Retained Radiopaque Marker in Gauze and Comparison of Ease of Dislodging and Breaking.	Indian J Surg Oncol. 2024 Sep ; 15(3):528–530.	Original Article
74	Shimizu T, Nakamura S, Inomata S	麻酔科	Effects of Progesterone on Isoflurane Requirement for Balance Disturbance and Loss of Righting Reflex in Male Mice.	Cureus. 2024 Dec 23 ; 16(12):e76274. (オンライン)	Original Article
75	Bukawa M, Yamagata K, Fukuzawa S, et al	歯科・口腔外科	Submandibular Gland Invasion From a Metastatic Lymph Node in Patients With Buccal Mucosal Squamous Cell Carcinoma: A Case Report.	Case Rep Dent. 2024 Oct 15 ; 2024:7940535. (オンライン)	Case Report
76	Takaoka S, Uchida F, Ishikawa H, et al	歯科・口腔外科	Sequencing-based study of neural induction of human dental pulp stem cells.	Hum Cell. 2024 Nov ; 37(6):1638–1648.	Original Article
77	Yamagata K, Sawadaishi R, Takaoka S, et al	歯科・口腔外科	The inflammatory markers and locoregional pathological results both have an impact on the prognosis of oral squamous cell carcinoma in patients who have undergone neck dissection.	J Stomatol Oral Maxillofac Surg. 2025 Mar ; 126(2):102040.	Original Article
78	Watanabe T, Yamana H, Ishigami K, et al	救急・集中治療科	Anaphylaxis-Associated Cerebral Infarction: A Case Report.	Cureus. 2025 Mar 20 ; 17(3):e80887. (オンライン)	Case Report
79	Higuchi Y, Watanabe T, Tabeta A, et al	救急・集中治療科	Diagnostic Accuracy of Dual-Energy Computed Tomography for Bowel Necrosis in Acute Abdomen With Bowel Ischemia.	Cureus. 2025 Mar 23 ; 17(3):e81057. (オンライン)	Original Article
80	Sakamoto A, Inoue Y	救急・集中治療科	The method to identify invasive mechanical ventilation with Japanese claim data.	J Intensive Care. 2024 Nov 12 ; 12(1):48. (オンライン)	Letter
81	Watanabe T, Nakao J, Boku K, et al	救急・集中治療科	Traumatic internal carotid artery aneurysm distant from facial bone fractures treated with a flow diverter stent: A case report.	Acute Med Surg. 2025 Jan 24 ; 12(1):e70034. (オンライン)	Original Article
82	Watanabe T, Shiga H, Tsutsumi Y, et al	救急・集中治療科	Severe Withdrawal Symptoms and Pseudohyperchloremia Induced by Bromvalerylurea: A Case Report.	Cureus. 2025 Feb 6 ; 17(2):e78645. (オンライン)	Case Report
83	Enomoto Y, Tsutsumi Y, Kido T, et al	救急・集中治療科	Association between helicopter medical services for pediatric trauma patients and mortality: Systematic review and meta-analysis.	Am J Emerg Med. 2024 Nov ; 85:196–201.	Original Article
84	Yanagisawa Y, Yoshida M, Doi M, et al	救急・集中治療科	Retroperitoneal abscess associated with closed pelvic ring fracture diagnosed by fine free air on initial trauma pan computed tomography scan.	Trauma Case Rep. 2024 Apr 8 ; 51:101031. (オンライン)	Case Report
85	Mizumoto M, Shibuya K, Terashima K, et al	放射線腫瘍科	Particle Therapy for Intrahepatic Cholangiocarcinoma: A Multicenter Prospective Registry Study, Systematic Review and Meta-Analysis.	Liver Cancer. 2024 Aug 28 ; 14(2):211–222. (オンライン)	Original Article
86	Saito T, Mizumoto M, Oshiro Y, et al	放射線腫瘍科	Systematic Review and Meta-Analysis of Particle Beam Therapy versus Photon Radiotherapy for Skull Base Chordoma: TRP–Chordoma 2024.	Cancers (Basel). 2024 Jul 17 ; 16(14):2569. (オンライン)	Original Article
87	Mori Y, Isobe T, Ide Y, et al	放射線腫瘍科	Visualization of spatial dose distribution for effective radiation protection education in interventional radiology: obtaining high-accuracy spatial doses.	Phys Eng Sci Med. 2024 Dec ; 47(4):1665–1676.	Original Article
88	Ishida T, Mizumoto M, Saito T, et al	放射線腫瘍科	Proton Beam Therapy for Treating Patients with Hepatocellular Carcinoma with Major Portal Vein Tumor Invasion: A Single Center Retrospective Study.	Cancers (Basel). 2024 May 29 ; 16(11):2050. (オンライン)	Original Article

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
89	Li Y, Mizumoto M, Nitta H, et al	放射線腫瘍科	Late Changes in Renal Volume and Function after Proton Beam Therapy in Pediatric and Adult Patients: Children Show Significant Renal Atrophy but Deterioration of Renal Function Is Minimal in the Long-Term in Both Groups.	Cancers (Basel). 2024 Apr 24 ; 16(9):1634. (オンライン)	Original Article
90	Murakami M, Ishikawa H, Sekino Y, et al	放射線腫瘍科	Moderately hypofractionated proton beam therapy for localized prostate cancer: 5-year outcomes of a phase II trial.	J Radiat Res. 2024 May 23 ; 65(3):402-407.	Original Article
91	Mizumoto M, Hosaka S, Nakai K, et al	放射線腫瘍科	Systematic review and meta-analysis of photon radiotherapy versus proton beam therapy for pediatric intracranial ependymoma: TRP-ependymoma 2024.	Heliyon. 2024 Nov 14 ; 10(22):e40372. (オンライン)	Original Article
92	Yoshida M, Mori K, Shigeta S, et al	放射線診断・IVR科	Endovascular treatment of a pancreatic artery pseudoaneurysm with arterioportal fistula in chronic pancreatitis: A case report.	Radiol Case Rep. 2024 Aug 26 ; 19(11):5257-5261. (オンライン)	Case Report
93	Yoshida M, Saida T, Shibuki S, et al	放射線診断・IVR科	The Utility of Apparent Water Diffusion Coefficient Maps for Evaluating the Presence of Myometrial Invasion in Patients with Endometrial Cancer.	Magn Reson Med Sci. 2024 Sep 21.	Original Article
94	Yoshida M, Saida T, Mori K, et al	放射線診断・IVR科	Comparison of preoperative diagnostic performance between dual-energy CT, conventional CT, and MRI in endometrial cancer.	Pol J Radiol. 2024 Jul 26 ; 89:e358-e367. (オンライン)	Original Article
95	Liu Y, Qi M, Wang Y	放射線診断・IVR科	Exploring the impact of fenestration closure on long-term outcomes in the modified Fontan operation.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Feb 20:S0022-5223(25)00089-3.	Letter
96	Terada N, Hitomi S, Kurai H	感染症内科	Identification of causative and non-causative microorganisms of nephrostomy tube-associated pyelonephritis among patients with malignancy.	J Infect Chemother. 2025 Feb ; 31(2):102563.	Original Article
97	Oshida N, Oh S, Kim B, et al	検査部	Muscle Quality as a Potential Diagnostic Marker of Advanced Liver Fibrosis in Patients with Non-alcoholic Fatty Liver Disease.	J Obes Metab Syndr. 2024 Jun 30 ; 33(2):143-154.	Original Article
98	Nishimura M, Fujimoto A, Okanishi T, et al	検査部	Combining three-phase EEG pattern and ipsilateral isolated eye deviation to predict seizure focus in the frontal interhemispheric fissure.	Epilepsy Behav. 2025 Jan ; 162:110175.	Original Article
99	Shibuki S, Saida T, Mori K, et al	放射線部	Diagnostic Imaging Performance of Dual-Energy Computed Tomography Compared with Conventional Computed Tomography and Magnetic Resonance Imaging for Uterine Cervical Cancer.	Indian J Radiol Imaging. 2024 Jul 12 ; 34(4):661-669. (オンライン)	Original Article
100	Kawai H, Miura T, Kawamatsu N, et al	病理部	Expression patterns of HNF41±, TTF-1, and SMARCA4 in lung adenocarcinomas: impacts on clinicopathological and genetic features.	Virchows Arch. 2025 Feb ; 486(2):343-354.	Original Article
101	Yamato M, Dai T, Murata Y, et al	病理部	High expression of eukaryotic elongation factor 1- α -2 in lung adenocarcinoma is associated with poor prognosis.	Pathol Int. 2024 Aug ; 74(8):454-463.	Original Article
102	Suzuki Y, Koda M, Shimizu Y, et al	リハビリテーション部	Verification of the Effects of a YouTube-Based Home-Based (Self-Managed Intervention) Training System Developed for Frailty Prevention: A Pilot Study.	J Allied Health. 2024 Spring ; 53(1):51-57.	Original Article
103	Arita M, Maeno T, Noguchi E, et al	遺伝診療部	Evaluating an e-learning course's impact and challenges on genomic literacy among medical professionals.	Int J Med Educ. 2024 Nov 22 ; 15:139-149. (オンライン)	Original Article
104	Wataya K, Tachikawa H, Nemoto K, et al	看護部	Association Between Occupational Stress and Mental Health in Healthcare Workers During the Coronavirus Pandemic in 2019.	Cureus. 2025 Mar 22 ; 17(3):e81007. (オンライン)	Original Article
105	Wataya K, Ujihara M, Kawashima Y, et al	看護部	Development of the Japanese Version of Rushton Moral Resilience Scale (RMRS) for Healthcare Professionals: Assessing Reliability and Validity.	J Nurs Manag. 2024 Nov 5 ; 2024:7683163. (オンライン)	Original Article
106	Oda S, Doki K, Obara N, et al	薬剤部	Eltrombopag-Induced Falsely Elevated Bilirubin Concentrations in Enzymatic and Vanadate Oxidation Assays: Involvement of High Serum Eltrombopag Concentrations.	Ther Drug Monit. 2025 Feb 5.	Original Article
107	Doki K, Yoshida K, Usui J, et al	薬剤部	External Validation of a Limited Sampling Strategy for the Estimation of Mycophenolic Acid Exposure Between Different Assay Methods: PETNIA and HPLC Methods.	Clin Transplant. 2024 Oct ; 38(10):e15471.	Original Article
108	Mukai Y, Sugii N, Doki K, et al	薬剤部	An analytical method using salting-out assisted liquid-liquid extraction to quantify ceftriaxone from micro volumes of human serum.	Biomed Chromatogr. 2024 Sep ; 38(9):e5955.	Original Article
109	Ohkubo M, Seo E, Doki K, et al	薬剤部	Impact of Hepatitis B Surface and Core Antibody Levels on Hepatitis B Virus Reactivation.	Biol Pharm Bull. 2024 ; 47(5):941-945.	Original Article
110	Watanabe Y, Doki K, Sekine I, et al	薬剤部	Serum Lenvatinib Concentration Monitoring in a Patient With Thyroid Cancer Exhibiting Hand-Foot Syndrome.	Ther Drug Monit. 2025 Jun 1 ; 47(3):323-325.	Case Report
111	Mori Y, Isobe T, Takei H, et al	陽子線医学利用研究セン	The Impact of Dose Calibration Point Differences Between the Treatment Plan and Patient-specific Quality Assurance in Passive Scattering Proton Beam Therapy.	In Vivo. 2024 Sep-Oct ; 38(5):2478-2483.	Original Article
112	Nakajima K, Kaneko S, Usui J, et al	腎臓内科	Temporal changes of the life and renal prognoses of patients with rapidly progressive glomerulonephritis in Japan, 1989-2019.	Clin Exp Nephrol. 2025 Mar 25.	Original Article
113	Usui J, Kimura T, Yamagata K, et al	腎臓内科	Status of initial treatment for rapidly progressive glomerulonephritis in Japan: analysis of a personal clinical records database.	Clin Exp Nephrol. 2025 Mar 27.	Original Article
114	Nagai K, Araki S, Sairenchi T, et al	腎臓内科	Particulate Matter and Incident Chronic Kidney Disease in Japan: The Ibaraki Prefectural Health Study (IPHS).	JMA J. 2024 Jul 16 ; 7(3):334-341.	Original Article
115	Takahashi-Kobayashi M, Kawanishi K, Usui J, et al	腎臓内科	Does old-to-young kidney transplantation rejuvenate old donor kidneys?	Histol Histopathol. 2025 May ; 40(5):679-686.	Original Article
116	Hoshino J, Ohigashi T, Tsunoda R, et al	腎臓内科	Physical activity and renal outcome in diabetic and non-diabetic patients with chronic kidney disease stage G3b to G5.	Sci Rep. 2024 Nov 2 ; 14(1):26378. (オンライン)	Original Article
117	Akiyama T, Iwazu Y, Usui J, et al	腎臓内科	Serum calciprotein particle-to-phosphate ratio as a predictor of cardiovascular events in incident hemodialysis patients.	Ther Apher Dial. 2025 Apr ; 29(2):178-188.	Original Article
118	Nagai K	腎臓内科	Possible benefits for environmental sustainability of combined therapy with hemodialysis and peritoneal dialysis in Japan.	Front Nephrol. 2024 Nov 14 ; 4:1394200. (オンライン)	Original Article
119	Tsunoda R, Kume K, Kagawa R, et al	腎臓内科	Machine-learning-based identification of patients with IgA nephropathy using a computerized medical billing database.	PLoS One. 2024 Dec 5 ; 19(12):e0312915. (オンライン)	Original Article
120	Usui J, Hirayama K, Kobayashi M, et al	腎臓内科	Randomized Prospective Controlled Open-labeled Trial of Cyclosporine with/without Low-dose Oral Corticosteroids in Idiopathic Membranous Nephropathy in Adults with Nephrotic Syndrome.	Intern Med. 2025 Feb 22.	Original Article
121	Nagai K, Nansai K	腎臓内科	Need for life cycle assessment of pharmaceuticals for kidney healthcare.	Clin Exp Nephrol. 2025 Mar 19.	Original Article
122	Abe S, Tsuboi H, Toko H, et al	膠原病・リウマチアレルギー内科	Postpartum onset anti-MDA5 antibody-positive clinically amyopathic dermatomyositis; case-based review of perinatal onset anti-MDA5 antibody-positive dermatomyositis.	Rheumatol Int. 2024 Oct ; 44(10):2197-2203.	Case Report
123	Nishiyama T, Ohyama A, Miki H, et al	膠原病・リウマチアレルギー内科	Mechanisms of age-related Treg dysfunction in an arthritic environment.	Clin Immunol. 2024 Sep ; 266:110337.	Original Article
124	Sugita T, Tsuboi H, Sugita N, et al	膠原病・リウマチアレルギー内科	Clinical importance of anti-Ro52 antibody in polymyositis and dermatomyositis.	Mod Rheumatol. 2024 Dec 25 ; 35(1):118-125.	Original Article
125	Asashima H, Akao S, Matsumoto I	膠原病・リウマチアレルギー内科	Emerging roles of checkpoint molecules on B cells.	Immunol Med. 2025 Jan 17:1-12.	Original Article
126	Obara N, Hatanaka S, Tsuji Y, et al	血液内科	Long-term safety and effectiveness of romiplostim for chronic idiopathic thrombocytopenic purpura in real-world settings.	Int J Hematol. 2024 Dec ; 120(6):665-674.	Original Article
127	Hattori K, Makishima K, Suma S, et al	血液内科	Association between microenvironment-related genes and prognosis of primary central nervous system lymphoma.	EJHaem. 2024 Nov 14 ; 5(6):1201-1214. (オンライン)	Original Article
128	Akiyama S, Nishijima S, Kojima Y, et al	消化器内科	Multi-ome analysis identifies distinct gut microbial signatures and their crosstalk in ulcerative colitis and Crohn's disease.	Nat Commun. 2024 Nov 27 ; 15(1):10291. (オンライン)	Original Article
129	Fukuda S, Hijioka S, Nagashio Y, et al	消化器内科	Utility of Transpapillary Biopsy and Endoscopic Ultrasound-Guided Tissue Acquisition for Comprehensive Genome Profiling of Unresectable Biliary Tract Cancer.	Cancers (Basel). 2024 Aug 10 ; 16(16):2819. (オンライン)	Original Article
130	Akiyama S, Hayashi R, Takasago T, et al	消化器内科	Prevalence and predictability of the Chicago Classification of Pouchitis in ulcerative colitis: a multicenter study in Japan.	J Gastroenterol. 2025 Jun ; 60(6):715-726.	Original Article
131	Abe R, Hasegawa N, Suzuki S, et al	消化器内科	Simultaneous occurrence of autoimmune hepatitis and autoimmune hemolytic anemia after COVID-19 infection: case report and literature review.	Clin J Gastroenterol. 2024 Aug ; 17(4):677-682.	Case Report
132	Yamamoto Y, Yukami H, Yamaguchi T, et al	消化器内科	Real-world outcomes of FOLFOXIRI plus bevacizumab in patients with metastatic colorectal cancer: the JSOCR-TRIPON study.	Int J Clin Oncol. 2024 Dec ; 29(12):1878-1886.	Original Article

	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
133	Akiyama S, Shimizu H, Tamura A, et al	消化器内科	Comparative Efficacy and Safety of Three Janus Kinase Inhibitors in Ulcerative Colitis: A Real-World Multicentre Study in Japan.	Aliment Pharmacol Ther. 2025 Feb ; 61(3):524-537.	Original Article
134	Akiyama S, Barnes EL, Onoda T, et al	消化器内科	Endoscopic assessment of the J pouch in ulcerative colitis: A narrative review.	DEN Open. 2024 Apr 30 ; 5(1):e373. (オンライン)	Original Article
135	Akiyama S, Fujii T	消化器内科	Editorial: Individualising JAK Inhibitor Selection for Patients With Ulcerative Colitis—Authors' Reply.	Aliment Pharmacol Ther. 2025 Feb ; 61(4):737-738.	Original Article
136	Akiyama S, Fujii T	消化器内科	Letter: Toward Intra-Class Switching With JAK Inhibitors? Authors' Reply.	Aliment Pharmacol Ther. 2025 Mar ; 61(5):921-922.	Letter
137	Ochi M, Yamamoto A, Suematsu S, et al	消化器内科	High Joule heat as a risk factor for post-endoscopic submucosal dissection electrocoagulation syndrome: A multicenter prospective study.	World J Gastrointest Endosc. 2024 Dec 16 ; 16(12):668-677.	Original Article
138	Yoshida K, Morishima Y, Ishii Y, et al	呼吸器内科	Abnormal saturated fatty acids and sphingolipids metabolism in asthma.	Respir Investig. 2024 Jul ; 62(4):526-530.	Original Article
139	Sakai C, Matsuyama M, Nakajima M, et al	呼吸器内科	Blood eosinophil phenotype during treatment with mepolizumab in patients with severe eosinophilic asthma.	Allergol Int. 2024 Jul ; 73(3):473-476.	Letter
140	Yamazaki Y, Matsuyama M, Sunabe H, et al	呼吸器内科	Effect of Sitafoxacin and Amikacin Liposome Inhalation Suspension on Clarithromycin-Resistant Pulmonary Mycobacterium avium Complex Disease: A Case Series.	Cureus. 2025 Mar 15 ; 17(3):e80607. (オンライン)	Case Report
141	Kuramoto K, Morishima Y, Yoshida K, et al	呼吸器内科	Nrf2 Deficiency Accelerates IL-17-Dependent Neutrophilic Airway Inflammation in Asthmatic Mice.	Antioxidants (Basel). 2024 Jul 8 ; 13(7):818. (オンライン)	Original Article
142	Hatori T, Numata T, Shiozawa T, et al	呼吸器内科	Prognostic Factors for Patients with Small-Cell Lung Cancer Treated with Chemimmunotherapy: A Retrospective Multicenter Study.	Curr Oncol. 2024 Oct 23 ; 31(11):6502-6511. (オンライン)	Original Article
143	Aida Y, Watanabe R, Nakazawa K, et al	呼吸器内科	Primary mediastinal choriocarcinoma in a woman treated with VIP therapy instead of BEP therapy for the prevention of postoperative acute respiratory distress syndrome.	Int Cancer Conf J. 2024 Aug 5 ; 13(4):445-448. (オンライン)	Original Article
144	Aida Y, Ohgami M, Mukai Y, et al	呼吸器内科	Pharmacokinetic study of erlotinib in a pregnant woman with advanced non-small cell lung cancer and observation of the effects on the child growth.	Br J Clin Pharmacol. 2024 Oct ; 90(10):2554-2561.	Case Report
145	Sutou Y, Yamasaki H, Iioka Y, et al	循環器内科	Significant Calcification of Looped Transvenous Leads Implanted in a Pediatric Patient Complicating Lead Extraction.	Circ J. 2024 Sep 25 ; 88(10):1717.	Case Report
146	Hiraya D, Watabe H, Hoshi T, et al	循環器内科	Evolut PRO successfully deployed above the annulus plane for type 2 bicuspid aortic valve.	Cardiovasc Interv Ther. 2025 Jan ; 40(1):203-204.	Original Article
147	Hoshi T, Sawano M, Kohsaka S, et al	循環器内科	Impact of Sex Differences on Clinical Outcomes in Patients Following Primary Revascularization for Acute Myocardial Infarction— Insights From the Japanese Nationwide Registry.	Circ J. 2024 Jul 25 ; 88(8):1211-1222.	Original Article
148	Hayashi Y, Igarashi M, Yamasaki H, et al	循環器内科	Impact of radiofrequency versus cryoballoon ablation on left atrial calcification after atrial fibrillation ablation: A propensity score-matched comparison.	Int J Cardiol. 2025 Jun 15 ; 429:133177.	Original Article
149	Naemah QJ, Igarashi M, Albakaa NK, et al	循環器内科	Atrial tachycardia in patients with repaired tetralogy of Fallot; its characteristics and catheter ablation outcome.	Int J Cardiol Congenit Heart Dis. 2024 Dec 10 ; 19:100558. (オンライン)	Original Article
150	Kino T, Yamasaki H, Komatsu Y, et al	循環器内科	Right atrium and superior vena cava macro-reentrant tachycardia masquerading as focal tachycardia originating from the left atrial roof.	Heart Rhythm. 2025 Mar 21:S1547-5271(25)02233-7.	Original Article
151	Tomofumi N, Daigo H, Taikan T, et al	循環器内科	Alcohol Septal Ablation Using the Balloon Screen Technique for Severely Angulated Septal Branches.	JACC Cardiovasc Interv. 2025 Mar 6:S1936-8798(25)00586-2.	Original Article
152	Oda Y, Komatsu Y, Shinoda Y, et al	循環器内科	Clinical Impact of High-Intensity Targeted Ablation of Identifiable Critical Zones in Scar-Related Ventricular Tachycardia.	JACC Clin Electrophysiol. 2025 Mar 24:S2405-500X(25)00135-5.	Original Article
153	Oda Y, Yamasaki H, Osawa T, et al	循環器内科	Rescuing Protamine Anaphylaxis Refractory to Adrenaline Using Extracorporeal Membrane Oxygenation.	JACC Case Rep. 2025 Mar 19 ; 30(6 Pt 1):102966.	Case Report
154	Kino T, Nogami A	循環器内科	Reply: How to Demonstrate the Clinical Impact of Off-Label Use of Direct Oral Anticoagulants in Patients With Atrial Fibrillation.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2025 Apr ; 36(4):911-912.	Letter
155	Okabe Y, Murakoshi N, Kurebayashi N, et al	循環器内科	An inherited life-threatening arrhythmia model established by screening randomly mutagenized mice.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2024 Apr 23 ; 121(17):e2218204121.	Original Article
156	Oda Y, Nogami A, Usui R, et al	循環器内科	Transient Complete Atrioventricular Block Following Slow Pathway Ablation Near the Atrioventricular Nodal Artery.	JACC Clin Electrophysiol. 2025 Mar 23:S2405-500X(25)00144-6.	Original Article
157	Osawa T, Tajiri K, Hoshi T, et al	循環器内科	Impact of cancer in patients with aortic stenosis undergoing transcatheter aortic valve replacement: A systematic review and meta-analysis.	Int J Cardiol Heart Vasc. 2024 Apr 16 ; 52:101410. (オンライン)	Original Article
158	Hattori M, Komatsu Y	循環器内科	Transient coronary artery dissection analysed with optical coherence tomography during radiofrequency catheter ablation.	Eur Heart J Case Rep. 2024 Apr 22 ; 8(4):ytac176. (オンライン)	Case Report
159	Yamamoto M, Yamada Y, Sadahiro T, et al	循環器内科	Diagnostic Value of Combined Light and Electron Microscopic Examination in Endomyocardial Biopsy in Patients With Cardiac Amyloidosis.	Can J Cardiol. 2025 Feb ; 41(2):244-253.	Original Article
160	Li S, Tajiri K, Yuan Z, et al	循環器内科	4E-BP3 deficiency impairs dendritic cell activation and CD4(+) T cell differentiation and attenuates 1 α -myosin-specific T cell-mediated myocarditis in mice.	Basic Res Cardiol. 2025 Feb ; 120(1):225-240.	Original Article
161	Harano Y, Yamamoto M, Shimura T, et al	循環器内科	Association Between Direct Oral Anticoagulant Score and Bleeding Events in Patients With Atrial Fibrillation Following Transcatheter Aortic Valve Replacement: A Retrospective Multicenter Cohort Study.	J Am Heart Assoc. 2024 Nov 19 ; 13(22):e036417.	Original Article
162	Yoshida K	循環器内科	Three-Dimensional Mapping of the Left Atrial Wall Rather Than the Left Atrial Chamber.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2025 Jan ; 36(1):52-53.	Original Article
163	Nakano K, Yamamoto M, Yamada Y, et al	循環器内科	Mitochondrial Structural Abnormalities and Cardiac Reverse Remodeling in Patients With Systolic Dysfunction.	Circ J. 2024 Dec 25 ; 89(1):101-108.	Original Article
164	Minami K, Machino-Ohtsuka T, Nakatsukasa T, et al	循環器内科	Clinical significance of echocardiographic left ventricular hypertrophy for predicting left atrial appendage thrombotic milieu in patients with atrial fibrillation and CHA(2)DS(2)-VASc scores of 0-2.	Int J Cardiol. 2025 Jan 15 ; 419:132682.	Original Article
165	Li S, Xu D, Murakoshi N, et al	循環器内科	Autoantibody profiling of patients with immune checkpoint inhibitor-associated myocarditis: a pilot study.	Front Immunol. 2024 Sep 11 ; 15:1423622. (オンライン)	Original Article
166	Nakano K, Sadahiro T, Fujita R, et al	循環器内科	Development of adeno-associated viral vectors targeting cardiac fibroblasts for efficient inA β vivo cardiac reprogramming.	Stem Cell Reports. 2024 Oct 8 ; 19(10):1389-1398.	Original Article
167	Hiraya D, Murakoshi N, Igarashi M, et al	循環器内科	Genetic testing and human leukocyte antigen in patients with hypertrophic cardiomyopathy and connective tissue diseases.	Front Genet. 2024 Aug 6 ; 15:1432670. (オンライン)	Original Article
168	Yaguchi T, Watabe H, Hiraya D, et al	循環器内科	Direct visualization of cardiac and pulmonary artery tumours and intra-cardiac biopsy with non-obstructive general angiography.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2024 Dec 31 ; 26(1):169.	Original Article
169	Yamasaki H, Iioka Y, Funabashi K, et al	循環器内科	"Swinging Movement" of the Helix Fixation Leadless Pacemaker: Benign Phenomenon or Malignant Sign?	CJC Open. 2024 May 7 ; 6(8):1025-1027. (オンライン)	Case Report
170	Kimata A, Yamasaki H, Watabe H, et al	循環器内科	Delayed Endothelialization of Left Atrial Appendage Closure Device: Discordance Between Computed Tomography and Angioscopy.	JACC Clin Electrophysiol. 2025 Feb ; 11(2):454-457.	Original Article
171	Mori H, Xu D, Shimoda Y, et al	循環器内科	Metabolic remodeling and calcium handling abnormality in induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes in dilated phase of hypertrophic cardiomyopathy with MYBPC3 frameshift mutation.	Sci Rep. 2024 Jul 4 ; 14(1):15422. (オンライン)	Original Article
172	Kino T, Nogami A, Soejima K, et al	循環器内科	Current Real-World Status of Off-Label Under- and Over-Dose of Direct Oral Anticoagulants After Atrial Fibrillation Ablation.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2025 Mar ; 36(3):564-575.	Original Article
173	Hanaki Y, Komatsu Y, Iioka Y, et al	循環器内科	Comparison of exA β vivo lesion formation for two adjacent radiofrequency applications with very high-power short-duration in various inter-lesion times.	J Arrhythm. 2024 Dec 5 ; 41(1):e13192. (オンライン)	Original Article
174	Albakaa NK, Sato K, Kawamatsu N, et al	循環器内科	Imaging characteristics of patients with cardiac sarcoidosis who presented with ventricular arrhythmias.	J Cardiol. 2025 Feb 12:S0914-5087(25)00035-8.	Original Article
175	Hiraya D, Yaguchi T, Terauchi T, et al	循環器内科	1-Stage Treatment of Dual Stenosis by Simultaneous Alcohol Septal Ablation and Transcatheter Aortic Valve Implantation.	JACC Case Rep. 2025 Feb 19 ; 30(4):102710.	Original Article
176	Osawa T, Sugano A, Nishina H, et al	循環器内科	Significant Stent Protrusion and Deformation Detected Using Transthoracic Echocardiography Following Percutaneous Coronary Intervention of the Left Main Coronary Artery.	Circ Rep. 2024 Nov 20 ; 7(1):55-56. (オンライン)	Original Article
177	Yoshida K	循環器内科	The Question Is Not "Paroxysmal or Persistent?" But "PV-Dependent or Non-PV Dependent?"	J Cardiovasc Electrophysiol. 2025 Mar ; 36(3):600-602.	Original Article
178	Machino-Ohtsuka T, Machino T, Ishizu T, et al	循環器内科	Effectiveness of Negative Pressure Booths in Mitigating Airborne Infection Risk During Transesophageal Echocardiography.	J Am Soc Echocardiogr. 2024 Nov ; 37(11):1111-1113.	Original Article
179	Sugano Y, Sekiya M, Murayama Y, et al	内分泌代謝・糖尿病内科	Case-based learning: a case of maturity-onset diabetes of the young 5 (MODY5) due to 17q12 microdeletion with a diminished plasma glucagon level.	Diabetol Int. 2025 Feb 17 ; 16(2):432-438. (オンライン)	Case Report

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
180	Matsuda T, Osaki Y, Maruo K, et al	内分泌代謝・ 糖尿病内科	Variability of urinary albumin to creatinine ratio and eGFR are independently associated with eGFR slope in Japanese with type 2 diabetes: a three-year, single-center, retrospective cohort study.	BMC Nephrol. 2024 Aug 16 ; 25(1):264. (オンライン)	Original Article
181	Iwasaki H, Yagyu H, Shimano H	内分泌代謝・ 糖尿病内科	A Comprehensive Analysis of Diabetic Complications and Advances in Management Strategies.	J Atheroscler Thromb. 2025 May 1 ; 32(5):550-559.	Original Article
182	Kajita M, Yanaka K, Takeda H, et al	神経内科 脳 神経外科	Isolated choroid plexus infarction caused by multiple occlusive cerebrovascular lesions.	Radiol Case Rep. 2024 Sep 7 ; 19(12):5633-5638. (オンライン)	Case Report
183	Kataura T, Wilson N, Ma G, et al	神経内科	Mitophagy as a guardian against cellular aging.	Autophagy. 2025 Jan ; 21(1):249-251.	Original Article
184	Mihashi I, Ishii K, Hara N, et al	神経内科	An early-onset case of adult-onset autosomal dominant leukodystrophy.	Neurol Sci. 2024 Nov ; 45(11):5543-5545.	Case Report
185	Kataura T, Sedlackova L, Sun C, et al	神経内科	Targeting the autophagy-NAD axis protects against cell death in Niemann-Pick type C1 disease models.	Cell Death Dis. 2024 May 31 ; 15(5):382. (オンライン)	Original Article
186	Ichimura Y, Konishi R, Shobo M, et al	皮膚科	Autoimmunity against melanoma differentiation-associated gene 5 induces interstitial lung disease mimicking dermatomyositis in mice.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2024 Apr 16 ; 121(16):e2313070121.	Original Article
187	Ishizuki S, Nakamura Y, Matsuoka K, et al	皮膚科	Complete response of a metastatic cutaneous apocrine carcinoma under oral S-1 monotherapy.	J Dtsch Dermatol Ges. 2025 Apr ; 23(4):524-526.	Letter
188	Yasunaga S, Oya K, Ishii Y, et al	皮膚科	Milia-like appearance of vulvar syringoma.	J Dermatol. 2024 Sep ; 51(9):e308-e309.	Case Report
189	Oya K, Ishii Y, Takeyama S, et al	皮膚科	COVID-19-associated pemphigus foliaceus exacerbated by toll-like receptor 7 agonist.	J Dermatol. 2024 Sep ; 51(9):e304-e305.	Case Report
190	Anju K, Oya K, Ishii Y, et al	皮膚科	A Case of Recurrent Atypical Lipomatous Tumor.	Am J Dermatopathol. 2025 Jan 1 ; 47(1):81-82.	Original Article
191	Matsuoka K, Nakamura Y, Ishizuki S, et al	皮膚科	Plate-like osteoma cutis along Blaschko line: A case report and published work review of lesion distribution.	J Dermatol. 2025 Mar ; 52(3):e253-e254.	Letter
192	Matsumura Y, Kume M, Furuta J, et al	皮膚科	Possible Role of IL-23 Inhibition in Reduction of Circulating IL-17A(+) CD103(+) Memory CD8 T Cells in Psoriasis.	J Invest Dermatol. 2025 Feb 11:S0022-202X(25)00101-0.	Original Article
193	Ota M, Maki H, Takahashi Y, et al	精神神経科	Relationships between neuroimaging biomarkers and glymphatic-system activity in dementia with Lewy bodies.	Neurosci Lett. 2024 Nov 1 ; 842:137995.	Original Article
194	Shiratori Y, Ogawa T, Ota M, et al	精神神経科	Comparison of Depressive Symptoms between International and Domestic Students in a Japanese University: Pre- and Post-COVID-19 Pandemic.	Brain Sci. 2024 Apr 29 ; 14(5):447. (オンライン)	Original Article
195	Ota M, Noda T, Sato N, et al	精神神経科	Common Relationship Between Causality Orientation and the Prefrontal Region in Psychiatric Disorders as Revealed by Diffusional Kurtosis Imaging.	Cureus. 2024 May 26 ; 16(5):e61138. (オンライン)	Original Article
196	Nemoto M, Nemoto K, Sasai H, et al	精神神経科	Long-Term Multimodal Exercise Intervention for Patients with Frontotemporal Lobar Degeneration: Feasibility and Preliminary Outcomes.	Dement Geriatr Cogn Dis Extra. 2024 Dec 9 ; 15(1):19-29. (オンライン)	Original Article
197	Ota M, Nemoto K, Hori H, et al	精神神経科	Correlation Between Dietary Nutrition and Glymphatic System Activity in Healthy Participants.	Cureus. 2025 Jan 22 ; 17(1):e77860. (オンライン)	Original Article
198	Owaki Y, Yoshimoto H, Saito G, et al	総合診療科	Effectiveness of genetic feedback on alcohol metabolism to reduce alcohol consumption in young adults: an open-label randomized controlled trial.	BMC Med. 2024 May 20 ; 22(1):205. (オンライン)	Original Article
199	Bando H, Yasojima H, Ishida K, et al	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	Clinical Experience with Simultaneous Mixed Infusion of Trastuzumab and Pertuzumab in the Neo-Peaks Study (JBCRG-20 Sub-Study).	Gan To Kagaku Ryoho. 2024 Sep ; 51(9):925-930.	Original Article
200	Kitazawa S, Bernards N, Gregor A, et al	呼吸器外科	Feasibility of computed tomography-derived surgical margin assessment in an ex vivo sublobar lung resection model.	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2024 Dec 25 ; 40(1):ivae211.	Original Article
201	Saeki Y, Goto Y, Kuroda K, et al	呼吸器外科	Wedge extended bronchioplasty with caliber adjustment by membranous suture.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Sep ; 72(9):617-619.	Case Report
202	Kato H, Mathis BJ, Shimoda T, et al	心臓血管外科	Hemodynamic Management with Vasopressin for Cardiovascular Surgery.	Medicina (Kaunas). 2024 Dec 16 ; 60(12):2064. (オンライン)	Original Article
203	Tsukada T, Suzuki Y, Mathis BJ, et al	心臓血管外科	Aortic valve area index values of Trifecta implants correlate with energy loss and increased valve stress.	J Artif Organs. 2025 Mar ; 28(1):61-68.	Original Article
204	Goto Y, Masumoto K, Jimbo T, et al	小児外科	Cholecystitis following the initiation of glucagon-like peptide-2 analogue for short bowel syndrome: A case report.	Nutr Clin Pract. 2024 Oct ; 39(5):1247-1250.	Case Report
205	Shinkai T, Masumoto K, Sanmoto Y, et al	小児外科	Left-sided portal hypertension caused by a solid pseudopapillary neoplasm of pancreas tail: a pediatric case report.	Surg Case Rep. 2024 Nov 11 ; 10(1):256. (オンライン)	Original Article
206	Goto Y, Ogata S, Shimizu H, et al	小児外科	Decortication with uniport video-assisted thoracoscopic surgery for empyema due to postoperative esophageal leakage: a report of two pediatric cases.	Surg Case Rep. 2024 Oct 28 ; 10(1):247. (オンライン)	Original Article
207	Sakamoto N, Masumoto K, Aoyama T, et al	小児外科	Pyloric Atresia in a Neonate With Epidermolysis Bullosa: A Case Report.	Clin Case Rep. 2024 Dec 5 ; 12(12):e9685. (オンライン)	Original Article
208	Sasaki T, Nemoto Y, Nishigata A, et al	小児外科	The Use of a Biologically Transparent Illumination Guide to Detect Gastric Tube Tip Position in Young Children From Diverse Clinical Backgrounds.	Cureus. 2025 Jan 3 ; 17(1):e78871. (オンライン)	Case Report
209	Dohmoto Y, Akashi Y, Ogawa K, et al	消化器外科	Laparoscopic extraction of a symptomatic upper abdominal pedunculated parietal peritoneal lipoma arising intermittent abdominal pain: a case report.	J Med Case Rep. 2024 Apr 22 ; 18(1):200. (オンライン)	Case Report
210	Takahashi K, Goshio M, Miyazaki Y, et al	消化器外科	Preoperative albumin-bilirubin score and liver resection percentage determine postoperative liver regeneration after partial hepatectomy.	World J Gastroenterol. 2024 Apr 14 ; 30(14):2006-2017.	Original Article
211	Kamohara K, Miyazaki Y, Nakahashi H, et al	消化器外科	Idiopathic superior mesenteric venous thrombosis requiring bowel resection: a report of four cases.	Surg Case Rep. 2024 May 14 ; 10(1):122. (オンライン)	Original Article
212	Ohara Y, Owada Y, Kim J, et al	消化器外科	Clinical Benefits of Reducing Dead Space Using a Closed Suction Drain and Subcutaneous Large-bite Buried Suture Technique to Prevent Superficial Surgical-site Infections Following Primary Closure of a Diverting Stoma.	J Anus Rectum Colon. 2024 Apr 25 ; 8(2):70-77. (オンライン)	Original Article
213	Ogawa K, Ishikawa H, Toyozumi T, et al	消化器外科	Comparison of proton-based definitive chemoradiotherapy and surgery-based therapy for esophageal squamous cell carcinoma: a multi-center retrospective Japanese cohort study.	Esophagus. 2024 Oct ; 21(4):484-494.	Original Article
214	Uchino M, Kitaguchi D, Furuya K, et al	消化器外科	Preoperative risk factors for 90-day postoperative mortality outcome in patients with non-occlusive mesenteric ischemia.	Langenbecks Arch Surg. 2024 Jul 2 ; 409(1):201. (オンライン)	Original Article
215	Kohzuki H, Miki S, Sugii N, et al	脳神経外科	The Safety of Intraoperative Photodynamic Diagnosis Using 5-Aminolevulinic Acid Combined with Talaporfin Sodium Photodynamic Therapy in Recurrent High-Grade Glioma.	World Neurosurg. 2024 Oct ; 190:e716-e720.	Original Article
216	Yamano A, Matsuda M, Kohzuki H, et al	脳神経外科	Impact of superficial middle cerebral vein compression on peritumoral brain edema of the sphenoid wing meningioma.	Clin Neurol Neurosurg. 2024 Nov ; 246:108575.	Original Article
217	Kino H, Akutsu H, Tanaka S, et al	脳神経外科	Outcomes of endoscopic endonasal surgery for pediatric craniopharyngioma with a focus on morphological preservation of the pituitary stalk and endocrine functions.	Pituitary. 2025 Mar 5 ; 28(2):34. (オンライン)	Original Article
218	Matsuda M, Sugii N, Sakamoto N, et al	脳神経外科	Significance of 5-ALA-Guided Fluorescence in Resection of Invasive Intracranial Meningiomas: Findings from a Prospective Clinical Study.	Cancers (Basel). 2025 Mar 31 ; 17(7):1191. (オンライン)	Original Article
219	Karita H, Inaba T, Sekine T, et al	脳神経外科	The Characteristics of Intracerebral Hemorrhages in Dialysis Patients.	World Neurosurg. 2025 May ; 197:123909.	Original Article
220	Hidano A, Sugii N, Ishikawa E	脳神経外科	Newly emerged T2 high-signal intensity area mimicking oligodendroglioma expansion on intraoperative magnetic resonance imaging: A case report.	Radiol Case Rep. 2024 Aug 19 ; 19(11):5038-5043. (オンライン)	Case Report
221	Ishikawa T, Matsuda M, Ishikawa H, et al	脳神経外科	Establishment of a novel benign meningioma cell line spontaneously immortalized under hypoxic conditions.	Hum Cell. 2024 Nov 29 ; 38(1):22. (オンライン)	Original Article
222	Hirata K, Fujita K, Ishikawa E, et al	脳神経外科	The efficacy and safety of the internal medication therapy of the triple drugs for chronic subdural hematoma: Retrospective analysis.	Clin Neurol Neurosurg. 2024 Sep ; 244:108434.	Original Article
223	Yamada E, Ito Y, Sato M, et al	脳神経外科	Targeted Transarterial Embolization for Treatment of a Symptomatic Venous Varix in the Draining Vein of an Arteriovenous Malformation: Case Report and Literature Review.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg. 2025 May ; 86(3):321-326.	Case Report
224	Watanabe S, Yamamoto M, Aiyama H, et al	脳神経外科	A retrospective cohort study of stereotactic radiosurgery for vestibular schwannomas: Comparison of two age groups (75 years or older vs. 65-74 years).	Surg Neurol Int. 2024 Jul 26 ; 15:257. (オンライン)	Original Article
225	Watanabe S, Shibata Y, Ishikawa E	脳神経外科	A Case of Idiopathic Intracranial Hypertension Complicated with both Infratentorial and Supratentorial Cortical Superficial Siderosis: Novel Imaging Findings on Intravoxel Incoherent Motion Magnetic Resonance Imaging Offering Clues to Pathophysiology.	Neurol Int. 2024 Jun 28 ; 16(4):701-708. (オンライン)	Case Report
226	Miyamoto S, Tsuruta W, Isozaki J, et al	脳神経外科	Additional outlet occlusion as an important factor in avoiding retreatment after transvenous embolization for cavernous sinus dural arteriovenous fistulas.	J Neurointerv Surg. 2025 Jan 25jnis-2024-021773.	Original Article
227	Kino H, Akutsu H, Tanaka S, et al	脳神経外科	Endoscopic endonasal approach for pituitary neuroendocrine tumor with septal mucosa incision tailored to tumor extension intending unilateral septal mucosa preservation.	Sci Rep. 2025 Jan 9 ; 15(1):1489. (オンライン)	Original Article
228	Yamano A, Matsuda M, Ishikawa E	脳神経外科	Preoperative Vascular and Cranial Nerve Imaging in Skull Base Tumors.	Cancers (Basel). 2024 Dec 28 ; 17(1):62. (オンライン)	Original Article
229	Koiso T, Komatsu Y, Watanabe D, et al	脳神経外科	Clinical Outcomes of Endovascular Coil Embolization for Ruptured Middle Cerebral Artery Aneurysms.	J Neuroendovasc Ther. 2024 ; 18(12):313-320.	Original Article
230	Masuda Y, Fujimoto A, Hosoo H, et al	脳神経外科	First experiences with multiple bilateral insertions of a newly developed microcatheter-compatible endovascular electroencephalogram electrode for humans with epilepsy.	Epilepsy Behav Rep. 2025 Feb 4 ; 29:100748. (オンライン)	Case Report

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
231	Ikumi A, Asai R, Eda Y, et al	整形外科	A Novel Method to Represent the Three-Dimensional Inclination of the Distal Radius Joint Surface.	Diagnostics (Basel). 2025 Feb 1 ; 15(3):345. (オンライン)	Original Article
232	Gamada H, Funayama T, Fujii K, et al	整形外科	Gram-negative rods are associated with prolonged treatment in patients with thoracolumbar pyogenic spondylitis after minimally invasive posterior fixation compared with gram-positive cocci: a multicenter retrospective cohort study.	BMC Musculoskelet Disord. 2025 Mar 11 ; 26(1):240. (オンライン)	Original Article
233	Shimasaki K, Nishino T, Yoshizawa T, et al	整形外科	Optimizing Stem Length in Conversion Total Hip Arthroplasty: An Expanded Finite Element Analysis.	J Clin Med. 2025 Feb 10 ; 14(4):1141. (オンライン)	Original Article
234	Nakagawa T, Takahashi H, Miura K, et al	整形外科	Unexpected Neurological Deterioration Following Occipitocervical Fusion Surgery: A Case Report.	Cureus. 2025 Jan 28 ; 17(1):e78129. (オンライン)	Case Report
235	Asai R, Ikumi A, Eda Y, et al	整形外科	Relationship between Physical Characteristics and Morphological Features of the Articular Radius Surface: A Retrospective Single-Center Study.	Diagnostics (Basel). 2024 Sep 10 ; 14(18):2005. (オンライン)	Original Article
236	Takahashi H, Okuyama K, Toki Y, et al	整形外科	Efficacy and Limitations of Continuous Local Antibiotic Perfusion in Treating Surgical Site Infections Following Instrumented Spinal Surgery: A Retrospective Multicenter Study.	Infect Dis Ther. 2025 Feb ; 14(2):421-431.	Original Article
237	Asada T, Akosman I, Lovecchio FC, et al	整形外科	Does Approach Matter? Comparison of Early Postoperative Life-threatening Complications in Elderly Patients With Multilevel Cervical Stenosis.	Clin Spine Surg. 2025 Apr 1 ; 38(3):E175-E180.	Original Article
238	Teruya S, Funayama T, Tatsumura M, et al	整形外科	Characteristics of Lumbar Spondylolysis in Adolescent Baseball Players: Relationship between the Laterality of Lumbar Spondylolysis and the Throwing or Batting Side.	Asian Spine J. 2024 Apr ; 18(2):260-264.	Original Article
239	Kikuchi N, Kanamori A, Arai N, et al	整形外科	Joint Effusion at 3 Months After Anterior Cruciate Ligament Reconstruction: Its Risk Factors and Association With Subsequent Muscle Strength and Graft Remodeling.	Orthop J Sports Med. 2024 Dec 16 ; 12(12):23259671241299782. (オンライン)	Original Article
240	Ikumi A, Sasaki E, Sakuyama N, et al	整形外科	Incidence of Elbow Injury Patterns in Japanese Adolescent Judo Players: Analysis from a Nationwide Insurance Database.	Sports (Basel). 2024 Oct 23 ; 12(11):289. (オンライン)	Original Article
241	Funayama T, Yanagisawa Y, Ogata Y, et al	整形外科	A Misplaced S2 Alar-Iliac Screw Causing L5 Spinal Nerve Injury: A Report of a Rare Case.	Cureus. 2024 Nov 13 ; 16(11):e73638. (オンライン)	Case Report
242	Gamada H, Funayama T, Asada T, et al	整形外科	Impact of causative organism identification on clinical outcomes after minimally invasive posterior fixation for thoracolumbar pyogenic spondylitis: multicenter retrospective cohort study.	Eur Spine J. 2024 Dec ; 33(12):4682-4692.	Original Article
243	Sunami T, Miura K, Shibao Y, et al	整形外科	Surgical Appgar Score and Controlling Nutritional Status Score can be predictors of major postoperative complications after spine surgery.	Sci Rep. 2024 Sep 10 ; 14(1):21112. (オンライン)	Original Article
244	Yamaji A, Yanagisawa Y, Mishima H, et al	整形外科	Removal of a broken Kuntscher intramedullary nail for a femoral diaphyseal nonunion 17A?years after injury.	Int J Surg Case Rep. 2024 Oct ; 123:110287.	Case Report
245	Kikuchi N, Arai N, Okuno K, et al	整形外科	Male Sex Is an Associated Factor for Delayed Bone Union Following Hybrid Closed-Wedge High Tibial Osteotomy.	Medicina (Kaunas). 2024 Oct 29 ; 60(11):1772. (オンライン)	Original Article
246	Gamada H, Funayama T, Nagasawa K, et al	整形外科	Unique characteristics of bone union at the infected vertebrae after minimally invasive posterior fixation without bone grafting in thoracolumbar pyogenic spondylitis: a retrospective multicenter cohort study.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Oct 29 ; 25(1):860. (オンライン)	Original Article
247	Soma Y, Mutsuzaki H, Yoshioka T, et al	整形外科	Effects of Single-Joint Type Hybrid Assistive Limb in Knee Rehabilitation on Reduction of Pre-motor Time and Increased Rate of Fast Muscle Activation for Anterior Cruciate Regimen (ACL) Reconstruction.	Cureus. 2024 Sep 8 ; 16(9):e68967. (オンライン)	Original Article
248	Gamada H, Funayama T, Ogata Y, et al	整形外科	Factors prolonging antibiotic duration and impact of early surgery in thoracolumbar pyogenic spondylitis treated with minimally invasive posterior fixation.	Eur Spine J. 2024 Dec ; 33(12):4672-4681.	Original Article
249	Noguchi H, Funayama T, Sato K, et al	整形外科	A study on the effect of platelet-rich plasma (PRP) to promote bone fusion in lateral interbody fusion of the lumbar spine using artificial bone.	J Orthop Surg Res. 2024 Oct 26 ; 19(1):691. (オンライン)	Original Article
250	Shimasaki K, Nishino T, Yoshizawa T, et al	整形外科	Total Hip Arthroplasty in Hip Osteoarthritis with Subtrochanteric Localized Periosteal Thickening: Preoperative Planning Using Finite Element Analysis to Determine the Optimal Stem Length.	J Clin Med. 2024 Oct 1 ; 13(19):5872. (オンライン)	Case Report
251	Koda M, Imagama S, Nakashima H, et al	整形外科	Safety and feasibility of intravenous administration of a single dose of allogenic-Muse cells to treat human cervical traumatic spinal cord injury: a clinical trial.	Stem Cell Res Ther. 2024 Aug 13 ; 15(1):259. (オンライン)	Original Article
252	Funayama T, Tatsumura M, Fujii K, et al	整形外科	Exploring factors affecting activities of daily living in patients with osteoporotic vertebral fractures managed conservatively: a post-hoc analysis of a prospective cohort study.	Asian Spine J. 2024 Aug ; 18(4):570-578.	Original Article
253	Asada T, Subramanian T, Simon CZ, et al	整形外科	Level-specific comparison of 3D navigated and robotic arm-guided screw placement: an accuracy assessment of 1210 pedicle screws in lumbar surgery.	Spine J. 2024 Oct ; 24(10):1872-1880.	Original Article
254	Gamada H, Funayama T, Setojima Y, et al	整形外科	Pedicle screw insertion into infected vertebrae reduces operative time and range of fixation in minimally invasive posterior fixation for thoracolumbar pyogenic spondylitis: a multicenter retrospective cohort study.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Jun 10 ; 25(1):458. (オンライン)	Original Article
255	Gamada H, Tatsumura M, Asada T, et al	整形外科	Novel Predictive Scoring System for Bone Union Rate After Conservative Management of Lumbar Spondylolysis.	Spine (Phila Pa 1976). 2025 Apr 1 ; 50(7):463-469.	Original Article
256	Sakashita K, Kotani T, Sakuma T, et al	整形外科	The association between variations in the number of thoracic and lumbar vertebrae and rib morphology in adolescent idiopathic scoliosis.	Spine Deform. 2024 Sep ; 12(5):1329-1336.	Original Article
257	Takahashi H, Suzuki K, Nishino T, et al	整形外科	Safety and feasibility of in-hospital autonomous transportation using a driverless mobility for patients with musculoskeletal disorders: preliminary clinical study to achieve mobility as a service in medical care.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 May 3 ; 25(1):352. (オンライン)	Original Article
258	Watanabe R, Mishima H, Takehashi H, et al	整形外科	Bone mineral density changes around the stem correlate with stress changes after total hip arthroplasty: A study using thermoelastic stress analysis.	J Exp Orthop. 2024 May 13 ; 11(3):e12031. (オンライン)	Original Article
259	Kikuchi N, Kanamori A, Kadone H, et al	整形外科	Varus knee osteoarthritis with ankle osteoarthritis demonstrates greater hindfoot inversion and larger ankle inversion loading during gait following total knee arthroplasty compared to varus knee osteoarthritis alone.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2024 Sep ; 32(9):2309-2317.	Original Article
260	Okuwaki S, Kotani T, Taniguchi Y, et al	整形外科	Evaluation of crankshaft phenomenon after posterior fusion for early onset scoliosis using an inverse trigonometric function: a multicenter retrospective cohort study.	Spine Deform. 2024 Nov ; 12(6):1803-1811.	Original Article
261	Asanuma S, Miura K, Funayama T, et al	整形外科	Early Recurrence of Thoracic Ossification of the Ligamentum Flavum After Posterior Decompression Surgery: A Case Report.	Cureus. 2024 May 1 ; 16(5):e59429. (オンライン)	Case Report
262	Gamada H, Funayama T, Nakagawa T, et al	整形外科	Comparison of Disc Degeneration between Pyogenic Spondylitis and Noninfected Lumbar Spondylosis: A Multicenter Retrospective Study with Propensity Score Matching.	Spine Surg Relat Res. 2024 May 10 ; 8(6):616-622. (オンライン)	Original Article
263	Ikedo K, Kaneoka K, Matsunaga N, et al	整形外科	Effects of forearm rotation on wrist flexor and extensor muscle activities.	J Orthop Surg Res. 2025 Jan 17 ; 20(1):53. (オンライン)	Original Article
264	Shimasaki K, Nishino T, Yoshizawa T, et al	整形外科	Stress Analysis in Conversion Total Hip Arthroplasty: A Finite Element Analysis on Stem Length and Distal Screw Hole.	J Clin Med. 2024 Dec 28 ; 14(1):106. (オンライン)	Original Article
265	Gamada H, Funayama T, Setojima Y, et al	整形外科	Posterior fixation without debridement for pyogenic spondylodiscitis can promote infection control: initial evaluation of a pyogenic spondylodiscitis posterior fixation rat model.	Eur Spine J. 2025 Mar 3.	Original Article
266	Soma Y, Kubota S, Kadone H, et al	整形外科	Novel Gait Training with a Hybrid Assistive Limb Improved Delayed Progressive Spastic Paraplegia After a Lightning Strike.	J Clin Med. 2025 Feb 3 ; 14(3):967. (オンライン)	Case Report
267	Hirose F, Nishino T, Shimizu Y, et al	整形外科	Assessment of Hip Abduction Motion Assistance Using a Single-Joint Hybrid Assistive Limb Robot: Feasibility and Safety Evaluation in Healthy Adults.	J Clin Med. 2025 Jan 12 ; 14(2):454. (オンライン)	Original Article
268	Takahashi H, Funayama T, Noguchi H, et al	整形外科	Utilization of SURGIFLOAR Hemostatic Matrix Reduces Intraoperative Blood Loss During Posterior Instrumented Thoracolumbar Spinal Surgery for Patients With Adult Spinal Deformity.	Cureus. 2025 Jan 15 ; 17(1):e77478. (オンライン)	Original Article
269	Kojo K, Oguri T, Tanaka T, et al	泌尿器科	Inductively Coupled Plasma Mass Spectrometry Performance for the Measurement of Key Serum Minerals: A Comparative Study With Standard Quantification Methods.	J Clin Lab Anal. 2025 Jan ; 39(2):e25140.	Original Article
270	Nitta S, Kandori S, Takahashi R, et al	泌尿器科	Retroperitoneal sarcoma: a 10-year follow-up analysis using hospital-based cancer registry data in Japan.	Jpn J Clin Oncol. 2024 Jun 1 ; 54(6):716-721.	Original Article
271	Kawahara T, Kandori S, Kojima T, et al	泌尿器科	Feasibility of enzalutamide on patients with recurrent non-muscle-invasive bladder cancer with marker tumors: phase I study.	BMC Res Notes. 2025 Jan 31 ; 18(1):47. (オンライン)	Original Article
272	Tanaka T, Kojo K, Suetomi T, et al	泌尿器科	Distinct Clusters of Testosterone Levels, Symptoms, and Serum Trace Elements in Young Men: A Cross-Sectional Analysis.	Nutrients. 2025 Feb 28 ; 17(5):867. (オンライン)	Original Article
273	Mizoguchi M, Chihara I, Sano K, et al	泌尿器科	A Case of Secondary Extramammary Paget's Disease Surrounding a Cutaneous Ureterostoma After Recurrence of Bladder Urothelial Carcinoma.	IJU Case Rep. 2025 Mar 27 ; 8(3):266-270. (オンライン)	Original Article
274	Kojo K, Kim J, Saïda T, et al	泌尿器科	Practical Step-by-step SYNAPSE VINCENT Rendering of Three-dimensional Graphics in Horseshoe Kidney with Bilateral Varicoceles.	JMA J. 2024 Oct 15 ; 7(4):471-486.	Original Article
275	Takahashi R, Nitta S, Kandori S, et al	泌尿器科	Mediastinal germ cell tumors: analysis using hospital-based cancer registry data in Japan.	Int J Clin Oncol. 2024 Nov ; 29(11):1756-1761.	Original Article
276	Kojo K, Mathis BJ, Yamada T, et al	泌尿器科	Methods to Enhance Accessibility of Japanese Medical Literature in English Journals.	JMA J. 2024 Oct 15 ; 7(4):461-470.	Original Article

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
277	Hamada K, Nagumo Y, Kandori S, et al	泌尿器科	Phospholipase D2 downregulates interleukin-112 secretion from tumor-associated macrophages to suppress bladder cancer progression.	Cancer Sci. 2025 Feb ; 116(2):381-392.	Original Article
278	Nitta S, Kojima T, Gido M, et al	泌尿器科	A Machine Learning Model to Predict the Histology of Retroperitoneal Lymph Node Dissection Specimens.	Anticancer Res. 2024 May ; 44(5):2151-2157.	Original Article
279	Omiya A, Nitta S, Kandori S, et al	泌尿器科	Combination Chemotherapy With TS-1 and Cisplatin for Urinary Adenocarcinoma: A Retrospective Case Series.	Clin Genitourin Cancer. 2024 Oct ; 22(5):102149.	Case Report
280	Isoda B, Kandori S, Suzuki T, et al	泌尿器科	TNFSF9 Is Associated with Favorable Tumor Immune Microenvironment in Patients with Renal Cell Carcinoma Who Are Treated with the Combination Therapy of Nivolumab and Ipilimumab.	Int J Mol Sci. 2024 Jul 6 ; 25(13):7444. (オンライン)	Original Article
281	Hiraoka T, Tamura M, Moriguchi Y, et al	眼科	Quantitative Mapping of Posterior Eye Curvature in Children Using Distortion-Corrected OCT: Insights into Temporal Region Morphology.	Ophthalmol Sci. 2025 Jan 3 ; 5(3):100695. (オンライン)	Original Article
282	Murakami T, Okamoto F, Matsueda T, et al	眼科	Association Between Contrast Sensitivity and Ganglion Cell-Inner Plexiform Layer Thickness After Resolution of Macular Edema Due to Branch Retinal Vein Occlusion.	J Clin Med. 2025 Feb 24 ; 14(5):1507. (オンライン)	Original Article
283	Hiraoka T, Matsumura S, Hori Y, et al	眼科	Incidence of microbial keratitis associated with overnight orthokeratology: a multicenter collaborative study.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Jan ; 69(1):139-143.	Original Article
284	Hiraoka T, Tamura M, Mino T, et al	眼科	Choroidal thickness in macular, nasal midperiphery, and temporal midperiphery regions and its relationship with axial length and refractive error.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Jan ; 69(1):24-31.	Original Article
285	Oshika T	眼科	Artificial Intelligence Applications in Ophthalmology.	JMA J. 2025 Jan 15 ; 8(1):66-75.	Original Article
286	Matsumoto S, Hirose Y, Ishii R, et al	耳鼻咽喉科	Relationship between hearing loss and glasgow prognostic score in patients with cancer.	Auris Nasus Larynx. 2024 Dec ; 51(6):1037-1041.	Original Article
287	Adachi M, Taki T, Kojima M, et al	耳鼻咽喉科	Predicting lymph node recurrence in cT1-2N0 tongue squamous cell carcinoma: collaboration between artificial intelligence and pathologists.	J Pathol Clin Res. 2024 Sep ; 10(5):e12392.	Original Article
288	Fukuda K, Matsumoto S, Hattori Y, et al	耳鼻咽喉科	Relationship between nonserviceable hearing and auditory brainstem response in patients with vestibular schwannoma.	Auris Nasus Larynx. 2025 Feb ; 52(1):39-42.	Original Article
289	Kurasawa S, Ganaha A, Ayabe S, et al	耳鼻咽喉科	Hearing loss occurs prior to thrombocytopenia in both mice and humans with DFNA1.	FASEB J. 2025 Jan 31 ; 39(2):e70309.	Original Article
290	Ii R, Noguchi E, Adachi N, et al	耳鼻咽喉科	Characterization of microbial diversity and eosinophilic otitis media biomarkers using next-generation sequencing.	Auris Nasus Larynx. 2024 Dec ; 51(6):1073-1080.	Original Article
291	Ishibashi-Kanno N, Inui T, Uchida F, et al	歯科・口腔外科	A Case of a Dentigerous Cyst with a Malformed Tooth in the Mandible of a Child.	Indian J Otolaryngol Head Neck Surg. 2024 Dec ; 76(6):6032-6035.	Original Article
292	Chihara K, Yamagata K, Maeda K, et al	歯科・口腔外科	Dermatofibrosarcoma protuberans arising in the lower labial mucosa: a case report and literature review.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2025 Jun ; 54(6):506-510.	Case Report
293	Tenjimbayashi Y, Kobayashi Y, Suzuki Y, et al	産科・婦人科	Primary Low-Grade Endometrial Stromal Sarcoma of the Ovary Arising From Endometriosis: A Case Report.	Cureus. 2025 Feb 23 ; 17(2):e79530. (オンライン)	Case Report
294	Kobayashi Y, Shimada M, Tamate M, et al	産科・婦人科	Current treatment strategies for ovarian cancer in the East Asian Gynecologic Oncology Trial Group (EAGOT).	J Gynecol Oncol. 2024 May ; 35(3):e87.	Original Article
295	Suto A, Minaguchi T, Qi N, et al	産科・婦人科	CD25(+)FOXP3(+)CD45RA(-) regulatory T-cell infiltration as a prognostic biomarker for endometrial carcinoma.	BMC Cancer. 2024 Sep 4 ; 24(1):1100. (オンライン)	Original Article
296	Mizuno Y, Shikama A, Fujieda K, et al	産科・婦人科	Feasibility of Proton Beam Therapy for Para-Aortic Lymph Node Recurrence in Patients With Gynecologic Cancer After Pelvic Irradiation: A Case Series.	Cureus. 2025 Feb 23 ; 17(2):e79514. (オンライン)	Original Article
297	Sakai M, Hiyama T, Kuno H, et al	放射線診断・IVR科	Imaging of the skull base and orbital tumors.	Jpn J Radiol. 2025 Feb ; 43(2):152-163.	Original Article
298	Ishiguro T, Saida T, Shikama A, et al	放射線診断・IVR科	Diagnostic imaging analysis to differentiate struma ovarii from mucinous carcinomas, encompassing T2*-based imaging, diffusion-weighted imaging, and dynamic contrast-enhanced imaging.	Br J Radiol. 2024 Nov 1 ; 97(1163):1843-1849.	Original Article
299	Saida T, Yoshida M, Ishiguro T, et al	放射線診断・IVR科	Comparison of Benign, Borderline, and Malignant Ovarian Seromucinous Neoplasms on MR Imaging.	Magn Reson Med Sci. 2024 Aug 30.	Original Article
300	Saida T, Gu W, Hoshiai S, et al	放射線診断・IVR科	Artificial Intelligence in Obstetric and Gynecological MR Imaging.	Magn Reson Med Sci. 2024 Oct 29.	Original Article
301	Hoshiai S, Watanani T, Kagaya S, et al	放射線診断・IVR科	Imaging of unicentric hyaline-vascular variant of Castleman disease: Emphasis on perilesional fat stranding and fatty proliferation.	Glob Health Med. 2024 Dec 31 ; 6(6):375-382.	Original Article
302	Saida T, Yoshida M, Shibuki S, et al	放射線診断・IVR科	Comprehensive analysis of calcification frequency and patterns in ovarian tumours using non-contrast CT.	Jpn J Radiol. 2025 Mar 5.	Original Article
303	Matsumoto Y, Arase H, Ishiki H, et al	放射線腫瘍科	Design and evaluation of a supramolecular boron compound using a cyclodextrin-based polyrotaxane for boron neutron capture therapy.	Carbohydr Polym. 2025 Apr 15 ; 354:123343.	Original Article
304	Goto M, Ohnishi K, Nakamura M, et al	放射線腫瘍科	High-Dose Direct Irradiation to a Cardiac Resynchronization Therapy Defibrillator Infiltrated by Metastatic Thyroid Papillary Carcinoma in the Sternum: A Case Report.	Adv Radiat Oncol. 2024 Nov 1 ; 10(1):101672. (オンライン)	Case Report
305	Sawada T, Kondo M, Goto M, et al	放射線腫瘍科	Cost-utility analysis of proton beam therapy for locally advanced esophageal cancer in Japan.	PLoS One. 2024 Sep 27 ; 19(9):e0308961. (オンライン)	Original Article
306	Goto M, Futamura Y, Makishima H, et al	放射線腫瘍科	Development of a deep learning-based model to evaluate changes during radiotherapy using cervical cancer digital pathology.	J Radiat Res. 2025 Mar 24 ; 66(2):144-156.	Original Article
307	Matsuishi Y, Manning JC, Hoshino H, et al	救急・集中治療科	Empowerment of PArnts in THe Intensive Care: A multicentre validation study in Japan.	Aust Crit Care. 2025 Jan ; 38(1):101072.	Original Article
308	Aikawa G, Hoshino T, Sakuramoto H, et al	救急・集中治療科	Quantitative visualization of gastrointestinal motility in critically ill patients using a non-invasive single-channel electro amplifier: A prospective observational cohort feasibility study.	J Crit Care. 2025 Jun ; 87:155031.	Original Article
309	Ikeda M, Hoshino H, Aikawa G, et al	救急・集中治療科	Translation and Adaptation of the Japanese Version of the Revised Parental Stressor Scale: Pediatric Intensive Care Unit.	Cureus. 2024 Jul 12 ; 16(7):e64389. (オンライン)	Original Article
310	Shiba-Ishii A, Takemura N, Kawai H, et al	病理診断科	Histologic transformation of non-small-cell lung cancer in response to tyrosine kinase inhibitors: Current knowledge of genetic changes and molecular mechanisms.	Cancer Sci. 2024 Jul ; 115(7):2138-2146.	Original Article
311	Shiba-Ishii A, Isagawa T, Shiozawa T, et al	病理診断科	Novel therapeutic strategies targeting bypass pathways and mitochondrial dysfunction to combat resistance to RET inhibitors in NSCLC.	Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis. 2024 Aug ; 1870(6):167249.	Original Article
312	Suzuki H, Muramatsu Y, Miya F, et al	遺伝診療科	Biallelic loss-of-function variants in the centriolar protein CCP110 leads to a ciliopathy-like phenotype.	Eur J Med Genet. 2024 Aug ; 70:104955.	Case Report
313	Noguchi E, Morii W, Kitazawa H, et al	遺伝診療科	A genome-wide meta-analysis reveals shared and population-specific variants for allergic sensitization.	J Allergy Clin Immunol. 2025 Apr ; 155(4):1321-1332.	Original Article
314	Sun Y, Sakata N, Iwagami M, et al	総合臨床教育センター	Regional Disparities in Japan's Home Healthcare Resources: A Retrospective Observational Study Using Nationwide Data from 2014 to 2020.	J Gen Intern Med. 2025 Jan 7.	Letter
315	Sun Y, Sakata N, Iwagami M, et al	総合臨床教育センター	Regional disparities in home health care utilization for older adults and their associated factors at the secondary medical area level: A Nationwide study in Japan.	Geriatr Gerontol Int. 2024 Dec ; 24(12):1350-1361.	Original Article
316	Ishii M, Ozone S, Masumoto S, et al	総合臨床教育センター	Assertiveness in community pharmacists and their experience of pharmacist-led deprescribing: A cross-sectional study.	Res Social Adm Pharm. 2025 Jul ; 21(7):517-522.	Original Article
317	Sun Y, Sakata N, Iwagami M, et al	総合臨床教育センター	Reply to comment on "Regional disparities in home health care utilization for older adults and their associated factors at the secondary medical area level: A nationwide study in Japan".	Geriatr Gerontol Int. 2025 Apr ; 25(4):646-647.	Letter
318	Yazawa A, Li X, Shiba K, et al	総合臨床教育センター	Resilience Factors Affecting Long-Term Trajectories of Depressive Symptoms in the Aftermath of the Great East Japan Earthquake and Tsunami Among Older Adults.	J Gerontol B Psychol Sci Soc Sci. 2025 Mar 12 ; 80(4):gbae182.	Original Article
319	Sun Y, Masuda R, Taniguchi Y, et al	総合臨床教育センター	Characteristics of cancer patients dying at home during the COVID-19 pandemic: A study based on vital statistics from 2015 to 2022 in Japan.	J Gen Fam Med. 2024 Aug 27 ; 25(6):358-365. (オンライン)	Original Article
320	Nin S, Sun Y, Maeno T, et al	総合臨床教育センター	Association between chronic diseases and severe periodontal disease progression: A retrospective cohort study in a city of Japan.	J Gen Fam Med. 2024 Oct 4 ; 26(1):54-64. (オンライン)	Original Article
321	Ishii M, Ozone S, Masumoto S, et al	総合臨床教育センター	Factors associated with assertiveness among Japanese community pharmacists: a cross-sectional study.	J Pharm Health Care Sci. 2025 Jan 23 ; 11(1):4. (オンライン)	Original Article
322	Kataoka Y, Maeno T, Kimura N, et al	総合臨床教育センター	Development of a Japanese version of the Fresno test for family physicians to measure evidence-based medicine competence.	J Gen Fam Med. 2024 Nov 25 ; 26(2):143-147. (オンライン)	Original Article
323	Hamano J, Higashibata T, Kessoku T, et al	緩和ケアセンター	Naldemedine for Opioid-Induced Constipation in Patients With Cancer: A Multicenter, Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled Trial.	J Clin Oncol. 2024 Dec 10 ; 42(35):4206-4217.	Original Article

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
324	Hamano J, Takeuchi A, Keyaki T, et al	緩和ケアセン ター	Optimal Machine Learning Models for Developing Prognostic Predictions in Patients With Advanced Cancer.	Cureus. 2024 Dec 22 ; 16(12):e76227. (オンライン)	Original Article
325	Yamagami H, Ozaki T, Ogasawara K, et al	脳卒中科	Randomized Controlled Trial of Cilostazol Addition for In-Stent Restenosis After Carotid Artery Stenting.	Stroke. 2024 Dec ; 55(12):2776-2785.	Original Article
326	Suzuki T, Sekine I	腫瘍内科	Vanishing Bone Disease.	Intern Med. 2024 Nov 15 ; 63(22):3119.	Original Article
327	Shimizu Y, Mori T, Yoshikawa K, et al	リハビリテー ション部	Developing a Novel Prosthetic Hand with Wireless Wearable Sensor Technology Based on User Perspectives: A Pilot Study.	Sensors (Basel). 2024 Apr 26 ; 24(9):2765. (オンライン)	Original Article
328	Okubo R, Ohigashi T, Kondo M, et al	検査部	Associations of anaemia and iron deficiency with health-related quality of life in patients with chronic kidney disease stage G3b-5 in Japan: sub analysis of the Reach-J CKD cohort study.	BMC Nephrol. 2024 Nov 19 ; 25(1):414. (オンライン)	Original Article
329	Yanaka A, Ohmori T, Ochi M, et al	消化器内科	Dietary intake of sulforaphane-rich broccoli sprouts decreases fecal calprotectin levels in patients with ulcerative colitis	FUNCT FOODS HEALTH D.2024 OCT:14(10):16	Original Article
330	Miyahara H, Kubota N, Okune M, et al	皮膚科	Case report: Ten cases of acquired idiopathic generalized anhidrosis treated with oral pilocarpine	J CUTAN IMMUNOL ALL.2024 JUN:7-5	Original Article
331	Takaoka S, Yanagawa T, Saito H, et al	歯科・口腔外 科	Metastatic tongue squamous cell carcinoma at a percutaneous endoscopic gastrostomy site via introducer technique	ORAL SCI INT.2024 SEP:22(1):5	Original Article
332	Iizaka K, Fukuzawa S, Uchida F, et al	歯科・口腔外 科	Styloid-stylohyoid syndrome with fibrous adhesions to the hyoid bone: A case report	J ORAL MAX SURG MED.2024 SEP:36(5):4	Original Article
333	Sawadaishi R, Yamagata K, Fukuzawa S, et al	歯科・口腔外 科	Tracheostomy stomal seeding following tongue cancer resection: A case report	ORAL SCI INT.2024 MAY:22(1):7	Original Article
334	Takaoka S, Yanagawa T, Kimura A, et al	歯科・口腔外 科	Branchio-oto-renal syndrome with submucous cleft palate: A case report	ORAL SCI INT.2024 MAY:21(2):6	Original Article
335	Takaoka S, Nemoto M, Iijima T, et al	歯科・口腔外 科	Pancreatic Adenocarcinoma Metastasizing to the Maxillary Gingiva: Report of a Rare Case and Literature Review	J MAXILLOFAC ORAL SU.2024 NOV:6	Original Article
336	Takaoka S, Fukuzawa S, Uchida F, et al	歯科・口腔外 科	A case of tongue squamous cell carcinoma with multiple metastases to the gluteal region	ORAL SCI INT.2024 MAY:21(2):6	Original Article
337	Takaoka S, Uchida F, Fukuzawa S, et al	歯科・口腔外 科	Significant tortuosity of the internal carotid artery encountered during neck dissection	ORAL SCI INT.2024 MAY:21(2):5	Original Article
338	Takaoka S, Yamagata K, Fukuzawa S, et al	歯科・口腔外 科	Foreign body in infant hard palate: A report of a rare case and literature review	J ORAL MAX SURG MED.2025 JAN:37(1):4	Review
339	Shimoda T, Takahashi K, Asayama K, et al	総合臨床教育 センター	Intrahepatic Cholangiocarcinoma With Sarcomatous Transformation: Demonstrating the Transition Zone	ACG CASE REP J.2024 OCT:11(10):5	Original Article
340	Mathis B, Ohniwa RL	国際部	Trends in emerging topics generation across countries in life science and medicine	J INFORMETR.2024 AUG:18(3):12	Original Article
341	Kumada H, Masuda A, Tanaka H, et al	陽子線医学利 用研究セン	New technologies for beam spectrometry, quality assurance, real-time monitoring and microdosimetry in BNCT	RADIAT MEAS.2024 SEP:177:14	Original Article
342	Takano T, Masuda N, Ito M, et al	乳腺甲状腺内 分泌外科	Long-term outcomes of neoadjuvant trastuzumab emtansine+trastuzumab (T-DM1+trastuzumab) and docetaxel+trastuzumab+trastuzumab (TcbHP) for HER2-positive primary breast cancer: results of the randomized phase 2 JBCRG20 study (Neo-peaks)	Breast Cancer Res Treat. 2024 Aug ; 207(1):33-48.	Original Article
343	Nakajima T, Mathis BJ, Hiramatsu Y, et al	心臓血管外科	A balanced mitral leaflet and large ring strategy avoids systolic anterior motion in Barlow's disease.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Dec ; 72(12):763-769.	Original Article
344	Soma Y, Yoshioka T, Kubota S, et al	整形外科	Single-Joint Type Hybrid Assistive Limb for Knee Training in the Acute Postoperative Phase After Opening Wedge High Tibial Osteotomy: A Feasibility and Safety Trial.	Cureus. 2024 May 11 ; 16(5):e60122. (オンライン)	Original Article
345	Uchida M, Terada N, Saito K, et al	感染症内科	Clinical and Microbiological Characteristics of Bacteremia Caused by Carbapenemase-producing Enterobacterales in Minami Ibaraki Area, Japan.	J Microorg Control. 2024 ; 29(2):81-89.	Original Article
346	Notake S, Terada N, Tayama K, et al	感染症内科	Extended-spectrum β -lactamase-producing <i>Plesiomonas shigelloides</i> isolated from the stool of a Japanese traveler returning from Rwanda: A case report.	J Infect Chemother. 2025 Jan ; 31(1):102449.	Case Report
347	Takahashi T, Yanaka K, Aiyama H, et al	脳神経外科	Enlarging neurenteric cyst at the craniocervical junction with a fluid-fluid level on magnetic resonance imaging: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Jul 8 ; 8(2):CASE24180. (オンライン)	Original Article
348	Taniguchi Y, Tamiya N, Iwagami M, et al	茨城県災害・ 地域精神医学 研究センター	Different trends in suicide rates among foreign residents in Japan and Japanese citizens during the COVID-19 pandemic.	Int J Equity Health. 2024 Jul 31 ; 23(1):150. (オンライン)	Original Article
349	Tatsumura M, Kato M, Takahashi K, et al	感染症内科	A Case of Significant Coagulopathy Due to Vitamin K Deficiency Caused by the Administration of Cefazolin and Rifampicin and Hypoalbuminemia After a Postoperative Infection of the Lumbar Spine.	Cureus. 2024 Jul 8 ; 16(7):e64076. (オンライン)	Case Report
350	Hanai S, Yanaka K, Onuma K, et al	脳神経外科	Symptomatic Cerebellar Cyst Formation after Foramen Magnum Meningioma Removal: A Case Report.	Asian J Neurosurg. 2024 Jul 11 ; 19(3):531-535. (オンライン)	Case Report
351	Sato Y, Yamazaki T, Hanai S, et al	脳神経外科	Traumatic arteriovenous fistula of the superficial temporal artery caused by massive subcutaneous hematoma prompting surgical removal and endovascular treatment in a patient with neurofibromatosis type 1.	Surg Neurol Int. 2024 Aug 16 ; 15:289. (オンライン)	Case Report
352	Takahashi T, Yanaka K, Aiyama H, et al	脳神経外科	Spontaneous asymptomatic common carotid artery dissection resembling a carotid web: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Sep 9 ; 8(11):CASE24344. (オンライン)	Original Article
353	Kanai Y, Takahashi H, Hasegawa F, et al	医学医療系小 児科学	Severe Phenotype With RECQL4 Syndrome: A Report of Two Cases.	Am J Med Genet A. 2025 Feb ; 197(2):e63884.	Case Report
354	Terakado T, Matsumaru Y, Zaboronok A, et al	脳神経外科	Safe Endovascular Recanalization of Internal Carotid Artery Occlusion Using Retrograde Aspiration Angiography.	World Neurosurg. 2024 Dec ; 192:162-169.	Case Report
355	Isomura T, Kamizawa S, Takada K, et al	放射線腫瘍科	Real-time measurement of two-dimensional LET distributions of proton beams using scintillators.	Phys Med Biol. 2024 Oct 21 ; 69(21). (オンライン)	Original Article
356	Imai T, Hashimoto H, Kanda N, et al	感染症内科	Effect of calcium channel blockers on influenza incidence: a population-based retrospective cohort study using administrative claims data in Japan.	BMJ Open. 2024 Oct 15 ; 14(10):e084092. (オンライン)	Original Article
357	Hanai S, Yanaka K, Akimoto K, et al	脳神経外科	Brainstem hemorrhage associated with venous hypertensive myelopathy without dural arteriovenous fistula: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Nov 4 ; 8(19):CASE24441. (オンライン)	Original Article
358	Yoshimoto T, Saito S, Omae K, et al	脳卒中科	Efficacy and safety of adrenomedullin for acute ischemic strokeA?(AMFIS): a phase 2, randomized, double-blinded, placebo-controlled, clinical trial.	EClinicalMedicine. 2024 Nov 13 ; 77:102901. (オンライン)	Original Article
359	Fukuzawa S, Yamagata K, Takasaki R, et al	歯科口腔外科	The effectiveness of onodera's prognostic nutritional in predicting the prognosis of tongue squamous cell carcinoma.	J Stomatol Oral Maxillofac Surg. 2025 Jun ; 126(3S):102201.	Original Article
360	Hirotsuki K, Moriya S, Tomizawa K, et al	放射線腫瘍科	Prediction and Monitoring of Adaptive Radiation Therapy Timing Using Two-dimensional X-ray Image-based Water Equivalent Thickness.	Anticancer Res. 2025 Jan ; 45(1):387-397.	Original Article
361	Kajikawa N, Yokoya S, Ozone S	総合診療科	Japanese family physicians' attitudes, difficulties, and perceived significance in managing mental health problems: A qualitative study.	J Gen Fam Med. 2024 Sep 16 ; 26(1):37-44. (オンライン)	Original Article
362	Ishikawa A, Tachikawa H, Midorikawa H, et al	茨城県災害・ 地域精神医学 研究センター	Exploring the relationship between personal and cohabiting family members' COVID-19 infection experiences and fear of COVID-19: a longitudinal study based on the Japan COVID-19 and Society Internet Survey (JACSIS).	BMJ Open. 2024 Dec 20 ; 14(12):e087595. (オンライン)	Original Article
363	Tamura K, Ogawa T, Saito T, et al	茨城県災害・ 地域精神医学 研究センター	The hikikomori population varies significantly depending on the definition used: Evidence from a survey in Kasama, Ibaraki, Japan.	Psychiatry Clin Neurosci. 2025 Apr ; 79(4):204-205.	Letter
364	Watanabe S, Shibata Y, Baba K, Kuriyama Y, Ishikawa E	脳神経外科	Idiopathic Normal-Pressure Hydrocephalus Revealed by Systemic Infection: Clinical Observations of Two Cases.	Neurol Int. 2025 May 30 ; 17(6):86.	Case Report
365	Watanabe N, Mizumoto M, Amano T, Hosoo H, Yamano A, Zaboronok A, Matsuda M, Takano S, Matsumaru Y, Ishikawa E	脳神経外科	Early Response to Radiation Therapy without Surgical Intervention in a Giant Cavernous Sinus Hemangioma with Hydrocephalus: A Case Report.	NMC Case Rep J. 2023 Nov 29 ; 10:337-342.	Case Report

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
366	Hayakawa M, Yamagami H, Matsumaru Y, Hirata K, Hosoo H, Ito Y, Marushima A, Tsuruta W, Iihara K, Ishii A, Imamura H, Sakai C, Satow T, Yoshimura S, Sakai N:	脳卒中科	JR-NET4 Study Group: Temporal trends in endovascular therapy for acute stroke in the era of modern mechanical thrombectomy: The JR-NET4 study.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2025 Jan ; 34(1):108110	Original Article
367	Watanabe S, Nonaka T, Maeda M, Yamada M, Sugii N, Hashimoto K, Takano S, Koyanagi T, Arakawa Y, Ishikawa E.	脳神経外科	Recent Status of Phase I Clinical Trials for Brain Tumors: A Regulatory Science Study of Exploratory Efficacy Endpoints.	Ther Innov Regul Sci. 2024 Jul ; 58(4):655–662.	Original Article
368	Shibata Y.	脳神経外科	Continuous Research of Headache and Migraine.	Neurol Int. 2024 Jul 22 ; 16(4):804.	Original Article
369	Watanabe S, Yamamoto M, Aiyama H, Sugii N, Matsuda M, Akutsu H, Ishikawa E.	脳神経外科	A retrospective cohort study of stereotactic radiosurgery for vestibular schwannomas: Comparison of two age groups (75 years or older vs. 65–74 years).	Surg Neurol Int. 2024 Jul 26 ; 15:257.	Original Article
370	Kubota S, Hashimoto H, Yoshikawa Y, Hiwatashi K, Ono T, Mochizuki M, Naraba H, Nakano H, Takahashi Y, Sonoo T, Nakamura K.	感染症内科	Effects of mechanical insufflation–exsufflation on ventilator–free days in intensive care unit subjects with sputum retention; a randomized clinical trial.	PLoS One. 2024 May 2 ; 19(5):e0302239.	Original Research
371	Terakado T, Ito Y, Hirata K, Sato M, Takigawa T, Marushima A, Hayakawa M, Tsuruta W, Kato N, Nakai Y, Suzuki K, Matsumaru Y, Ishikawa E.	脳神経外科	Efficacy and Safety of Lumbar Drainage before Endovascular Treatment for Ruptured Intracranial Aneurysms.	J Neuroendovasc Ther. 2024 ; 18(2):29–36.	Original Article
372	Shibata Y, Ishiyama S.	脳神経外科	Neurite Damage in Patients with Migraine	Neurol Int. 2024 Feb 29 ; 16(2):299–311.	Original Article
373	Yamano A, Matsuda M, Ishikawa E.	脳神経外科	Preoperative Vascular and Cranial Nerve Imaging in Skull Base Tumors.	Cancers (Basel). 2024 Dec 28 ; 17(1):62.	Original Article
374	Hirata K, Fujita K, Ishikawa E, Matsumaru Y.	脳卒中科	The efficacy and safety of the internal medication therapy of the triple drugs for chronic subdural hematoma: Retrospective analysis.	Clin Neurol Neurosurg. 2024 Sep ; 244:108434.	Original Article
375	Ito Y, Hosoo H, Marushima A, Matsumaru Y, E Ishikawa.	脳卒中科	Temporal muscle swelling after clipping surgery with frontotemporal craniotomy is associated with immediate post–craniotomy headache.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 Apr 15 ; 64(4):168–174.	Original Article
376	Sato Y, Yamazaki T, Hanaï S, Watanabe D, Kato N, Kasai T, Zaboronok A, Ishikawa E.	脳神経外科	Traumatic arteriovenous fistula of the superficial temporal artery caused by massive subcutaneous hematoma prompting surgical removal and endovascular treatment in a patient with neurofibromatosis type 1.	Surg Neurol Int. 2024 Aug 16 ; 15:289.	Case Report
377	Ito Y, Hosoo H, Sato M, Marushima A, Hayakawa M, Matsumaru Y, Ishikawa E:	脳卒中科	Evaluation of Venous Structures that Are Involved in Transsylvian Approach Using 3D Rotational Venography.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2023 Dec 15 ; 63(12):555–562.	Original Article
378	Ikechi D, Nakano H, Nakanishi N, Fujita T, Watanabe N, Koyama Y, Hashimoto H, Nakamura K.	感染症内科	Acute muscle loss assessed using panoramic ultrasound in critically ill adults: a prospective observational study.	J Med Ultrason (2001). 2024 Apr ; 51(2):355–362.	Original Article
379	Okune S, Hayakawa M, Hino T, Hiramine T, Akimoto T, Sato M, Ito Y, Marushima A, Takada T, Ishikawa E, Tamaoka A, Matsumaru Y:	脳卒中科	Transient Hemichorea-hemiballism Induced by a Combination of Postprandial Hypotension and Severe Stenosis of the Innominate Artery Concomitant with Left Carotid Occlusion	Intern Med. 2024 Feb 15 ; 63(4):577–582.	Original Article
380	Hirata K, Tsuda K, Fujita K, Ishikawa E, Matsumaru Y:	脳卒中科	Transvenous Embolization for Isolated Superior Petrosal Sinus Dural Arteriovenous Fistula.	NMC Case Rep J. 2024 Jan 16 ; 11:7–11.	Case Report
381	Yoshimoto T, Saito S, Omae K, Tanaka K, Kita T, Kitamura K, Fukuma K, Washida K, Abe S, Ishiyama H, Yamaguchi E, Yamagami H, Nagatsuka K, Tsuji M, Minami M, Yamamoto H, Hattori Y, Tanaka T, Ihara M.	脳卒中科	Efficacy and safety of adrenomedullin for acute ischemic stroke (AMFIS): a phase 2, randomized, double–blinded, placebo–controlled, clinical trial.	EClinicalMedicine. 2024 Nov 13 ; 77:102901.	Original Article
382	Imai T, Hashimoto H, Kanda N, Sasabuchi Y, Matsui H, Yasunaga H, Hatakeyama S	感染症内科	Effect of calcium channel blockers on influenza incidence: a population–based retrospective cohort study using administrative claims data in Japan	BMJ Open. 2024 Oct 15 ; 14(10):e084092	Original Research
383	Yoshimoto T, Toyoda K, Yoshimura S, Wada S, Ihara M, Miyazaki J, Miwa K, Yoshie T, Miyamoto Y, Kobayashi S, Minematsu K, Koga M: Japan Stroke Data Bank Investigators.	脳卒中科	Outcomes in ischemic and hemorrhagic stroke patients with cancer: The Japan Stroke Data Bank.	J Neurol Sci. 2024 Nov 15 ; 466:123234.	Original Article
384	Mathis BJ	心臓血管外科	Understanding the Gut–Heart axis in Roemheld syndrome: mechanisms and clinical insights.	Encyclopedia2024. 4(4). 1721–1738	Original Article
385	Miyahara H, Oya K, Kubota N, Ishii N, Nomura T.	皮膚科	Pemphigoid without mucous involvement showing IgG antibodies to the β 3 subunit of laminin–332	J Dtsch Dermatol Ges. 2024 Apr ; 22(4):570–573.	Case Report
386	Adachi–Katayama M, Hashimoto H, Hagiwara S, Yamashita M, Mihara Y, Kanematsu A, Otani A, Wakimoto Y, Oyabu T, Jubishi D, Okamoto K, Harada S, Akamatsu N, Hoshino Y, Okugawa S, Hasegawa K, Moriya K.	感染症内科	Pulmonary Nocardiosis Due to Nocardia exalbida Infection Following Living–donor Liver Transplantation	Intern Med 64: 965–969, 2025	Case Repots
387	Konishi R, Ichimura Y, Tanaka R, Miyahara H, Okune M, Miyamoto M, Hara M, Iwabuchi A, Takada H, Nakagishi Y, Mizuta M, Kaneko S, Shimizu M, Morio T, Nishino I, Nomura T, Okiyama N.	皮膚科	Possible correlation between serum interleukin–8 levels and the activity of myositis in anti–NXP2 antibody–positive dermatomyositis	Immunol Med. 2024 Jun ; 47(2):100–105	Original Article
388	Takano T, Masuda N, Ito M, Inoue K, Tanabe Y, Kawaguchi K, Yasojima H, Bando H, Nakamura R, Yamanaka T, Ishida K, Aruga T, Yanagita Y, Tokunaga E, Aogi K, Ohno S, Kasai H, Kataoka R, T, Morita S, Toi M.	乳腺甲状腺内 分泌外科	Long–term outcomes of neoadjuvant trastuzumab emtansine+?pertuzumab (T–DM1+?P) and docetaxel+?carboplatin+?trastuzumab+?pertuzumab (TCbHP) for HER2–positive primary breast cancer: results of the randomized phase 2 JBCRG20 study (Neo–peaks)	Breast Cancer Research and Treatment, Volume 207, May 2024	Original Article
389	Amadearu A, Kubota N, Ogawa R, Furuta J, Ishii Y, Nomura T.	皮膚科	Wells syndrome confined to the back of the hands mimicking contact dermatitis	J Dermatol. 2024 Jun ; 51(6):e188–e189	Case Report
390	Kawase K, Okamoto K, Harada S, Nomura Y, Shimada S, Komae H, Kuroda R, Ideyama M, Soma K, Mizoguchi M, Higurashi Y, Ukai K, Adachi–Katayama M, Miwa T, Wakimoto Y, Oyabu T, Jubishi D, Hashimoto H, Okugawa S, Ono M, Doi K, Ushiku T, Tsutsumi T.	感染症内科	A case of hypervirulent K1–ST23 Klebsiella pneumoniae endocarditis and papillary muscle rupture secondary to multiple site abscesses	Journal of Infection and Chemotherapy Volume 30, Issue 2, February 2024, Pages 154–158”	Case Repots
391	Kakurai M, Kubota N, Harada K, Nomura T.	皮膚科	An unusual presentation of sporotrichosis with multiple fixed papulonodular skin lesions	J Dermatol. 2024 Apr ; 51(4):e133–e134.	Case Report

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
392	Saldajeno, Don Pietro, Kawaoka S, Masuda N, Tanaka S, Bando H, Nishimura T, Kadoya T, Yamanaka T, Imoto S, Velaga, Ravindranath M, Tamura N, Aruga T, Ikeda K, Fukui Y, Maeshima Y, Takada M, Suzuki E, Ueno T, Ogawa S, Haga H, Ohno S, Morita S, Kawaguchi K, Toi M.	乳腺甲状腺内 分泌外科	Time-series blood cytokine profiles correlate with treatment responses in triple-negative breast cancer patients	British journal of cancer volume130(6),April 2024	Original Article
393	Hirota K, Tomizawa K, Kitou S, Jinno S, Moriya S, Fujisawa T, Zenda S, Sakae T, Ito M	放射線腫瘍科	Dosimetric Comparison of Noncoplanar VMAT Without Rotating the Patient Couch Versus Conventional Coplanar/Noncoplanar VMAT for Head and Neck Cancer: First Report of Dynamic Swing Arc	Advances in Radiation Oncology, 2025 March	Original Article
394	Norihiko Terada , Shigemitsu Hitomi , Hanako Kurai	感染症内科	Identification of causative and non-causative microorganisms of nephrostomy tube-associated pyelonephritis among patients with malignancy	Journal of Infection and Chemotherapy 2025/02	Original Article
395	Hirota K, Moriya S, Tomizawa K, Wakabayashi M, Motegi A, Ito M, Sakae T.	放射線腫瘍科	Prediction and Monitoring of Adaptive Radiation Therapy Timing Using Two-dimensional X-ray Image-based Water Equivalent Thickness	ANTICANCER RESEARCH, 2025 January	Original Article
396	Yanase Y, Bando H, Sato R, Matsuo T, Ueda A, Okazaki M, Hashimoto S, Iguchi-Manaka A, Hara H	乳腺甲状腺内 分泌外科	Recurrent severe hypocalcemia following chemotherapy regimen changes in advanced breast cancer: two case reports	Journal of Medical Case Reports volume 18, Article number: 150,March 2024	Case Report
397	Isomura T, Kamizawa S, Takada K, Mori Y, Sakae T.	放射線腫瘍科	Real-time measurement of two-dimensional LET distributions of proton beams using scintillators	Physics in Medicine & Biology, 2024 October 21	Original Article
398	Hanako Miyahara , Enmi Yamada , Sawako Kiyohara , Shijima Taguchi , Mikiro Kato	感染症内科	Successful Treatment of Cutaneous Mycobacterium chelonae Infection in an Immunocompromised Patient Using Moxifloxacin and Clarithromycin(モキシフロキサシンとクラリスロマイシンを用いた免疫不全患者における皮膚Mycobacterium chelonae感染症の治療成功)	Cureus. 2024 Dec 30 ; 16(12):e76628.	Case Repots
399	Shibuki S, Saïda T, Mori M, Ishiguro T, Amano T, Yoshida M, Miyata M, Sato T, Nakajima T	放射線診断・ IVR	Diagnostic Imaging Performance of Dual-Energy Computed Tomography Compared with Conventional Computed Tomography and Magnetic Resonance Imaging for Uterine Cervical Cancer.	Indian J Radiol. Imaging DOI: 10.1055/s-0044-1787780	Original Article
400	Inoue K, Machino-Ohtsuka, Tomoko, Nakazawa Y, Iida N, Sasamura R, Bando H, Chiba S, Tasaka N, Ishizu T, Murakoshi N, Xu Dongzhu, Sekine I, Tajiri K.	乳腺甲状腺内 分泌外科	Early Detection and Prediction of Anthracycline-Induced Cardiotoxicity- A Prospective Cohort Study	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society,March 2024	Original Article
401	Shibuki S, Saïda T, Hoshiai H, Ishiguro T, Sakai M, Amano T, Abe T, Yoshida M, Mori K, Nakajima T	放射線診断・ IVR	Imaging findings in inflammatory disease of the genital organs.	Jpn J Radiol. 2024 Apr ; 42(4):331-346. doi: 10.1007/s11604-023-01518-8.	Original Article
402	Masaki Tatsumura , Mikiro Kato , Kei Takahashi , Toru Funayama	感染症内科	A Case of Significant Coagulopathy Due to Vitamin K Deficiency Caused by the Administration of Cefazolin and Rifampicin and Hyponutrition After a Postoperative Infection of the Lumbar Spine(セファゾリンとリファンピシンの投与によるビタミンK欠乏と、術後感染後の低栄養により、重篤な凝固障害を呈した症例)	Cureus. 2024 Jul 8 ; 16(7):e64076.	Case Repots
403	Ikeda K, Ogawa T, Ikumi A, Yoshii Y, Kohyama S, Ikeda R, Yamazaki M	整形外科	Magnetic resonance imaging predicts outcomes of conservative treatment in patients with lateral epicondylitis.	J Orthop Sci. 2024 May ; 29(3):795-801	Original Article
404	Suma S, Suehara Y, Fujisawa M, Abe Y, Hattori K, Makishima K, Sakamoto T, Sawa A, Bando H, Kaji D, Sugio T, Kato K, Akashi K, Matsue K, Joaquim Carreras, Nakamura N, Suzuki A, Suzuki Y, Ito K, Shiiba H, Chiba S, & Mamiko Sakata-Yanagimoto.	乳腺甲状腺内 分泌外科	Tumor heterogeneity and immune-evasive T follicular cell lymphoma phenotypes at single-cell resolution	SPRINGER NATURE, Leukemia 38,February 2024	Original Article
405	Kikuchi N, Kanamori A, Okuno K, Yamazaki M.	整形外科	Weight-bearing line at the ankle joint level shifted laterally after total knee arthroplasty for varus knee osteoarthritis: Evaluation of the hip-to-calcaneus line.	Orthop Traumatol Surg Res. 2024 Apr ; 110(2):103690.	Original Article
406	Yoshihiko Kiyasu , Shuichi Osawa , Norimasa Tsutsumi , Norihiko Terada , Noriko Nagata	感染症内科	Distribution of ticks and their possession of spotted fever group Rickettsia in Ibaraki prefecture.(茨城県におけるマダニの分布と紅斑熱群リケツチア保有状況)	J Infect Chemother. 2024 Jul ; 30(7):590-596.	Original Article
407	Soma Y, Yoshioka T, Kubota S, Sugaya H, Shimizu Y, Hada Y, Yamazaki M	整形外科	Single-Joint Type Hybrid Assistive Limb for Knee Training in the Acute Postoperative Phase After Opening Wedge High Tibial Osteotomy: A Feasibility and Safety Trial.	Cureus. 2024 May 11 ; 16(5):e60122	Original Article
408	Hamano J, Higashibata T, Kessoku T, Kajiura S, Hirakawa M, Oyamada S, Ariyoshi K, Yamada T, Yamamoto Y, Takashima Y, Doki K, Homma M, Mathis BJ, Jono T, Ogata T, Tanaka K, Kasai Y, Iwaki M, Fuyuki A, Nakajima A, Hayashi R, Ando T, Izawa N, Kobayashi Y, Horie Y, Morita T.	総合診療科	Naldemedine for Opioid-Induced Constipation in Patients With Cancer: A Multicenter, Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled Trial	J Clin Oncol. 2024 Dec 10 ; 42(35):4206-4217. doi: 10.1200/JCO.24.00381. Epub 2024 Sep 10.	Original Article
409	Okuwaki S, Kotani T, Sunami T, Sakuma T, Iijima Y, Okuyama K, Akazawa T, Inage K, Shiga Y, Minami S, Ohtori S, Yamazaki M	整形外科	Associated factors and effects of coronal vertebral wedging angle in thoracic adolescent idiopathic scoliosis.	J Orthop Sci. 2024 May ; 29(3):704-710.	Original Article
410	Takahashi Y, Nakano H, Motoki M, Wakimoto Y, Ikechi D, Koyama Y, Hashimoto H.	感染症内科	Successful use of methylene blue for catecholamine-refractory vasoplegic shock due to metformin intoxication: A case report and literature review.(メトホルミン中毒によるカテコラミン抵抗性血管麻痺性ショックに対するメチレンブルーの使用成功??効:症例報告および文献レビュー。)	Acute Med Surg. 2024 Jul 15 ; 11(1):e981.	Case Repots
411	Shimizu Y, Mori T, Yoshikawa K, Katane D, Torishima H, Hara Y, Yozu A, Yamazaki M, Hada Y, Mutsuzaki H.	リハビリテー ション科	Developing a Novel Prosthetic Hand with Wireless Wearable Sensor Technology Based on User Perspectives: A Pilot Study	Sensors (Basel). 2024 Apr 26 ; 24(9):2765.	Original Article
412	Hamano J, Takeuchi A, Keyaki T, Nose H, Hayashi K.	総合診療科	Optimal Machine Learning Models for Developing Prognostic Predictions in Patients With Advanced Cancer	Cureus. 2024 Dec 22 ; 16(12):e76227. doi: 10.7759/cureus.76227. eCollection 2024 Dec.	Original Article
413	Uchida M, Terada N, Saito K, Ishikawa H, Funayama Y, Oishi T, Shinohara H, Ebihara T, Kurihara Y, Hitomi S.	感染症内科	Clinical and Microbiological Characteristics of Bacteremia Caused by Carbapenemase-producing Enterobacterales in Minami Ibaraki Area, Japan.(南茨城地域におけるカルバペネマーゼ産生腸内細菌による菌血症の臨床的および微生物学的特徴。)	J Microorg Control. 2024 ; 29(2):81-89.	Original
414	Hashimoto E, Nagasaki K.	総合診療科	The Masquerade of Myocardial Infarction as Gastroenteritis: A Diagnostic Challenge	Cureus. 2024 Apr 17 ; 16(4):e58441. doi: 10.7759/cureus.58441. eCollection 2024 Apr.	Case Report

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
415	Ishii J, Nishikimi M, De Bus L, De Waele J, Takaba A, Kuriyama A, Kobayashi A, Tanaka C, Hashi H, Hashimoto H, Nishiki H, Shibata M, Kanamoto M, Inoue M, Hashimoto S, Katayama S, Fujiwara S, Kameda S, Shindo S, Komuro T, Kawagishi T, Kawano Y, Fujita Y, Kida Y, Hara Y, Yoshida H, Fujitani S, Shime N; DIANA study Japanese group.	感染症内科	No improvement in mortality among critically ill patients with carbapenems as initial empirical therapy and more detection of multi-drug resistant pathogens associated with longer use: a post hoc analysis of a prospective cohort study(カルバペネムを初期経験療法として使用した重症患者の死亡率の改善は見られず、使用期間の延長に伴い多剤耐性病原体の検出数が増える：前向きコホート研究の事後分析)	Microbiol Spectr. 2024 Jul 2 ; 12(7):e0034224.	Observational Study
416	Kajikawa N, Yokoya S, Ozone S.	総合診療科	Japanese family physicians' attitudes, difficulties, and perceived significance in managing mental health problems: A qualitative study	J Gen Fam Med. 2024 Sep 16 ; 26(1):37-44. doi: 10.1002./jgf2.731. eCollection 2025 Jan.	Original Article
417	Imai T, Kato N, Kanda N, Hashimoto H, Yamana H, Hatakeyama S.	感染症内科	Risk of Urogenital Bacterial Infection with Sodium-Glucose Cotransporter-2 Inhibitors: A Retrospective Cohort Study Using a Claims Database.	Diabetes Ther. 2024 Aug ; 15(8):1821-1830.	Original Research
418	Nin S, Sun Y, Maeno T, Nishiura C, Taira K, Fujimoto K, Hamano J, Ozone S, Maeno T.	総合診療科	Association between chronic diseases and severe periodontal disease progression: A retrospective cohort study in a city of Japan	J Gen Fam Med. 2024 Oct 4 ; 26(1):54-64. doi: 10.1002./jgf2.734. eCollection 2025 Jan.	Original Article
419	Notake S, Terada N, Tayama K, Sugie A, Abe M, Ikeda S, Iinuma H, Toeda Y, Ueda A, Nakamura K, Kurihara Y, Hitomi S.	感染症内科	Extended-spectrum β -lactamase-producing Plesiomonas shigelloides isolated from the stool of a Japanese traveler returning from Rwanda: A case report.	J Infect Chemother. 2024 Jun 19:S1341-321X(24)00167-3.	Case Repots
420	Sun Y, Sakata N, Iwagami M, Yoshie S, Inokuchi R, Hamano J, Tamiya N.	総合診療科	Regional Disparities in Japan's Home Healthcare Resources: A Retrospective Observational Study Using Nationwide Data from 2014 to 2020	J Gen Intern Med. 2025 Jan 7. doi: 10.1007/s11606-024-09285-6. Online ahead of print.	Letter
421	Nakamura K, Takahashi Y, Yanai Y, Miyagi T, Nakano H, Koyama Y, Hashimoto H.	感染症内科	Fat-free oral nutritional supplements for patients after acute illness: A prospective observational study.	JOURNAL OF CLINICAL BIOCHEMISTRY AND NUTRITION巻76号1	Article
422	Sun Y, Sakata N, Iwagami M, Yoshie S, Inokuchi R, Ito T, Kuroda N, Hamano J, Tamiya N.	総合診療科	Regional disparities in home health care utilization for older adults and their associated factors at the secondary medical area level: A Nationwide study in Japan	Geriatr Gerontol Int. 2024 Dec ; 24(12):1350-1361. doi: 10.1111/ggi.15011. Epub 2024 Nov 10.	Original Article
423	Endo G, Kanai S, Nishio H, Hashimoto H, Higurashi Y, Nomura Y, Nakai Y, Fujishiro M.	感染症内科	Kluyvera georgiana Bacteremia Due to Acute Cholangitis: A Report of the First Known Case and a Literature Review	Intern Med. 2024 Oct 1 ; 63(19):2689-2693.	Case Repots
424	Sun Y, Masuda R, Taniguchi Y, Iwagami M, Sakata N, Yoshie S, Komiyaama J, Yamagishi K, Kihara T, Watanabe T, Takahashi H, Iso H, Tamiya N.	総合診療科	Characteristics of cancer patients dying at home during the COVID-19 pandemic: A study based on vital statistics from 2015 to 2022 in Japan	J Gen Fam Med. 2024 Aug 27 ; 25(6):358-365. doi: 10.1002./jgf2.724. eCollection 2024 Nov.	Original Article
425	Hirayama K, Kanda N, Hashimoto H, Yoshimoto H, Goda K, Mitsutake N, Hatakeyama S.	感染症内科	Antibiotic Prescription Trends in Dentistry: A Descriptive Study Using Japan's National Database.	J Public Health Dent. 2025 Jun ; 85(2):153-159.	Original Article
426	Sun Y, Iwagami M, Inokuchi R, Sakata N, Ito T, Taniguchi Y, Yoshie S, Tamiya N.	総合診療科	Change in the Proportion of Death at Home during the COVID-19 Pandemic and Its Associated Factors in the Municipality Level: A Nationwide Study in Japan	JMA J. 2024 Apr 15 ; 7(2):213-221. doi: 10.31662/jmaj.2023-0165. Epub 2024 Mar 18.	Original Article
427	Norihiko Terada,Taku Sawafuji	感染症内科	Syphilitic Hepatitis	Internal Medicine2024 Nov 15 ; 63(22):3117-3118.	Case Repots
428	Anastasiev A, Kadone H, Marushima A, Watanabe H, Zaboronok A, Watanabe S, Matsumura A, Suzuki K, Matsumaru Y, Ishikawa E	脳神経外科	Empirical Myoelectric Feature Extraction and Pattern Recognition in Hemiplegic Distal Movement Decoding.	Bioengineering (Base). 2023 Jul 21 ; 10(7):866.	Original Article
429	Jun Hamano	緩和ケアセンター	[Community-Based Comprehensive Care System and Cancer Treatment Coordination System from the Viewpoint of Designated Cancer Hospitals]	Gan To Kagaku Ryoho. 2024 May ; 51(5):491-494.	Original Article
430	Fujimoto A, Matsumaru Y, Masuda Y, Sato K, Hatano K, Numoto S, Hotta R, Marushima A, Hosoo H, Araki K, Okanishi T, Ishikawa E	脳神経外科	Endovascular electroencephalography (eEEG) can detect the laterality of epileptogenic foci as accurately as subdural electrodes.	Heliyon.2024 Feb 1 ; 10(3):e25567.	Original Article
431	Tomioka M, Murakami T, Okamoto F, Kinoshita T, Shinomiya K, Nishi T, Jujo T, Obata S, Tsukitome H, Ogura S, Ueda K, Ishii R, Oshika T.	眼科	Five-year visual outcome of treatment for retinopathy of prematurity in infants weighing <500 g at birth: A Multicenter Cohort Study From J-CREST.	Retina 44(4):652-658, 2024.	Original Article
432	Goto M, Shibata Y, Ishiyama S, Matsumaru Y, Ishikawa E.	脳神経外科	Brain Microstructure and Brain Function Changes in Space Headache by Head-Down-Tilted Bed Rest.	Aerosp Med Hum Perform. 2023 Sep 1 ; 94(9):678-685.	Original Article
433	Oshika T, Nishina S, Unoki N, Miyagi M, Nomura K, Mori T, Matsuki N, Endo T, Kurosaka D, Negishi K, Yoshida S, Nagamoto T.	眼科	Ten-year outcomes of congenital cataract surgery performed within the first six months of life.	J Cataract Refract Surg 50(7):707-712, 2024.	Original Article
434	Hanai S, Yanaka K, Akimoto K, Marushima A, Nakamura K, Takahashi N, Matsumaru Y, Ishikawa E.	脳神経外科	Brainstem hemorrhage associated with venous hypertensive myelopathy without dural arteriovenous fistula: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Nov 4 ; 8(19):CASE24441.	Case Report
435	Yokoyama Y	血液内科	Risk factors and remaining challenges in the treatment of acute promyelocytic leukemia.	Int J Hematol 120(5):548-555, Nov, 2024 (doi: 10.1007/s12185-023-03696-7.)	Review
436	Hanai S, Yanaka K, Onuma K, Nakamura K, Kajita M, Aiyama H, Ishikawa E.	脳神経外科	Symptomatic Cerebellar Cyst Formation after Foramen Magnum Meningioma Removal: A Case Report.	Asian J Neurosurg. 2024 Jul 11 ; 19(3):531-535	Case Report
437	Taniguchi Y, Tamiya N, Iwagami M, Yamagishi K, Miyawaki A, Masuda R, Kihara T, Komiyaama J, Tachikawa H, Takahashi H, Iso H	茨城県災害・地域精神医学研究センター	Different trends in suicide rates among foreign residents in Japan and Japanese citizens during the COVID-19 pandemic.	Int J Equity Health. 2024 Jul 31 ; 23(1):150. doi: 10.1186/s12939-024-02234-z.	Original Article
438	Hidano A, Sugii N, Ishikawa E.	脳神経外科	Newly emerged T2 high-signal intensity area mimicking oligodendroglioma expansion on intraoperative magnetic resonance imaging: A case report.	Radiol Case Rep. 2024 Aug 19 ; 19(11):5038-5043.	Case Report
439	Wataya K, Ujihara M, Kawashima Y, Sasahara S, Takahashi S, Matsura A, Lebowitz A, Tachikawa.H	茨城県災害・地域精神医学研究センター	Development of the Japanese Version of Rushton Moral Resilience Scale (RMRS) for Healthcare Professionals: Assessing Reliability and Validity.	J of Nursing Management. 2024. ID 7683163. doi.org/10.1155/2024/7683163	Original Article
440	Kajita M, Yanaka K, Takeda H, Saura M, Takahashi T, Aiyama H, Saiki S, Ishikawa E.	脳神経外科	Isolated choroid plexus infarction caused by multiple occlusive cerebrovascular lesions.	Radiol Case Rep. 2024 Sep 7 ; 19(12):5633-5638.	Case Report
441	Ishikawa A, Tachikawa H, Midorikawa H, Tabuchi T.	茨城県災害・地域精神医学研究センター	Exploring the relationship between personal and cohabiting family members' COVID-19 infection experiences and fear of COVID-19:a longitudinal study based on the Japan COVID-19 and Society Internet Survey (JACSIS).	BMJ Open. 2024 Dec 20 ; 14(12):e087595. doi: 10.1136/bmjopen-2024-087595.	Original Article
442	Kohzuki H, Ito H, Kurokawa H, Matsui H, Yamamoto T, Ishikawa E.	脳神経外科	Reactive oxygen species induced by indomethacin enhance accumulation of heme carrier protein 1 and hematoporphyrin accumulation in vitro and in vivo in a brain tumor model.	J Clin Biochem Nutr. 2024 May ; 74(3):207-212.	Original Article

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
443	Tamura K, Ogawa T, Saito T, Shiratori Y, Yaguchi C, Midorikawa H, Aiba M, Sugawara D, Hori T, Tachikawa H	茨城県災害・地域精神医学研究センター	The hikikomori population varies significantly depending on the definition used: Evidence from a survey in Kasama, Ibaraki, Japan.	Psychiatry and Clinical Neurosciences. 2025 Feb 7.doi.org/10.1111/pcn.13783.	Original Article
444	Nishimura M, Fujimoto A, Okanishi T, Masuda Y, Araki K, Enoki H, Ishikawa E.	脳神経外科	Combining three-phase EEG pattern and ipsilateral isolated eye deviation to predict seizure focus in the frontal interhemispheric fissure.	Epilepsy Behav. 2025 Jan ; 162:110175.	Original Article
445	Wataya K, Tachikawa H, Nemoto K, Sasahara S, Oi Y, Doki S, Hori D, Hirai K, Takahashi S, Arai T	茨城県災害・地域精神医学研究センター	Association between occupational stress and mental health in healthcare workers during the Coronavirus pandemic in 2019.	Cureus. 2025 Mar 22: 17(3): e81007. DOI 10.7759/cureus.81007	Original Article
446	Takahashi T, Yanaka K, Aiyama H, Saura M, Kajita M, Takahashi N, Marushima A, Matsumaru Y, Ishikawa E.	脳神経外科	Spontaneous asymptomatic common carotid artery dissection resembling a carotid web: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Sep 9 ; 8(11):CASE24344.	Case Report
447	Fukuzawa S, Yamagata K, Takasaki R, Uchida F, Ishibashi-Kanno N, Bukawa H.	歯科口腔外科	The effectiveness of onodera's prognostic nutritional in predicting the prognosis of tongue squamous cell carcinoma.	J Stomatol Oral Maxillofac Surg. 2025 Jun ; 126(3S):102201. doi: 10.1016/j.jormas.2024.102201.	Original article
448	Takahashi T, Yanaka K, Aiyama H, Saura M, Kajita M, Takahashi N, Onuma K, Ishikawa E.	脳神経外科	Enlarging neurenteric cyst at the craniocervical junction with a fluid-fluid level on magnetic resonance imaging: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Jul 8 ; 8(2):CASE24180.	Case Report
449	Fukuzawa S, Yamagata K, Uchida F, Endo M, Sakamoto N, Bukawa H.	歯科口腔外科	A Case of Cholangitis as a Nivolumab-Induced Immune-Related Adverse Event in a Patient with Pulmonary Metastasis After Surgery for Oral Cancer.	J Maxillofac Oral Surg. 2024 Aug ; 23(4):979-983. doi: 10.1007/s12663-023-01976-7.	Case report
450	Takahashi T, Yanaka K, Aiyama H, Saura M, Kajita M, Takahashi N, Onuma K, Ishikawa E.	脳神経外科	Significance of upper cervical epidural venous engorgement on head computed tomography in the initial diagnosis of spontaneous intracranial hypotension: patient series.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Feb 26 ; 7(9):CASE23702.	Original Article
451	Yamada Y, Sato K, Yamamoto M, Nabeta T, Naruse Y, Taniguchi T, Kitai T, Yoshioka K, Tanaka H, Okumura T, Baba Y, Fujimoto Y, Matsue Y, Komatsu Y, Nogami A, Ishizu T.	循環器内科	Association Between Right Bundle Branch Block and Ventricular Arrhythmia in Patients With Cardiac Sarcoidosis.	JACC Adv. 2024 Jul 12 ; 3(8):101105.	original article
452	Terakado T, Matsumaru Y, Zaboronok A, Ishikawa E.	脳神経外科	Safe endovascular recanalization of internal carotid artery occlusion using retrograde aspiration angiography.	World Neurosurg. 2024 Dec ; 192:162-169.	Original Article
453	Yamamoto M, Yamada Y, Sadahiro T, Sato K, Machino-Ohtsuka T, Murakoshi N, Ieda M, Ishizu T	循環器内科	Diagnostic Value of Combined Light and Electron Microscopic Examination in Endomyocardial Biopsy in Patients with Cardiac Amyloidosis	Can J Cardiol. 2024 Nov 12:S0828-282(24)01135-8.	original article
454	Tsukada A, Hirata K, Tsuda K, Fujita K, Yanaka K, Ishikawa E.	脳神経外科	Early Resolution of Abnormal Vascular Networks After Superficial Temporal Artery to Middle Cerebral Artery (STA-MCA) Bypass Surgery for Twig-Like Middle Cerebral Artery With Intracerebral Hemorrhage: A Case Report.	Cureus. 2024 Oct 30 ; 16(10):e72740.	Case Report
455	Yaguchi T, Watabe H, Hiraya D, Hoshi T, and Ishizu T	循環器内科	Direct visualization of cardiac and pulmonary artery tumors and intra-cardiac biopsy with non-obstructive general angioscopy	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2024 Sep 2jeae234.	case report
456	Shinoda Y, Komatsu Y, Hattori M, Oda Y, Iio K, Hanaki Y, Yamasaki H, Igarashi M, Ishizu T, Nogami A	循環器内科	Optimal Cardiac Rhythm during Substrate Mapping in Scar-Related Ventricular Tachycardia: Significance of Wavefront Direction on Identifying Critical Sites.	Heart Rhythm 2024 Aug ; 21(8):1298-1307.	original article
457	Inoue K, Machino-Ohtsuka T, Nakazawa Y, Iida N, Sasamura R, Bando H, Chiba S, Tasaka N, Ishizu T, Murakoshi N, Dongzhu Xu, Sekine I, Tajiri K.	循環器内科	Early Detection and Prediction of Anthracycline-Induced Cardiotoxicity — A Prospective Cohort Study	Circulation Journal 2024 Apr 25 ; 88(5):751-759.	original article
458	Fukushima H, Suzuki R, Yamaki Y, et al.	医学医療系小児科学	Respiratory dysfunction in childhood cancer survivors: A single institution study	Pediatr Int. 2024 Jan-Dec ; 66(1):e15801.	Original article
459	Kanai Y, Takahashi H, Hasegawa F, et al.	医学医療系小児科学	Severe Phenotype With RECQL4 Syndrome: A Report of Two Cases.	Am J Med Genet A. 2025 Feb ; 197(2):e63884.	Original article
460	Nishino M, Tanaka M, Imagawa K, et al.	筑波大学附属病院	Identification of a novel splice-site WWOX variant with paternal uniparental isodisomy in a patient with infantile epileptic encephalopathy.	Am J Med Genet A. 2024 Jul ; 194(7):e63575.	Original article
461	Nagafuji M, Fujiyama S, Ishii R, et al.	筑波大学附属病院	Effect of maturation at birth on the clinical features of neonatal cow's milk protein allergy: A retrospective study.	J Pediatr Gastroenterol Nutr. 2024 Jul ; 79(1):48-53.	Original article
462	Tomoaki Furuta,Katsuji Hisakura,Koichi Ogawa,Yoshimasa Akashi,Jaejeong Kim,Tatsuya Oda	消化器外科	Multi-stage surgery to treat oesophageal fistula that developed after chemoradiotherapy in two patients with oesophageal cancer: A case report	International Journal of Surgery Case Reports 2024 May;118:109460	Case Reports
463	Nakajima T	心臓血管外科	A balanced mitral leaflet and large ring strategy avoids systolic anterior motion in Barlow's disease	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Dec ; 72(12):763-769	Original Article

計463件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合には、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文を、論文の著者数に含めるものとする。
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）；巻数：該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例： Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec（オンライン）
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
1	湯原 美貴子,小林 真理子, 小島 丈心 他	消化器内科	完全内臓逆位症患者に対する経皮的内視鏡下瘻造設術の施行例	Progress of Digestive Endoscopy ; 2024.06:104:76-77	Original Article
2	高橋 一広,古屋 欽司,中橋 宏充 他	消化器外科	"Nephron mass" 定量から予測する生体腎移植術後腎機能 CT vs 病理	日本臨床腎移植学会雑誌 ; 2024.12:12:201-208	Original Article
3	高橋 一広,古屋 欽司,中橋 宏充 他	消化器外科	CD4T細胞が血液型不適合腎移植後のB cell toleranceに関与する遺伝子の探索	BIO Clinica ; 2025.01:40:1342-1343	Original Article
4	小澤 優,森島 祐子,中村 研太 他	呼吸器内科	喘息に合併し,運動誘発喘息との鑑別を要した運動誘発性喉頭閉塞症の1例	日本呼吸器学会誌 ; 2024.09:13:245-249	Original Article
5	坂東 裕子,飯田 真由美,谷 澤 欣則 他	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	ホルモン受容体陽性・ヒト上皮成長因子受容体2型陰性乳癌の内分泌療法における治療選好とアンメットニーズ 患者・医師サーベイ研究	新薬と臨床 ; 2024.09:73:855-881	Original Article
6	佐藤 璃子,坂東 裕子,澤 文 他	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	ホルモン受容体陽性乳癌の術後内分泌療法によるホットフラッシュに対するマネジメント	乳癌の臨床 ; 2024.08:39:337-345	Review
7	佐藤 璃子,岡崎 舞,渡邊 瑞穂 他	乳腺・甲状腺・ 内分泌外科	リンパ節内リンパ管造影検査が頸部郭清後乳糜漏の漏出部位特定に有用であった甲状腺癌の1例	日本内分泌外科学会雑誌 ; 2024.12:41:317-321	Original Article
8	上原 偉,錦井 秀和,末原 泰人 他	血液内科	BTK阻害薬が著効したMYD88変異クローンを発生母地とした再発難治形質転換B細胞リンパ腫	臨床血液 ; 2024.11:65:1368-1374	Original Article
9	大矢 和正,中村 貴之,沖山 奈緒子 他	皮膚科	自己免疫疾患で生じる皮膚炎の加齢で変化する病態制御機構	加齢皮膚医学セミナー ; 2024.12:19:9-15	Review
10	岩田 匡祐,久保田 典子,石 井 良征 他	皮膚科	【環状の紅斑と環状紅斑】環状を呈した抗PD-1抗体による蕁癩型薬疹	皮膚病診療 ; 2024.06:46:508-511	Original Article
11	高野 彩,井上 紗恵,乃村 俊史 他	皮膚科	【熱傷】両下肢に生じたセメント熱傷の1例	皮膚科の臨床 ; 2024.07:66:1052-1053	Original Article
12	加倉井 真主,久保田 典子, 石井 良征 他	皮膚科	全身性エリテマトーデスに合併した両側下腿のDystrophic Calcinosis Cutisの1例	皮膚科の臨床 ; 2024.04:66:532-533	Original Article
13	アマデアル 亜琵,石井 良 征,加倉井 真主 他	皮膚科	【薬疹】シクロスポリンが奏効したヒドロキシクロロキンによる急性汎発性発疹性膿疱症の1例	皮膚科の臨床 ; 2024.09:66:1335-1338	Original Article
14	金井 雄	小児内科	周産期の栄養と代謝を考える.新生児の栄養と代謝を考える 超低出生体重児の修正満期における血中脂肪酸分析 満期産児の臍帯血との比較	周産期学シンポジウム ; 2024.:49-54	Original Article
15	天野 峻平,日高 大介,岡田 佑樹 他	小児内科	臨床的絨毛膜羊膜炎母体から出生した胎35週以降の新生児に対する抗菌薬の必要性	日本周産期・新生児医学会雑誌 ; 2024.12:60:444-450	Original Article
16	佐々木 理人,増本 幸二	小児外科	【小児領域におけるGLP-2アナログ製剤(テデュグルチド)の応用】各疾患に対する使用経験 幼児期にテデュグルチドを導入し,静脈栄養を離脱しえた短腸症候群の2例	小児外科 ; 2024.04:56:346-350	Original Article
17	荒木 孝太,室井 愛,大戸 達之 他	脳神経外科	小児期に進行性の脊髄症で発症した環椎低形成による脊柱管狭窄の1例	小児の脳神経 ; 2024.08:49:112-117	Original Article
18	伊藤 嘉朗,荒木 孝太,田中 駿 他	脳神経外科	Controversial Topics 症候性頸動脈狭窄症における血行再建術のタイミングと選択	The Mt. Fuji Workshop on CVD ; 2024.07:41:85- 90.104-105	Original Article
19	廣瀬 史,戸塚 翔,渡邊 竜 之介 他	整形外科	脱臼リスクの高い症例に対するdual mobility cemented cup(Avantage cup)の使用経験	Hip Joint ; 2024.08:50:769-772	Original Article
20	櫻井 亮佑,戸塚 翔,渡邊 竜之介 他	整形外科	CTガイド下ラジオ波焼灼術が奏効した大腿骨頭頭部移行部の類骨骨腫の1例	Hip Joint ; 2024.08:50:830-834	Original Article
21	櫻井 亮佑,廣瀬 史,戸塚 翔 他	整形外科	THA患者の骨粗鬆症治療介入の現状	日本人工関節学会誌 ; 2024.12:54:351-352	Original Article
22	濱崎 純一,渡邊 竜之介,西 野 衆文 他	整形外科	人工股関節全置換術後に発生した臀部血腫の2例	Hip Joint ; 2024.08:50:710-713	Original Article
23	中原 康尚,和田 大志,西野 衆文 他	整形外科	人工股関節全置換術後,浸出継続患者の検討	Hip Joint ; 2024.08:50:783-785	Original Article
24	水口 法生,長谷川 優実,加 治 優一 他	眼科	ステロイドTenon嚢下注射後に真菌性強膜炎を生じた2例	眼科臨床紀要 ; 2024.07:17:540-544	Original Article
25	山下 舞伊子,森田 由香,浅 野 宏規 他	眼科	犬咬症により外直筋完全断裂をきたした症例	眼科臨床紀要 ; 2024.12:17:879-882	Original Article
26	山下 舞伊子,森田 由香,浅 田 雪乃 他	眼科	内視鏡下鼻副鼻腔手術後の内直筋完全断裂に対して修復術を施行した2例	眼科臨床紀要 ; 2025.02:18:113-116	Original Article
27	高橋 和樹,松本 信,藤井 慶太郎 他	耳鼻咽喉科	当科における涙腺・涙嚢癌の治療経験	頭頸部外科 ; 2024.06:34:29-34	Original Article
28	佐々木 憲人,松本 信,藤井 慶太郎 他	耳鼻咽喉科	CAR-T細胞療法により出現した喉頭浮腫の2例	頭頸部外科 ; 2024.06:34:113-117	Original Article
29	玉川 天和,猪股 伸一,大西 真悠子 他	麻酔科	縦隔鏡下食道切除術中に緊張性気胸を認めた6症例の麻酔経験	日本臨床麻酔学会誌 ; 2024.05:44:305-310	Original Article
30	中川 理子,村田 雄哉,丸尾 和司 他	麻酔科	ロクロニウム臭化物静注液「マルイシ」の作用発現時間 エスラックス治療データとの比較	麻酔 ; 2024.04:73:224-228	Original Article
31	横山 良太,田地 慶太郎,山 下 創一郎	麻酔科	小児心臓手術患者におけるカフ付きまたはカフなし気管チューブの術後チューブ入れ替えに関する後方視的検討	Cardiovascular Anesthesia ; 2024.09:28:69-75	Original Article
32	天神 久美,富沢 夏美,長友 一樹 他	救急・集中治 療科	Lemierre症候群に敗血症性肺炎症と脳膿瘍を合併した1例	日本救急医学会雑誌 ; 2024.04:35:138-143	Original Article
33	樋口 遼水,野露 彩乃,星野 健也 他	救急・集中治 療科	COVID-19パンデミックが臓器提供に与えた影響の定量的評価 臓器提供に要した日数の比較	日本救急医学会雑誌 ; 2024.04:35:111-120	Original Article
34	加藤 士郎,玉野 雅裕,豊田 茂 他	総合診療科	高齢者慢性心不全の内科標準治療とリハビリテーション訓練に五苓散と牛車腎気丸を2年間併用することによる臨床的有効性	漢方と最新治療 ; 2024.05:33:129-137	Original Article
35	小山 諒太,加藤 貴康,南木 融 他	検査部	環状鉄芽球と血小板増加を伴う骨髓異形成/骨髓増殖性腫瘍の形態学および臨床的特徴と新規SF3B1変異解析法の樹立	日本検査血液学会雑誌 ; 2024.07:25:242-250	Original Article
36	高松 毅志,鹿志村 純也,岡 田 健太 他	水戸地域医療 教育センター	腫瘍マーカー高値と淡血性尿から膀胱癌を疑った炎症性膀胱腫瘍の1例	Progress of Digestive Endoscopy ; 2024.06:104:142-144	Original Article
37	宮原 華子,小川 大貴,羽鳥 由夏 他	水戸地域医療 教育センター	ショック,播種性血管内凝固症候群を呈した日本紅斑熱の1例	皮膚科の臨床 ; 2024.07:66:1153-1156	Original Article
38	宮原 華子,小川 大貴,羽鳥 由夏 他	水戸地域医療 教育センター	ドキシサイクリンを含めた多剤併用療法と局所温熱療法が奏効した皮膚Mycobacterium marinum感染症の1例	皮膚科の臨床 ; 2024.04:66:525-528	Original Article
39	辰村 正紀,山崎 正志	水戸地域医療 教育センター	【腰椎分離症:最近の診断・治療の進歩】骨髄浮腫消失を装具着用期間とした保存治療による急性期腰椎分離症の骨癒合率	関節外科 ; 2024.05:43:550-557	Original Article

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
40	辰村 正紀, 栗田 拓実, 生澤 俊輔 他	水戸地域医療 教育センター	【小児整形外科up-to-date】総論 画像評価 発育期急性期腰椎分 離症におけるCT類似MRIによる病期評価	別冊整形外科；2024.04:30-35	Original Article
41	磯 直樹, 鹿志村 純也, 岡田 健太 他	水戸地域医療 教育センター	膵炎発作を繰り返し切除した膵漿液性嚢胞性腫瘍の一例	Progress of Digestive Endoscopy ; 2024.06:104:128-130	Original Article
42	松崎 涼華, 芋生 祥之, 平野 悠 他	水戸地域医療 教育センター	当院におけるTKA後の退院時期に影響を与える術前因子に関する 調査	理学療法いばらき；2024.07:28:11-15	Original Article
43	佐藤 晋爾	茨城県地域臨 床教育セン	Max Isserlin Jaspersの精神療法論の源流	精神医学史研究；2024.11:28:98-110	Original Article
44	黒田 有希, 萩原 晋也, 沢辺 智紀 他	膠原病・リウマ チアレルギー 内科	蛋白漏出性胃腸症の背景疾患としてIgA血管炎が疑われた一例	関東リウマチ；2024.05:56:76-79	Original Article
45	山崎 琢斗, 吉野 喬之, 古城 公佑 他	泌尿器科	回腸導管造設術後にストーマ周囲静脈瘤から出血を来した2例	泌尿器科紀要；2024.04:70:101-106	Original Article
46	萩原 嵩之, 山縣 憲司, 内田 文彦 他	歯科・口腔外 科	顎下部リンパ管奇形に対するOK-432硬化療法が著効した1例	日本口腔科学会雑誌；2024.09:73:236-242	Original Article
47	小菅 悠希, 眞弓 みゆき, 伊 東 菜摘 他	産科・婦人科	重症筋無力症女性17妊娠の臨床像	日本周産期・新生児医学会雑誌；2024.05:60:78- 83	Original Article
48	野口 恵美子	遺伝診療科	遺伝学的情報をアレルギー疾患治療に活かすには？	Alerugi. 2024；73(8):983-985.	Original Article
49	松田 真秀	脳神経外科	[Convexity Meningioma, Parasagittal Meningioma, Falx Meningioma].	No Shinkei Geka. 2024 Jul；52(4):726-735.	Original Article
50	矢本 真也, 照井 慶太, 永 田 公二, 岡崎 任晴, 豊島 勝昭, 稲村 昇, 佐藤 義朗, 丸山 秀彦, 横井 暁子, 増 本 幸二, 小池 勇樹, 矢崎 悠太, 奥山 宏臣, 臼井 規 朗	小児外科	CDH難治例手術の要点と盲点(重症症例・合併症症例の対応と胸腔 鏡手技の実際) 胸腔鏡下先天性横隔膜ヘルニア手術の開腹移行と 再発例についての検討	日本周産期・新生児医学会雑誌(1348-964X)59巻 4号 Page497-501(2024.04)	Original Article
51	乃村俊史	筑波大学皮膚 科	紙吹雪模様を呈する皮膚疾患	皮膚病診療47巻3号 Page196-199(2025.03)	Others
52	藤澤 薫, 小山 泰明, 橋本 英樹	感染症内科	BioFire肺炎パネルにより診断し得たレジオネラ肺炎の1例	日救急医会関東誌 46(2), 2025年	Case Report
53	藤山聡, 日高大介, 高田 英俊	医学医療系小 児科学	保育器内の早産児のアルコール曝露を軽減するための対策／ TOPICS 小児科学	医学のあゆみ 医学書院 p522-524 9巻7号 (2024年5月発行)	Others
54	大矢和正, 中村貴之, 沖 山奈緒子, 藤澤康弘, 乃 村俊史	筑波大学皮膚 科	自己免疫疾患で生じる皮膚炎の加齢で変化する病態制御機構	加齢皮膚医学セミナー19巻2号 Page9- 15(2024.12)	Review
55	大城健哉, 平山純一, 上 野理恵, 鈴木広道	感染症内科	血液培養検査における血液量に関する全国アンケートの調査報告	日本臨床微生物学会雑誌 Vol.34 No.3 2024.	Others
56	廣瀬 史, 戸塚 翔, 渡邊 竜 之介, 西野 衆文, 山崎 正 志, 三島 初	整形外科	Full HA coatedシステムを用いた人工股関節全置換術後におけるステ ム周囲骨密度の推移 骨粗鬆症治療薬の予防効果	日本人工関節学会誌(1345-7608)54巻 Page209- 210	Original Article
57	海江田和泉, 岡崎雅也, 山田嵩宣, 小田竜也	消化器外科	腸管を温存し得た大網裂孔ヘルニアの2例	日本腹部救急医学会雑誌2024 :44(4) 621-624	Case Report
58	平岡孝浩, 木内 岳, 伊藤 孝雄, 鐘江正道	筑波大学 医学 医療系眼科	オルソケラトロジーの使用成績調査 7年間の解析結果.	日本コンタクトレンズ学会誌 66(1):S1-S10, 2024.	Original Article
59	高橋 一広, 古屋 欽司, 下 村 治, 館野 浩章, 小田 竜也	消化器外科	血液型不適合腎移植後のT細胞糖鎖変化に対する網羅的解析- B?cell?toleranceに注目して	BIO Clinica 2025.3:40(3):293-295	Original Article
60	飯岡 葵, 村上智哉, 岡本 史樹, 杉浦好美, 和泉玄 織, 森川翔平, 大庭哲郎, 山口 志歩, 橋本 真治, 宮 崎 貴寛, 下村 治, 高橋 一広, 小田 竜也	筑波大学附属 病院 眼科	黄斑円孔に対する内境界膜剥離法と内境界膜翻転法の術後コントラ スト感度の比較.	眼科臨床紀要18(1):5-10, 2025.	Original Article
61	山口 志歩, 橋本 真治, 宮 崎 貴寛, 下村 治, 高橋 一広, 小田 竜也	消化器外科	遠位胆管原発血管肉腫の1 例	日本臨床外科学会雑誌2025.3 :86(3)430-438	Original Article
62	金谷恵理子, 寺田裕紀 子, 木下雄人, 望月 學, 宮田和典	筑波大学附属 病院 眼科	風疹ウイルス抗体率を検討したFuchs虹彩異色性虹彩毛様体炎の4 例.	日本眼科学会雑誌 128(6):497-504, 2024.	Case Report
63	山田 嵩宣, 岡崎 雅也, 大 久保 貴裕, 小田 竜也	消化器外科	待機的手術を前提とした急性胆嚢炎に対する術前治療の検討	日本腹部救急医学会雑誌2024.5 :44(4)587-592	Original Article
64	金谷恵理子, 森 洋斉, 尾 方美由紀, 南 慶一郎, 宮 田和典	筑波大学附属 病院 眼科	高含水率疎水性アクリルトリック眼内レンズの乱視矯正効果と効果 に影響する要因.	臨床眼科 78(7):887-891,2024.	Original Article
65	佐藤 晋爾	筑波大学 医学 医療系地域臨 床教育セン ター精神科	うつの後悔に関する記述現象学的試論. 臨床精神病理	臨床精神病理	Original Article
66	小原 直	血液内科	特集:臨床血液学2024—最新情報と今後の展望(赤血球系疾患)— 再生不良性貧血治療の最新トレンド	臨床血液65(6):514-520	Others
67	渡部衣美	筑波大学附属 病院 精神神 経科	【課題解決型高度医療人材養成(精神領域)のこれから-産業保健と の関連から-】精神科多職種連携・ケアを担う人材養成プログラム 「PsySEPTA」の取り組み	精神神経学雑誌	Others
68	小川貴史, 太刀川弘和, 白鳥裕貴, 中村哲也, 和 智 萌, 東理美沙, 矢口知 絵, 齋藤環, 堀孝文, 新井哲明	茨城県災害・ 地域精神医学 研究センター	県立精神科病院と自治体が共同して実施したひきこもり自立支援事 業に関する評価	日社精医誌 33:369-379, 2024	Original Article
69	吉本 尚(筑波大学 医学医 療系地域総合診療医学), 近島 博道, 小島 慶嗣, 青 島 耕平, 井上 幸恵	総合診療科	アルコール使用障害特定テストが15点以上の者のabsenteeism及び presenteeismに基づく労働生産性損失額の推計	日本アルコール・薬物医学会雑誌(1341-8963)59 巻3号 Page99-108(2024.)	Original Article
70	江川孝, 小幡篤, 原田奈穂 子, 國永直樹, 吉本尚, 齊 藤稔哲, 加古まゆみ, 鈴木 論, 鷺坂彰吾, 高橋晶, 香 田将英	茨城県災害・ 地域精神医学 研究センター	災害時医療体制の法的背景と医薬品供給	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大 会,pp.207-207,2024	Others
71	高橋晶, 池田美樹, 大江美 佐里, 千葉比呂美	茨城県災害・ 地域精神医学 研究センター	2024年能登半島地震における精神的支援と課題, トラウマティック・ス トレス	日本トラウマティック・ストレス学会誌.22(1)pp.76- 86,2024	Others

	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病 院における所 属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種 別
72	高橋晶	茨城県災害・ 地域精神医学 研究センター	精神科医からみた令和6年能登半島地震対応とこれからの災害対応、 トラウマティック・ストレス	日本トラウマティック・ストレス学会誌, 22(2), pp.148-154	Others
73	古関久美子、川崎彰子、 村田 舞、久後ゆい、鈴木 あすか、足立結華、森 悠 樹、板垣博也、井尻博子、 石井一弘、佐藤豊実	産科・婦人科	ナタリズマブ投与下に不妊治療を実施して再発なく妊娠に至った多発 性硬化症の一例	関東連合産科婦人科学会誌	Case Report
74	高瀬千尋、佐藤豊実	産科・婦人科	卵巣癌Ⅳ A期との鑑別が困難であったPseudo-Meigs症候群の1例	日本外科系連合学会雑誌	Case Report
75	田中絵理、山崎浩、小川孝 二郎、南健太郎、中務智文、 町野智子、石津智子、家田 真樹	筑波大学医学 類	抗凝固療法中に心原性脳塞栓症を5度発症し、左心耳閉鎖術後にも 抗凝固療法を継続した持続性心房細動の1例	心臓 Vol.57 NO.5 (2025) 1-8.	Case Report
～					

計75件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なもの
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 目的と適用範囲、病院長の責務、研究者等の責務、研究計画書に関する手続き・記載事項、研究に関する登録・公表、倫理審査委員会の役割・責務等、重篤な有害事象への対応、モニタリング及び監査、審査の手順等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反委員会、研究実施者の義務、申告内容、申請手順、異議申し立て、情報公開 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年12回
・ 研修の主な内容 治験・臨床研究法および倫理指針に係るガイドライン及び実施体制と信頼性の確保、附属病院等における臨床研究の実施体制、プロトコルデザイン、生物統計、論文執筆、インフォームドコンセント、有害事象報告、データマネジメント、モニタリング・監査、知財の取得 等	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

臨床研修と同じレジデント制による研修

本院は開院当初よりレジデント制度を採用しており、研修期間はシニア課程2年、チーフ課程2年の合計4年である。大学院と専門研修を行うレジデントを並行して行うアカデミックレジデント制度もあり、臨床・研究の両立が可能である。

専門分野別に35の養成コースを設置

各養成コースでは、2018年度から開始された専門医制度（基本18領域およびサブスペシャリティ22領域）に対応した資格を取得するのに必要な症例経験と臨床能力が修得できるように配慮されている。また、専門医制度のコース以外にも、多くの学会認定医等の取得が可能である。養成コースの詳細は診療科HP（プログラム）を参照。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	257 人
-------------	-------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
前野 哲博	総合診療科	総合診療科長	34年	研修統括者
土屋 輝一郎	消化器内科	消化器内科長	30年	研修統括者
石津 智子	循環器内科	循環器内科長	31年	研修統括者
檜澤 伸之	呼吸器内科	呼吸器内科長	39年	研修統括者
山縣 邦弘	腎臓内科	腎臓内科長	41年	研修統括者
島野 仁	内分泌・代謝・糖尿病内科	内分泌代謝・糖尿病内科長	41年	研修統括者
松本 功	膠原病・リウマチ科・アレルギー内科	膠原病・リウマチ・アレルギー内科長	34年	研修統括者
坂田 麻実子	血液内科	血液内科長	24年	研修統括者
斉木 臣二	脳神経内科	神経内科長	24年	研修統括者
鈴木 広道	感染症内科	感染症科長	22年	研修統括者
高田 英俊	小児内科	小児内科長	38年	研修統括者
新井 哲明	精神科	精神神経科長	35年	研修統括者
木澤 義之	緩和支援診療科	緩和支援診療科長	34年	研修統括者
乃村 俊史	皮膚科	皮膚科長	23年	研修統括者
中島 崇仁	放射線診断科	放射線診断・IVR科長	28年	研修統括者
櫻井 英幸	放射線腫瘍科	放射線腫瘍科長	37年	研修統括者
松原 大祐	病理診断科	病理診断科長	25年	研修統括者
小田 竜也	消化器・移植外科	消化器外科長	37年	研修統括者
坂本 裕昭	心臓血管外科	心臓血管外科長	24年	研修統括者
佐藤 幸夫	呼吸器外科	呼吸器外科長	36年	研修統括者

原 尚人	乳腺・甲状腺・内分泌外科	乳腺・甲状腺・内分泌外科長	41年	研修統括者
増本 幸二	小児外科	小児外科長	34年	研修統括者
関堂 充	形成外科	形成外科長	35年	研修統括者
井上 貴昭	救急科	救急・集中治療科長	31年	研修統括者
石川 栄一	脳神経外科	脳神経外科長	30年	研修統括者
松丸 祐司	脳卒中科	脳卒中科長	40年	研修統括者
三島 初	整形外科	整形外科長	25年	研修統括者
西山 博之	泌尿器科	泌尿器科長	36年	研修統括者
佐藤 豊実	産科、婦人科	産科・婦人科長	36年	研修統括者
猪股 伸一	麻酔科	麻酔科長	37年	研修統括者
田渕 経司	頭頸部・耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉科長	32年	研修統括者
大鹿 哲郎	眼科	眼科長	40年	研修統括者
関根 郁夫	腫瘍内科	腫瘍内科長	37年	研修統括者
羽田 康司	リハビリテーション科	リハビリテーション科長	34年	研修統括者
武川 寛樹	歯科口腔外科	歯科・口腔外科長	41年	研修統括者

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 別紙参照 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容： 2024年度第1期 診療の安全に関する研修、感染・抗菌薬・医薬品・医療機器・放射線・医療ガス・遺伝に関する研修 2024年度第2期 診療の安全に関する研修、感染・抗菌薬・医薬品・医療機器に関する研修 ・研修の期間・実施回数： 第1期 2024年7月8日～2024年8月31日 第2期 2024年11月19日～2025年1月15日 ・研修の参加人数：第1期 3380人 第2期 3402人
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修(令和5年度分)

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

			診療科・部門名
1	研修名	看護師特定行為研修	薬剤部
	研修の主な内容	臨床薬理学演習	
	研修の期間・実施回数	R6年7月31日 8月2日・R7年2月14日 3回	
	研修の参加人数	34人	
2	研修名	看護師特定行為研修	総合臨床教育センター
	研修の主な内容	身体診察(腹部)	
	研修の期間・実施回数	R6年8月5日・R7年2月14日、17日 3回	
	研修の参加人数	34人	
3	研修名	看護師特定行為研修	総合臨床教育センター
	研修の主な内容	身体診察(胸部)	
	研修の期間・実施回数	R6年8月5日・R7年14日 2回	
	研修の参加人数	34人	
4	研修名	看護師特定行為研修	総合診療科
	研修の主な内容	フィジカルアセスメント	
	研修の期間・実施回数	R6年8月2日・6日・13日・R7年2月17日・18日・29日 6回	
	研修の参加人数	34人	
5	研修名	看護師特定行為研修	総合診療科
	研修の主な内容	疾病・臨床病態概論	
	研修の期間・実施回数	R6年8月14日・R7年2月21日 2回	
	研修の参加人数	34名	
6	研修名	看護師特定行為研修	総合診療科
	研修の主な内容	カルテの書き方	
	研修の期間・実施回数	R6年8月2日・R7年2月20日の 2回	
	研修の参加人数	34人	
7	研修名	看護師特定行為研修	総合臨床教育センター
	研修の主な内容	医療安全学/特定行為実践	
	研修の期間・実施回数	R6年8月2日・R7年2月20日 2回	
	研修の参加人数	34人	
8	研修名	看護師特定行為研修	総合診療科
	研修の主な内容	身体診察確認テスト・予診演習及びテスト	
	研修の期間・実施回数	R6年8月22・23日・R7年2月21日の3回	
	研修の参加人数	34人	
9	研修名	看護師特定行為研修	消化器内科 膠原病・リウマチ・アレルギー内科
	研修の主な内容	共通科目臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年8月26日～9月13日・R7年3月3日～14日 10回	
	研修の参加人数	10人	
10	研修名	看護師特定行為研修	内分泌代謝・糖尿病内科 循環器内科 血液内科
	研修の主な内容	共通科目臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年8月26日～9月13日・R7年3月3日～7日 11回	
	研修の参加人数	11人	
11	研修名	看護師特定行為研修	脳神経内科 腎臓内科 呼吸器内科
	研修の主な内容	共通科目臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年8月26日～9月13日・R7年3月10日～14日 12回	
	研修の参加人数	12人	
12	研修名	看護師特定行為研修	麻酔科
	研修の主な内容	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整演習・OSCE	
	研修の期間・実施回数	R6年4月26日・5月23日・10月27日・11月13日 4回	
	研修の参加人数	12人	

13	研修名	看護師特定行為研修	看護部
	研修の主な内容	侵襲的陽圧換気の設定の変更・非侵襲的陽圧換気の設定の変更・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整・人工呼吸器からの離脱演習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月1日・7日・10月28日・11月5日 4回	
	研修の参加人数	12人	
14	研修名	看護師特定行為研修	耳鼻咽喉科
	研修の主な内容	気管カニューレの交換演習・OSCE	
	研修の期間・実施回数	R6年5月2日・5月15日・10月16日・11月12日 4回	
	研修の参加人数	10人	
15	研修名	看護師特定行為研修	総合診療科
	研修の主な内容	胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換演習・OSCE	
	研修の期間・実施回数	R6年4月25日・5月16日・10月30日・11月13日 4回	
	研修の参加人数	8人	
16	研修名	看護師特定行為研修	泌尿器科
	研修の主な内容	膀胱ろうカテーテルの交換演習・OSCE	
	研修の期間・実施回数	R6年5月1日・22日・10月21日・11月4日 4回	
	研修の参加人数	10人	
17	研修名	看護師特定行為研修	消化器外科
	研修の主な内容	中心静脈カテーテルの抜去演習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月16日・10月22日 2回	
	研修の参加人数	11人	
18	研修名	看護師特定行為研修	消化器外科
	研修の主な内容	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入演習・OSCE	
	研修の期間・実施回数	R6年4月26日・5月24日・10月24日・11月21日 4回	
	研修の参加人数	24人	
19	研修名	看護師特定行為研修	皮膚科
	研修の主な内容	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去の演習・ハイポナーの使用方法・OSCE	
	研修の期間・実施回数	R6年4月25日・5月8日・10月29日・11月19日 4回	
	研修の参加人数	14人	
20	研修名	看護師特定行為研修	検査部
	研修の主な内容	超音波検査演習	
	研修の期間・実施回数	R6年4月17日・23日・24日・25日・10月20日・29日 6回	
	研修の参加人数	34人	
21	研修名	看護師特定行為研修	形成外科
	研修の主な内容	創傷に対する陰圧閉鎖療法演習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月13日・11月17日 2回	
	研修の参加人数	7人	
22	研修名	看護師特定行為研修	乳腺・甲状腺・内分泌外科
	研修の主な内容	創部ドレーンの抜去演習	
	研修の期間・実施回数	R6年11月6日 1回	
	研修の参加人数	5人	
23	研修名	看護師特定行為研修	麻酔科
	研修の主な内容	橈骨動脈ラインの確保演習・OSCE	
	研修の期間・実施回数	R6年4月22日・5月14日・10月20日・11月11日 4回	
	研修の参加人数	24人	
24	研修名	看護師特定行為研修	呼吸器内科
	研修の主な内容	直接動脈穿刺法による採血演習・OSCE	
	研修の期間・実施回数	R6年4月23日・5月1日・10月20日・11月11日 4回	
	研修の参加人数	24人	
25	研修名	看護師特定行為研修	病院総合内科
	研修の主な内容	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整・脱水症状に対する輸液による補正演習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月17日・10月31日 2回	
	研修の参加人数	22人	

26	研修名	看護師特定行為研修	感染症科
	研修の主な内容	感染兆候がある者に対する薬剤の臨時的投与演習	
	研修の期間・実施回数	R6年10月23日 1回	
	研修の参加人数	4人	
27	研修名	看護師特定行為研修	麻酔科
	研修の主な内容	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整演習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月2日・11月4日 2回	
	研修の参加人数	6人	
28	研修名	看護師特定行為研修	精神神経科
	研修の主な内容	抗けいれん剤・抗精神病薬・抗不安薬の臨時的投与演習	
	研修の期間・実施回数	R6年4月30日・5月7日・10月21日・28日 4回	
	研修の参加人数	6人	
29	研修名	看護師特定行為研修	呼吸器外科
	研修の主な内容	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更・胸腔ドレーン抜去演習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月8日・11月5日	
	研修の参加人数	2名	
30	研修名	看護師特定行為研修	消化器外科
	研修の主な内容	腹腔ドレーンの抜去演習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月9日・11月12日	
	研修の参加人数	5名	
31	研修名	看護師特定行為研修	循環器内科
	研修の主な内容	持続点滴中のカテコラミン・ナトリウム、カリウム又はクロール、降圧剤、糖質輸液又は電解質輸液・利尿剤の投与量の調整の演習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月13日・11月10日	
	研修の参加人数	3名	
32	研修名	看護師特定行為研修	総合臨床教育センター（外部講師）
	研修の主な内容	麻酔パッケージ統合 演習	
	研修の期間・実施回数	R6年11月6日	
	研修の参加人数	1名	
33	研修名	看護師特定行為研修	耳鼻咽喉科
	研修の主な内容	呼吸器（長期呼吸療法に関わるもの）関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月27日～6月21日	
	研修の参加人数	2人	
34	研修名	看護師特定行為研修	救急集中治療科
	研修の主な内容	呼吸器（人工呼吸療法に関わるもの）関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年11月25日～12月20日	
	研修の参加人数	3人	
35	研修名	看護師特定行為研修	麻酔科
	研修の主な内容	呼吸器（気道確保に関わるもの）関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年6月24日～7月5日・12月9日～20日・R7年1月6日～17日	
	研修の参加人数	3人	
36	研修名	看護師特定行為研修	乳腺・甲状腺・内分泌外科
	研修の主な内容	創部ドレーン管理関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年12月9日～20日	
	研修の参加人数	1人	
37	研修名	看護師特定行為研修	呼吸器外科
	研修の主な内容	胸腔ドレーン管理関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年11月25日～12月6日	
	研修の参加人数	1人	
38	研修名	看護師特定行為研修	呼吸器内科 麻酔科
	研修の主な内容	動脈血ガス分析関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年7月1日～5日・7月29日～8月2日・R7年2月3日～2月7日（呼吸器内科） R6年6月24日28日・7月22日～8月2日・12月23日～27日・R7年1月20日～24日（麻酔科）	
	研修の参加人数	7人	

39	研修名	看護師特定行為研修	乳腺・甲状腺・内分泌外科
	研修の主な内容	創部ドレーンの抜去臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年12月9日～20日	
	研修の参加人数	1人	
40	研修名	看護師特定行為研修	病院総合内科
	研修の主な内容	栄養及び水分管理に関わる薬剤投与関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月27日～6月21日・7月8～7月19・11月25日～12月20日	
	研修の参加人数	5人	
41	研修名	看護師特定行為研修	血液内科
	研修の主な内容	栄養に関わるカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル)関連	
	研修の期間・実施回数	R6年6月10日～21日・7月8日～19日	
	研修の参加人数	2人	
42	研修名	看護師特定行為研修	麻酔科
	研修の主な内容	術後疼痛管理関連	
	研修の期間・実施回数	R6年7月22日～8月2日・11月25日～12月6日・R7年1月20日～1月31日	
	研修の参加人数	3人	
43	研修名	看護師特定行為研修	救急集中治療科
	研修の主な内容	侵襲的陽圧換気の設定の変更・非侵襲的陽圧換気の設定の変更・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整・人工呼吸器からの離脱の臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R7年1月6日～1月24日	
	研修の参加人数	1名	
44	研修名	看護師特定行為研修	形成外科 皮膚科
	研修の主な内容	創傷管理関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年5月27日～6月21日・11月25日～12月20日・R7年1月6日～1月31日	
	研修の参加人数	4名	
45	研修名	看護師特定行為研修	小児外科
	研修の主な内容	胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年12月9日～20日	
	研修の参加人数	1人	
46	研修名	看護師特定行為研修	泌尿器科
	研修の主な内容	膀胱ろうカテーテルの交換の臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R6年12月4日・25日・R7年2月5日	
	研修の参加人数	1人	
47	研修名	看護師特定行為研修	消化器外科
	研修の主な内容	腹腔ドレーン管理関連臨地実習	
	研修の期間・実施回数	R7年1月6日～1月17日	
	研修の参加人数	1人	
51	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計6回 R6.4.1(月)～R6.9.30(月)(月1回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師)(所属:龍ヶ崎済生会病院)	
52	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計1回 R6.4.1(月)～R6.9.30(月)(1回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師)(所属:医療法人社団総生会麻生総合病院)	
53	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計12回 R6.4.1(月)～R6.9.30(月)(月2回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師)(所属:キャノンメディカルシステムズ株式会社首都圏支社営業推進部)	
54	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計12回 R6.4.1(月)～R6.9.30(月)(月2回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師)(所属:水戸済生会総合病院)	

55	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計8回 R6.6.1(土)～R6.9.30(月)(月2回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師) (所属:地方独立行政法人茨城県西部医療機構茨城県西部メディカルセンター臨床検査科)	
56	研修名	病院研修	看護部
	研修の主な内容	常磐大学大学院看護学研究科(CNS教育課程) 精神専門看護学実習Ⅱ	
	研修の期間・実施回数	計20回 R6.9.2(月)～R6.9.13(金)	
	研修の参加人数	計2名(看護師)(所属:常磐大学大学院看護学研究科)	
57	研修名	病院研修	リハビリテーション部
	研修の主な内容	急性期リハビリテーション業務(受入部局:リハビリテーション部)	
	研修の期間・実施回数	計12回R6.10.1(火)～R7.3.31(月)(月2回、水曜日)	
	研修の参加人数	計1名(理学療法士)(所属:筑波技術大学 東西医学統合医療センター)	
58	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計6回 R6.10.1(火)～R7.3.31(月)(月1回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師)(所属:龍ヶ崎済生会病院)	
59	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計9回 R6.10.1(火)～R7.3.31(月)(月2回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師)(所属:水戸済生会総合病院) (10月～12月 毎月2回、計6日間)(1月～3月 毎月1回、計3日間)	
60	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計12回 R6.10.1(火)～R7.3.31(月)(月2回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師)(所属:キャンノンメディカルシステムズ株式会社首都圏支社営業推進部)	
61	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計1回 R6.10.1(火)～R7.3.31(月)(1回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師)(所属:医療法人社団総生会麻生総合病院)	
62	研修名	病院研修	検査部
	研修の主な内容	心臓超音波検査(受入部局:検査部)	
	研修の期間・実施回数	計10回 R6.10.1(火)～R7.3.31(月)(11月/2回、12月/2回、1月/2回、2月/2回、3月/2回)	
	研修の参加人数	計1名(臨床検査技師) (所属:地方独立行政法人茨城県西部医療機構茨城県西部メディカルセンター臨床検査科)	
63	研修名	病院研修	看護部
	研修の主な内容	茨城キリスト教大学大学院看護学研究科急性期看護学援助特論Ⅰ及び急性期看護学演習Ⅰの病院内演習 (受入部局:看護部)	
	研修の期間・実施回数	計5回 R6.10.2(水)、R6.10.30(水)、R6.11.7(木)、R6.11.20(水)、R6.12.18(水)	
	研修の参加人数	計1名(看護師)(所属:茨城キリスト教大学大学院 看護学研究科)	
64	研修名	病院研修	看護部(感染管理部)
	研修の主な内容	感染管理認定看護師教育課程 臨地実習(受入部局:看護部)	
	研修の期間・実施回数	計36回 R6.10.7(月)～R6.11.8(月)	
	研修の参加人数	計2名(看護師)(所属:獨協医科大学 地域共生協創センター)	
65	研修名	病院研修	栄養管理室
	研修の主な内容	栄養サポートチーム研修における臨床研修(受入部局:栄養管理室)	
	研修の期間・実施回数	計1回 R6.10.9(木)(1日間)	
	研修の参加人数	計1名(薬剤師)(所属:医療法人美湖会 美浦中央病院)	
66	研修名	病院研修	看護部
	研修の主な内容	助産学実習Ⅳ(MFICU、GCU)	
	研修の期間・実施回数	計16回R6.12.23(月)～R6.12.26(金)	
	研修の参加人数	計4名(看護師)(所属:茨城県立医療大学 助産学専攻科)	

67	研修名	病院研修	看護部
	研修の主な内容	認定看護師教育課程(摂食嚥下障害看護分野)(受入部局:看護部)	
	研修の期間・実施回数	計54回 R7.1.14(火)～R7.2.20(木)	
	研修の参加人数	計2名(看護師)(所属:茨城県立医療大学 地域・社会貢献研究センター)	
68	研修名	病院研修	看護部
	研修の主な内容	認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケア学科 臨地実習(受入部局:看護部)	
	研修の期間・実施回数	計63回 R6.10.9(水)～R6.11.28(木)	
	研修の参加人数	計2名(看護師)(所属:(公社)日本看護協会 看護研修学校)	
69	研修名	病院研修	救急・集中治療部
	研修の主な内容	救急救命士病院(再教育)実習(受入部局:救急・集中治療部)	
	研修の期間・実施回数	計81回R6.9.1(日)～R7.2.28(金)(1名につき平日1日間、または2日間)	
	研修の参加人数	計60名(救急救命士)(所属:つくば市消防本部)	
70	研修名	救急救命士気管挿管研修	麻酔科
	研修の主な内容	全身麻酔時における気管挿管実習(成功例30症例)(受入部局:麻酔科)	
	研修の期間・実施回数	計30回R6.6.17(月)～R6.8.1(木)	
	研修の参加人数	計1名(救急救命士)(所属:つくば市消防本部)	
71	研修名	救急救命士気管挿管研修	麻酔科
	研修の主な内容	全身麻酔時における気管挿管実習(成功例30症例)(受入部局:麻酔科)	
	研修の期間・実施回数	計30回R6.11.13(水)～R7.1.7(火)	
	研修の参加人数	計1名(救急救命士)(所属:つくば市消防本部)	
72	研修名	地域薬学ケア専門薬剤師研修	薬剤部
	研修の主な内容	日本医療薬学会の地域薬学ケア専門薬剤師の養成にあたり、高度な薬学知識、臨床知識及び専門的技術を修得するとともに、専門薬剤師としての臨床能力及び実践力の習得(受入部局:薬剤部)	
	研修の期間・実施回数	計1回R6.4.1(月)～R7.3.31(月)1年間	
	研修の参加人数	計1名(薬剤師)(所属:一般社団法人日本医療薬学会)	

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	附属病院長 平松祐司	
管理担当者氏名	医療情報部長 讃岐勝、医療安全管理部長 和田哲郎、 感染制御部長 鈴木広道、薬剤部長 本間真人、 臨床工学部長 山本純偉、総合臨床教育センター部長 瀬尾恵美子、 つくば臨床医学研究開発機構長 橋本幸一、 総務課長 永松博幸、医療支援課長 吉田圭寿、品質・安全管理課長 渡邊一義	

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医療情報部	電子化後は医療情報部サーバ室のサーバで管理している。 バックアップは国立大学病院災害時バックアップシステムにて行われている。 電子化以前の紙カルテ及び押印の必要な同意書等は1患者1ファイルにより、医療情報部の病歴室で保管・管理している。 診療録は電子データ、紙媒体に関わらず院外への持出しは禁止している。但し大災害時、法令に基づく要請など特別な場合は病院長の許可を得た上で持出することができる。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課人事・共済係	人事システムで保管・管理している
		高度の医療の提供の実績	医療支援課	共有サーバ及び紙媒体で保管
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	品質・安全管理課	
		高度の医療の研修の実績	総合臨床教育センター	
		閲覧実績	病院総務部各課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	(患者数) 医療支援課 (調剤の数) 薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部、 品質・安全管理課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部 品質・安全管理課	共有サーバ及び紙媒で保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況		
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部 総務課人事・共済係	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 品質・安全管理課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 医療安全管理部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	つくば臨床医学研究開発機構（T-CReD0）、 薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部 総務課人事・共済係	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部 品質・安全管理課	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部			

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課人事・共済係
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課人事・共済係
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部 品質・安全管理課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）、薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課総務・広報係
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部 医療支援課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部 品質・安全管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	【本部】コンプライアンス・ハラスメント対策室
		職員研修の実施状況	医療安全管理部、品質・安全管理課 総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	品質・安全管理課

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	附属病院長 平松 祐司
閲覧担当者氏名	病院総務部総務課長 永松 博幸
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部総務課
閲覧の手続の概要 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧については、「国立大学法人筑波大学法人文書の開示の手続きに関する規程」に基づき、病院総務部総務課に「法人文書開示請求書」を提出することにより行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11 第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☒ 有・無
・ 指針の主な内容: (1) 医療安全管理に関する基本的な考え方 (2) 組織として事故防止への取り組み (3) 事故防止に向けた情報の共有化 (4) 医療安全に関する職員研修の実施 (5) 医療事故発生時の対応(基本方針) (6) 患者の医療安全への参画 (7) 患者相談窓口の設置 (8) その他の医療安全の推進のために必要な方針 (9) 本指針の改廃	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無(☒有・無) ・ 開催状況: 年 12 回 ・ 活動の主な内容: (1) 医療に係る安全管理体制に関すること (2) 医療に係る安全管理のための指針の作成及び見直しに関すること (3) 医療事故を防止するための医療従事者に対する啓発に関すること (4) 医療事故等に係る患者、家族等への対応に関すること (5) 医療事故等が発生した場合の原因の調査及び分析並びに改善策の立案実施及び周知に関すること (6) 上記(5)の改善策の実施状況の検証及び必要に応じた見直しに関すること (7) 死亡退院事例と報告の実施状況の確認及び確認結果の病院長への報告並びに職員への研修及び指導に関すること (8) 医事紛争への対応策に関すること (9) 医療に係る安全管理のための教育方針に関すること (10) その他医療に係る安全管理に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の内容(すべて): (1) 2024年度第1期診療の安全に関する研修(ライブ・ビデオ及びe-learning) テーマ:カスタマーハラスメント対応 ① 医療事故防止に関する基本事項 ② カスタマーハラスメント対応 (2) 2024年度第2期診療の安全に関する研修(ライブ・ビデオ及びe-learning) テーマ:コードステータスをどのように確認するか ① 医療事故防止に関する基本事項 ② コードステータスをどのように確認するか	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（☒・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(1)インシデント・オカレンス報告システムを整備し、全職員から診療上の問題点の報告を受けている。また、安全確保状況報告システムを整備し各組織リスクマネージャーから安全確保状況及び各組織の問題点を収集している。重要案件については、緊急連絡網やメール自動転送システムを配備している。

(2)インシデント・オカレンス報告を受け、医療安全管理部員が現場に赴き調査を行い分析し、リスクマネジメント委員会に報告する。リスクマネジメント委員会は、本院における医療事故の動向、医療過誤の認定、および再発防止について審議する。

重要な事例はピアレビュー委員会等を設置し、そこで問題点の分析と対応策を検討し、リスクマネジメント委員会にフィードバックする。また、組織リスクマネージャーは、各組織のインシデントについて、医療行為の手順とインシデントがどのように関連しているか、討議して、全体会議で発表する。

(3)改善策を医療安全管理部、リスクマネジメント委員会小委員会及び組織リスクマネージャー連絡会議において立案し、リスクマネジメント委員会において審議のうえ決定する。

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☒ 有・無
・ 指針の主な内容: 院内感染対策に関する基本的な考え方、組織として感染防止への取り組み、情報の共有化と感染防止、院内感染異常発生時の対応、職員等への研修の実施、患者等への感染防止への協力依頼、感染対策・抗菌薬適正使用に関する他医療機関及び地域との連携	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容: (1)院内感染対策指針及びマニュアルの審議 (2)院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 (3)改善策の立案及び全職員への周知	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の内容(すべて): (1)第1期:2024年7月8日～8月31日(e-learning) 2024年6月1日からの院内感染対策の要点:COVID-19関連(感染) 抗菌薬の適正使用について(抗菌薬) (2)第2期:2024年11月19日～2025年1月15日(e-learning) 標準予防策と経路別予防策(感染) 抗菌薬の適正使用について(抗菌薬)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☒有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: (1)感染対策患者のラウンドを実施(毎日) (2)職員等への感染症検査の実施と感染症罹患職員の情報管理	

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容: (1) 第1期: 1. 麻薬、毒薬、向精神薬の管理と取り扱い 2. 最近の事例 a) バッグ型キット製剤の隔壁未開通、b) フェインジェクトの血管外漏出、 c) 投与中の輸液へのKCL注の混注 (2) 第2期: 1. 未承認薬等の取扱いについて 2. KCL注の院内ルール再掲	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容: (1) 医薬品を保有している設備とその保全(換気が十分であり室内を清潔に保っている、地震・防火等の対策が整備されている、かぎのかかる貯蔵設備を有している、直近1ヵ月の温度記録に問題がないことを確認している) (2) 医薬品の在庫管理(医薬品を適切に配置及び表示している、医薬品を普通薬・劇薬・毒薬・向精神薬・麻薬等に分類して保管している、盗難・紛失を防ぐための対策を施している、毒薬・麻薬・向精神薬・劇薬保管庫の鍵はスペアキーを含め適切に管理している、毒薬・麻薬保管庫は出し入れの時以外は必ず施錠している、向精神薬は金庫等施錠可能な保管庫に保管している、法令で適切な管理が求められている医薬品に関して必要事項を管理簿に記帳している、消毒液を適正に管理している、救急カートへ医薬品を適切に配置及び表示している、医薬品の使用前に容器やふたの破損や異物混入等がないかを確認している) (3) 患者への投薬(注射薬の混合調製時には注射薬を処方箋・注射ラベルと照合している、患者氏名と処方薬及び用量を照合して投薬している、患者の服薬状況を確認している) (4) 医療廃棄物処理(一般廃棄物と感染性廃棄物を分別して廃棄している、使用済の注射針やアンプル等を専用容器に入れ感染性廃棄物として廃棄している、有効期限切れ・使用残・投与中止・処方変更による未使用の薬剤を処理している) (5) リスクマネジメント(医薬品に関するインシデント・アクシデント報告を確認している、医薬品に関するお知らせを周知している、疑義照会事例について話し合っている) 上記の項目について、医薬品チェックリストを用いて定期的に確認している。	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒ 有・無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば):
 - (1) リジン尿性蛋白不耐症に対するL-シトルリンの使用
 - (2) ニューモシスチス肺炎に対するプリマキンリン酸塩の使用
- ・ その他の改善のための方策の主な内容:
 - (1) 禁忌・適応外使用事例の把握(薬事委員会への届け出)と周知(組織リスクマネージャー連絡会議等)
 - (2) 医薬品医療機器総合機構からのメール受信(医薬品医療機器情報配信サービス)
 - (3) 製薬企業MRからの情報収集
 - (4) 各自のメールボックスへの印刷物の配布(薬剤部からのお知らせ等)
 - (5) 院内メールによる薬剤部員への情報配信
 - (6) 薬剤部HP、院内HP、電子カルテシステムトップページでの情報提供
 - (7) 薬剤部内の朝礼による周知
 - (8) 「未承認薬等の臨床使用」に関する手順書の改訂
 - (9) 院内製剤を含む未承認薬や禁忌・適応外の医薬品の使用状況についてモニタリング

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容: (1)第1期 抗菌薬・医薬品・医療機器・放射線・医療ガスに関する研修 「レーザー使用時の注意点について」 (2)第2期 感染・抗菌薬・医薬品・医療機器に関する研修 「新しい医療機器管理ソフト」	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容: 生命維持管理装置に関しては臨床工学部が管理し、中央管理機器はMEセンター(外部委託)が担当し点検計画策定及び点検を実施している。一部の(人工呼吸器、除細動器、閉鎖式保育器)についてはメーカーよりトレーニングを受けた臨床工学技士が定期点検を実施し、その他の生命維持管理装置や保守契約締結機器はメーカーにより実施されている。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) PMDA、各業者(メーカー、ディーラー)からの情報をMEセンターに集約、そこから医療機器安全管理責任者、臨床医療管理部及び関連部署へ周知またはメールで連絡をして対応している。安全情報として院内のGroup Sessionにも掲載し周知している。 ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば): 当院で原則、未承認機器の使用については院内での使用は禁止しており、未承認機器や手技については高難度新規医療技術申請をして承認後に臨床での使用が認められている。 ・ その他の改善のための方策の主な内容: 毎月、臨床工学部内のリスクマネジメント会議(メール会議含む)で医療機器安全管理責任者、臨床工学部職員、MEセンター(外部委託)が参加し、業務報告およびインシデントが発生した事例に対して改善策を提出し業務改善に取り組み、PMDAに報告すべき事例についてもその会議で医療機器安全管理責任者へ報告している。その他、病院のリスク小委員会に医療機器安全管理責任者が出席した際には、報告が必要なインシデント事例を医療安全責任者に報告している。	

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・責任者の資格(☒医師・歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況: 医療安全管理責任者(医療安全担当副病院長)が、病院長の命を受け、医療安全管理部(医療安全管理部門)、リスクマネジメント委員会(医療安全管理委員会)、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有(5 名)・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品安全管理者の指示の下、医薬品情報室が中心となり、医薬品の添付文書の情報のほか、医薬品医療機器総合機構からのメール受信(医薬品医療機器情報配信サービス)、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等からの情報を広く収集し、管理している。また、定期的に「薬剤部からのお知らせ」等を発行・配布するとともに、院内ホームページに掲載し周知している。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認医薬品等(禁忌・適応外使用を含む)の使用状況を把握し、薬事委員会で集計した結果を院内に周知している。また、未承認薬等臨床使用評価委員会において審査を行っている。 ・担当者の指名の有無(☒有・無) ・担当者の所属・職種: (所属:医療安全管理部, 職種:薬剤師)	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容: インフォームド・コンセント(IC)責任者が、当院のIC実施状況について診療録をもとにサンプリング監査し、院内規程を遵守した適切なICを実施するよう指導・助言している。	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： (1)初期研修医の記載については経験 7 年以上の指導医が内容の確認及び指導を行っている。 (2)診療録の量的監査については全例について記載されていることを確認している。 (3)診療録の質的監査についてはサンプリングによる監査を年 4 回行い、結果を各診療科にフィードバックしている。 (4)入院死亡患者については全例 M&M 委員会で検証を行っている。 (5)インフォームド・コンセント(適切な同意書・説明文書等の取得)については医療品質管理部が年 2 回、監査を行い、結果を各診療科にフィードバックしている。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有・無
・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（8）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 (注)報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： (1) 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 (2) 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 (3) 医事紛争支援 (4) 医療サービスの向上のための企画及び教育 ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ・医師、歯科医師、薬剤師又は看護師いずれかの資格を有している。 ・医療安全に関する必要な知識を有している。 ・当院の医療安全部門(医療安全管理部)に所属している。 ・当院の医療安全管理委員会(リスクマネジメント委員会)の構成員に含まれている。 ・医療安全対策推進に関する業務に専ら従事している。 ・医療施設において 6 年を超える臨床経験を有している。 ・必要な研修、教育及び安全管理業務や医療の質改善業務の実地経験を有している。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。 ■ 平時からの医療安全に資する診療内容のモニタリングの例 ・職種ごとの報告割合(医師・看護師・薬剤師・その他職種) ・転倒・転落発生率(損傷発生率レベル 3b 以上) ・医薬品の禁忌・適応外使用オーダー状況	

・未読・未対応の検査報告書数

■ 平時からの従事者の医療安全の認識のモニタリングの例

・医療安全に寄与すること、それを実現するための方法、実現するための課題の3段階に分けて従業者の医療安全に対する認識をモニタリングしている。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（10 件）、及び許可件数（10 件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒・無）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒・無）

・活動の主な内容：

（1）新たな高難度新規医療技術の企画が行われた際の審査

（2）承認した高難度新規医療技術が患者に実施される際の審査

（3）実施された高難度新規医療技術に対する実施報告の確認

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（12 件）、及び許可件数（11 件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒・無）

・活動の主な内容：

つくば臨床医学研究開発機構 臨床研究推進センターコンサルテーション室 臨床研究安全管理・指導部門

（1）「筑波大学附属病院未承認薬等臨床使用評価委員会」（以下、評価委員会）に対して「未承認薬等の臨床使用」の適否、実施条件等について意見を求める。

（2）評価委員会が述べた意見を踏まえ、「未承認薬等の臨床使用」の適否、使用条件等について決定する。

（3）評価委員会で認められた「未承認新規医薬品」の使用状況を把握し集計する。

（4）「未承認薬等の臨床使用」に関する手順書を管理する。

（5）「未承認薬等の臨床使用」を行った診療科に対して、定期的および対象患者に有害事象が発生した場合、またはその他必要な場合、診療録等を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無(☒・無) ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒・無)
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況 ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況:年 381 件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況:年 168 件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 死亡患者報告を含めて全事例の報告を受けている。重要な事例は背後要因を調査した結果を審議している。必要に応じリスクマネジメント委員会の判断により第三者を含む事故調査委員会またはピアレビュー委員会を設置し再発予防策の検討を行っている。
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 ・他の特定機能病院等への立入り(☒ (病院名:旭川医科大学病院)・無) ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ(☒ (病院名:福井大学医学部附属病院)・無) ・技術的助言の実施状況 ①IC の同席についてのルールは定められていますが、同席率をチェックする仕組みについてもご検討ください。 ②薬剤師 GRM が6年間一人で担当していますが、院内全体の医療安全に係る人材としてより多くの薬剤師を育成する観点から、ある程度の期間での流動性のある異動についてもご検討ください。 ③高難度医療技術における診療科の体制を確認する手順・ルールがないということでしたが、当該医療技術に精通した医師が不在となった場合の実施体制を把握する仕組みについて、例えば、検討委員会に報告する年1回の報告書にて確認することなどをご検討ください。 ④今後、未読のチェックのみでなく、既読となったもののさらに踏み込んだフォローも検討しているとのことなので、検討を進めていただければと思います。 【対応】 ①看護職の IC 同席については従前より行っており、同席率も算出している。同席率の向上について、方法を検討中である。 ③高難度新規医療技術の定期報告をする際に、報告用紙に手技の実施責任者変更について確認する項目を追記した。 ④各検査部で重要と判断した報告書はフラグを付けている。報告書管理システム(CITA)でフラグ付きの報告書をリストアップし、その後の対応を医療安全管理部で鑑査する体制とした。

【改善状況】

- ②昨年度の2月より、新たな薬剤師 GRM となっている。
- ③高難度新規医療技術の全手技における実施責任者を把握している。
- ④報告書確認対策チームカンファレンスで医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者に重要報告の対応状況を共有している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者やその家族の方から疾病に関する医学的な質問、生活上及び入院上の不安など様々な相談に対応する窓口（患者サポートデスク）を以下のとおり設置している。相談内容としては、医療福祉、在宅移行、転院調整、退院支援、がん、難病、看護、栄養、こころ、苦情、診療費、薬剤、カルテ開示、リハビリ、医療の質と安全及び研修・実習などに関する相談窓口を兼ねている。

相談に当たり、院内の各部門と密接に連携の上、実施している。

相談日時： 月曜日～金曜日（休日は除く）

受付時間： 9時00分から17時00分

設置場所： けやき棟1階12番窓口（入退院センター隣）

担当者： 医療メディエーター及び医療関係団体等が実施する医療対話仲介者養成を目的とした研修を修了した者

責任者： 医療支援課長

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

(1)2024 年度第 1 期 診療の安全に関する研修、感染・抗菌薬・医薬品・医療機器・医療ガス・放射線・遺伝研修

(2)2024 年度第 2 期 診療の安全に関する研修、感染・抗菌薬・医薬品・医療機器に関する研修

(注)前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者:

2024 年度特定機能病院管理者研修(日本医療機能評価機構) 2025 年 1 月 15 日 初回

医療安全管理責任者:

2024 年度特定機能病院管理者研修(日本医療機能評価機構) 2024 年 11 月 26 日 継続

医薬品安全管理責任者:

2024 年度特定機能病院管理者研修(日本医療機能評価機構) 2024 年 11 月 26 日 継続

医療機器安全管理責任者:

2024 年度特定機能病院管理者研修(日本医療機能評価機構) 2024 年 12 月 12 日 継続

(注)前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

評価機関:公益財団法人日本医療機能評価機構

項 目 :一般病院 3 及び副機能(精神科病院)

受審日 :令和 3 年 8 月 30 日、31 日、9 月 1 日

認定日 :令和 4 年 3 月 4 日条件付認定、令和 5 年 2 月 10 日条件付解除、令和 6 年 4 月 5 日認定継続

認定期間:令和 3 年 9 月 25 日～令和 8 年 9 月 24 日

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

令和 6 年 4 月 5 日当院ホームページにおいて、改善審査結果および改善審査報告書を公表した。

・評価を踏まえ講じた措置

(1)医療関連感染制御に向けた情報収集と検討に関して、院内感染サーベイランスを継続的に実践している。

(2)高濃度注射用カリウム製剤の適応外使用について、院内ルールを策定し継続的に実践している。

(3)院内の抗菌薬適正使用マニュアルを適宜改訂し運用している。

(4)非常勤医師の健康診断の受診状況を定期的に把握している。

(5)教育・研修を組織的に行い、計画に基づいて継続的かつ確実に教育・研修を実施している。

(注)記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準 ・ 基準の主な内容 【国立大学法人筑波大学附属病院長候補者の選考に関する規程】 （選考基準） 第3条 附属病院長候補者となることができる者は、医師免許を有し、人格が高潔で学識に優れ、附属病院の将来に明確なビジョンを有し、次に掲げる資質及び能力を有するものとする。 (1) 附属病院内外での管理運営経験を有し、附属病院の健全な運営及び経営にガバナンスを発揮できること。 (2) 患者の安全を第一に考え、医療安全について十分な経験及び指導力を有し、附属病院の高度な医療安全管理体制を確保できること。 (3) 筑波研究学園都市にある病院として、世界最先端の医療・研究・教育を推進できること。 (4) 幅広い能力を有する優れた医療人養成に貢献するとともに、地域医療の中核的拠点として、その発展に貢献できること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法：筑波大学基幹サイト（ホームページ）

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ ☒ 無			
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
・合議体の主要な審議内容 【病院執行部会議】 (1) 病院の将来構想に関する事項 (2) 中期目標・中期計画及び年度計画のうち病院に関する事項 (3) 病院の組織及び運営の状況について行う自己点検及び評価に関する事項 (4) 病院の組織の設置又は改廃に関する事項 (5) 附属病院規程及び附属病院細則の制定又は改廃に関する事項 (6) 病院における教育研究活動に関する事項 (7) 病院の予算及び概算要求等に関する事項 (8) 病院の診療に関する事項 (9) その他病院の管理運営に関し重要な事項 【病院経営協議会】 病院の経営に関する重要事項の基本方針の策定に当たり意見を聴く。 ・審議の概要の従業者への周知状況 【病院執行部会議】 病院の運営に関して連絡調整等を行うため設置されている病院運営協議会に報告するとともに、病院内サイトに資料を公開している。 【病院経営協議会】 審議事項のみ病院執行部会議に報告している。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・公表の方法：筑波大学基幹サイト（ホームページ）で公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無） 病院経営協議会の構成員には学外有識者が含まれ、意見聴取を行っている。			
合議体の委員名簿（令和7年度病院執行部会議 構成員名簿）			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
平 松 祐 司	○	医 師	附属病院長
檜 澤 伸 之		医 師	副病院長
小 田 竜 也		医 師	副病院長
西 山 博 之		医 師	副病院長
前 野 哲 博		医 師	副病院長
篠 崎 まゆみ		看護師	副病院長・看護部長

井 上 貴 昭		医 師	副病院長（特定）
川 崎 宏		事 務	副病院長（特定）・病院総務部長
橋 本 幸 一		医 師	病院長補佐
古 田 淳 一		医 師	病院長補佐（特定）
根 本 清 貴		医 師	病院長補佐
本 間 真 人		薬剤師	薬剤部長
濱 野 淳		医 師	医療連携患者相談センター部長
和 田 哲 郎		医 師	医療安全管理部長
讃 岐 勝		教 員	医療情報部長

合議体の委員名簿（令和7年度病院経営協議会 構成員名簿）			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
平 松 祐 司	○	医 師	附属病院長
檜 澤 伸 之		医 師	副病院長
小 田 竜 也		医 師	副病院長
西 山 博 之		医 師	副病院長
前 野 哲 博		医 師	副病院長
篠 崎 まゆみ		看護師	副病院長・看護部長
井 上 貴 昭		医 師	副病院長（特定）
川 崎 宏		事 務	副病院長（特定）・病院総務部長
橋 本 幸 一		医 師	病院長補佐
古 田 淳 一		医 師	病院長補佐（特定）
根 本 清 貴		医 師	病院長補佐
氷見谷 直 紀		事 務	副学長（財務・施設）
中 島 貞 子			茨城県看護協会長
鈴 木 加代子			つくば市保健部長
丸 山 慧			茨城県保健医療部長
河 野 元 嗣			筑波メディカルセンター病院長
松 崎 信 夫			茨城県医師会長
(オブザーバー) 陰 山 俊 治			筑波大学監事

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（☒・無）
- ・ 公表の方法：筑波大学基幹サイト（ホームページ）

- ・ 規程の主な内容

【国立大学法人筑波大学の組織及び運営に関する規則】

（附属病院長）

第63条 附属病院に附属病院長を置き、副学長をもって充てる。

- 2 附属病院長は、附属病院の運営をつかさどる。
- 3 附属病院長は、この法人規則その他の法人の規則の定めるところにより、学長の命を受け、附属病院の業務に従事する職員の任免その他の人事を掌理するとともに、当該職員を指揮監督する。
- 4 附属病院長は、附属病院の管理運営の必要に応じ、法人規則の範囲内で、附属病院規程及び附属病院細則を定めることができる。この場合において、附属病院長は、附属病院規程を定めるときは役員会の議を経るものとし、附属病院細則を定めたときは速やかに学長に報告しなければならない。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

【国立大学法人筑波大学の組織及び運営に関する規則】

（副病院長）

第64条 附属病院に副病院長5人以内を置き、附属病院長の意見を聴いて、学長が任命する。

- 2 副病院長は、それぞれ分担して、附属病院長の職務を助ける。
- 3 前2項の規定にかかわらず、附属病院長の命を受け、必要な期間特定の業務を統括する副病院長若干人を置くことができるものとし、附属病院長の意見を聴いて、学長が任命する。

【筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程】

（病院長補佐）

第4条 病院に、病院長補佐を置く。

- 2 病院長補佐の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、原則として通算して4年を超えて在任することはできない。
- 3 病院長補佐は、病院長及び副病院長を助け、病院長の命を受け、特定の業務を総括整理する。
- 4 前3項に定めるもののほか、病院長補佐に関し必要な事項は、附属病院細則で定める。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

人事に関しては、特に副病院長クラスにおいて、将来のマネジメントを担う人材を探索し、多くの人材に経験を積ませる経験をしている。

研修に関しては、院外の研修等に参加させるとともに、人材育成支援助成制度を設けており、自ら研鑽を希望する者には支援を行っている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	☒ 有 ・ 無
・ 監査委員会の開催状況：：年2回 ・ 活動の主な内容： 【筑波大学附属病院監査委員会規則】 （任務） 第2条 委員会は次に掲げる業務を行う。 （1） 附属病院の医療安全管理体制及び特定臨床研究における業務の状況について、筑波大学附属病院長（以下「附属病院長」という。）等からの報告を求め、特定機能病院にふさわしい安全管理及び特定臨床研究の実施がなされているか検討して評価すること。 （2） 必要に応じ、医療に係る安全管理及び特定臨床研究についての是正措置を講ずるよう、国立大学法人筑波大学長（以下「学長」という。）及び附属病院長に対して意見を表明すること。 （3） 前2号の業務の実施結果を附属病院ホームページ等で公表すること。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法：：附属病院ホームページ	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
柳田 国夫	学校法人東京医科大学 茨城医療センター 病 院長	○	医療機関の副院長であ り、病院管理及び医療安 全に係る業務経験を有 しているため	有・ ☒ 無	1
宮本 恭子	茨城県がん教育推進協 議会 委員		患者・家族の支援団体の 活動をしており、医療を 受ける立場から意見を 述べるができるため	有・ ☒ 無	2
陰山 俊治	国立大学法人筑波大学 監事（元公益財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団管理部長）		監事であり、公正不偏な 立場から医療を受ける ものとして意見を述べ ることができるため	☒ 有・無	2
遠藤 靖典	国立大学法人筑波大学 副学長・理事（研究担 当）		研究を担当する副学長 ・理事として、及び学識 経験者として意見を述 べるができるため	☒ 有・無	1
村上 正子	国立大学法人東海国立 大学機構名古屋大学大 学院法学研究科 教授		法律学の専門家として、 法律について豊富な専 門知識と実務経験を有 するため	有・ ☒ 無	1
小池 竜司	国立大学法人東京科学 大学病院 病院長補佐		感染対策の第一人者と して医療の安全管理に 詳しく、臨床試験の専門 家でもあるため	有・ ☒ 無	1

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

本学では、附属病院を含む各組織について、監事による業務監査、監査室による内部監査及び会計監査人による監査が行われている。

- ・ 専門部署の設置の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法：筑波大学基幹サイト（ホームページ）

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

【国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則】

(経営協議会)

第 14 条 法人に、法人法第 20 条第 1 項の規定に基づき、経営協議会を置く。

(経営協議会の組織)

第 15 条 経営協議会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 学長
- (2) 理事（常勤の者に限る。）のうちから学長が指名する者
- (3) 第 27 条第 1 項に規定する副学長（前号に該当する者を除く。）のうちから学長が指名する者
- (4) 第 28 条に規定する学長特別補佐及び第 29 条に規定する調整官その他法人の職員のうちから学長が指名する 5 人以内の者
- (5) 法人の役員又は職員以外の者で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、第 20 条に規定する教育研究評議会の意見を聴いて学長が任命するもの 8 人以上 15 人以内

2 経営協議会の委員の過半数は、前項第 5 号の委員でなければならない。

(経営協議会の審議事項)

第 16 条 経営協議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 法人法第 20 条第 5 項各号に規定される事項
- (2) 国立大学法人筑波大学経営協議会規則（平成 16 年法人規則第 2 号）の制定又は改廃に関する事項
- (3) 法人規則（法人の経営に関するものに限る。）の制定又は改廃に関する事項
- (4) 法人の財産の取得、管理及び処分に関する事項
- (5) 積立金の処分に係る文部科学大臣の承認の申請に関する事項
- (6) 短期借入金の限度額に関する事項
- (7) 長期借入金又は法人の名称を冠する債券の発行に係る文部科学大臣の認可の申請に関する事項
- (8) 出資に関する事項
- (9) 学長選考・監察会議に対する学長解任の申出の発議に関する事項
- (10) その他法人の経営に関する重要事項

- ・ 会議体の実施状況（ 年8回 ）
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ ・ 無 ）（ 年8回 ）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法：筑波大学基幹サイト（ホームページ）

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
永田 恭介	筑波大学学長	○	☒ ・ 無
加藤 光保	筑波大学副学長・理事		☒ ・ 無
遠藤 靖典	筑波大学副学長・理事		☒ ・ 無
氷見谷 直紀	筑波大学副学長・理事		☒ ・ 無
歳森 敦	筑波大学副学長・理事		☒ ・ 無
加藤 和彦	筑波大学副学長・理事		☒ ・ 無
平松 祐司	筑波大学副学長・理事		☒ ・ 無
伊井 忠義	株式会社テレビ朝日広報局長		有 ・ ☒ 無
河田 悌一	大学資産共同運用機構 理事長 元 日本私立学校振興・共済事業団 理 事長 元関西大学学長		有 ・ ☒ 無
久世 和資	旭化成株式会社 取締役 副社長執 行役員 研究開発・DX・知的財産 統括		有 ・ ☒ 無
鈴木 蘭美	国立がん研究センター発ベンチャ ー ARC Therapies株式会社 代表取 締役社長 CEO ARCHIMED GROUP マ ネージングダイレクター		有 ・ ☒ 無
住川 雅晴	一般社団法人つくばグローバル・ イノベーション推進機構 理事長 公益財団法人国際科学振興財団 会長		有 ・ ☒ 無
高橋 姿	一般財団法人 新潟県けんこう財 団 長岡健康管理センター 施設長 新潟大学 名誉教授 前新潟大学長		有 ・ ☒ 無
花井 陳雄	前協和キリン株式会社 取締役会 長 株式会社島津製作所 社外取締 役		有 ・ ☒ 無
室伏 きみ子	ビューティ&ウェルネス専門職大 学 学長 お茶の水女子大学 名誉 教授 前お茶の水女子大学長		有 ・ ☒ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 通報件数（年〇件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 周知の方法： 大学基幹サイト（ホームページ）、院内専用サイト、医療事故防止ポケットマニュアル等で周知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 広く社会に向けて、病院ホームページ、病院のご案内（病院概要）及び病院広報誌等を通じて、本院の診療指導、各診療科の取り組みをWEBや紙媒体にて情報発信している。 また、本院では市民公開講座等を通じて、陽子線治療やがん治療等の情報を定期的に発信するなど、高度医療の啓発活動を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科の専門医に診察の依頼ができる体制が整っており、複数の診療科が連携して高度な医療を提供できる。	